

BERNINA®



artista 165
BERNINA®

Made in Switzerland

安全にご使用いただくために

当製品のご使用にあたっては、電化製品を使用する際の一般的な順守事項に加えて、以下の注意事項を必ずお守り下さい。

また、ご使用の前には必ず説明書をご一読の上、操作方法を十分理解してから、ご使用下さい。

当製品をご使用にならない時は、電源プラグをコンセントから外しておいて下さい。

⚠ 警 告

感電、火災の恐れがあります。次の注意事項をお守り下さい。

1. プラグをコンセントに接続したままで、ミシンから離れないで下さい。
2. ご使用後、またはミシンの掃除をする際には、必ずコンセントからプラグを抜いて下さい。
3. 電球の交換時には、必ずプラグをコンセントから抜いてください。電球は12ボルト／5ワットの純正品をご使用下さい。

⚠ 危 険

感電、火災、けがの原因になります。次の注意事項をお守り下さい。

1. おもちゃとして絶対にご使用にならないで下さい。また、小さなお子様の近くでのご使用時は、特別の注意をお願い致します。
2. この説明書の記載内容に従ってご使用下さい。また、ベルニナ社がお薦めする付属品のみをご使用下さい。
3. 次のような場合には、当製品の使用を避けて下さい。
 - ・ ミシン、フットコントローラーのコード、プラグに傷があるとき。
 - ・ ミシンが正常に作動しないとき。
 - ・ 落としたり、損傷したとき。
 - ・ 水の中に落としたとき。

このような場合には、お近くのお買い上げ店に、ミシンの点検、修理、調整のご依頼をお願い致します。

4. ミシンの通気孔をふさがないで下さい。また、ミシンの通気孔に糸くずやほこり、布きれが詰まった状態で使用しないで下さい。モーターの過熱の原因となります。
5. 操作中は、動く部品に指を近づけないで下さい。特に針の回りでは、細心の注意を払って下さい。
6. 常に当製品専用の針板をご使用下さい。まちがった針板のご使用は、針折れを起こします。

7. 曲がった針は使用しないで下さい。
8. 裁縫中に布を引っ張ったり、押し込んだりすると、針をいため、針折れの原因となります。
9. 糸、針、ボビン、押え金等を交換する際には、ミシンの電源スイッチを切って下さい。
10. ミシンカバーを外したり、注油、又は説明書に従って調整する場合には、必ずプラグをコンセントから抜いて下さい。
11. ミシンやフットコントローラーの隙間からものを入れたり、差し込んだりしないで下さい。
12. 戸外では使用しないで下さい。
13. 酸素ガス等の引火性のあるスプレーを使用している場所では、使わないで下さい。
14. プラグをコンセントから抜く前に、必ずミシン本体の電源を切って下さい。
15. プラグをコンセントから抜く場合には、コードを引っ張らずに、プラグを持って抜いて下さい。
16. 以上の使用方法を順守しないために生じた損害に対しては、いかなる場合も当社は責任を持ちかねますので、ご了承下さい。

説明書の保管

当製品を安全にご使用いただくために、この説明書は大切に保管して下さい。

BERNINA®



“Welcome to
the BERNINA
family!”

この度は、ベルニナ・ソーイング・コンピュータ・アーティストをご購入いただき誠にありがとうございます。あなたのソーイング・ライフにおいてもっともエキサイティングな出来事であったことではなかったかと存じます。

お客様にご満足いただける卓越したスイス・クオリティと、未来を見据えたソーイングテクノロジーを先取りして開発した、他に類を見ない顧客サービスに支えられたベルニナ社の製品をお届け出来ることを誇りに思う次第です。100年以上にわたる年月を超えてこのファミリー経営のベルニナ社を支えて来た原動力はこの誇りであり、私もこのベルニナ社の伝統を継承してゆく考えでおります。

名前が示すとおり、《アーティスト》ソーイング・コンピュータは、あらゆるソーイングにおいて無限の喜びを可能にしてくれる、まさしく芸術品です。あなたの創造性を鼓舞し、あなたが意図するアイデアを最高の形で実現させる重要なお手伝いができ、大変光栄に思っております。

さらに、無限のソーイングを全て可能にする豊富なソーイング・アクセサリーと、実践的でクリエイティブなベルニナ・ソフトウェアで、ベルニナ流のソーイングを存分にお楽しみ下さい。

H.P. Ueltschi
BERNINA Sewing Machine
Company

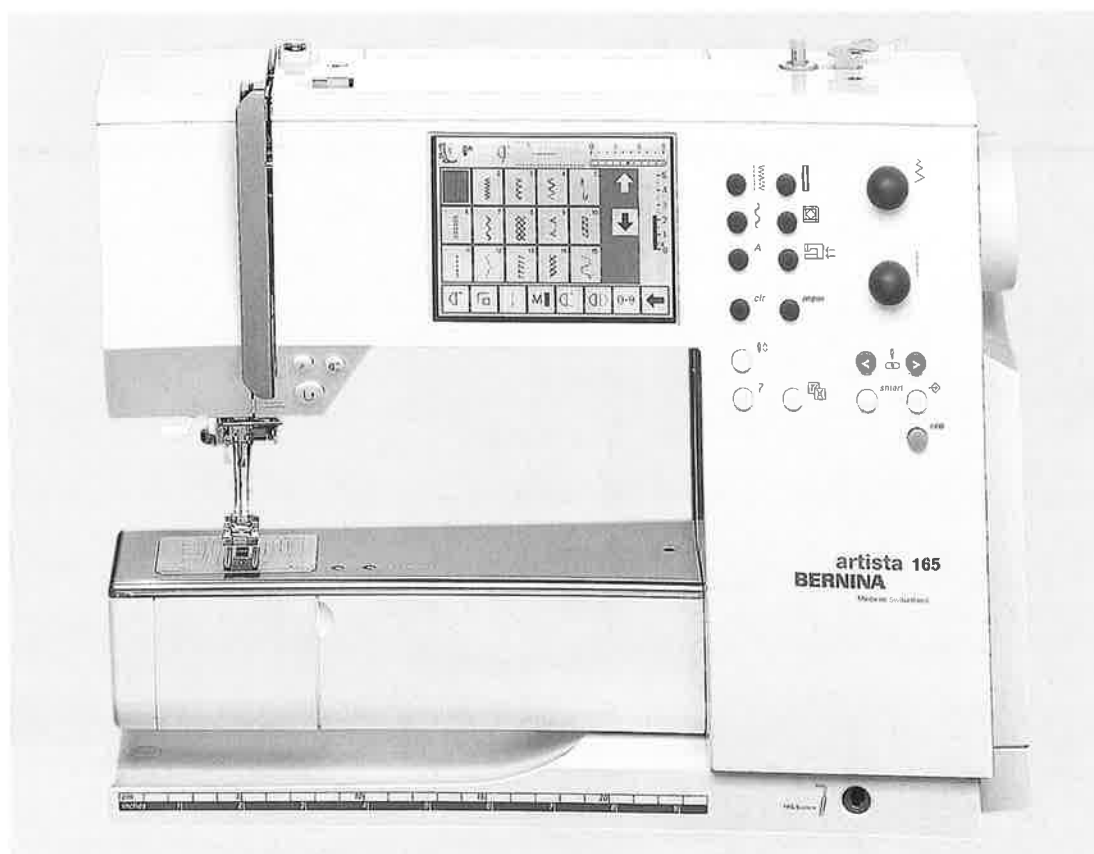
ハンスペーター・ウルチ
代表取締役社長
フリッツ・ゲガウフ株式会社、ベルニナマシン製作所
CH-8266 Steckborn, Switzerland

第一章 使用説明書

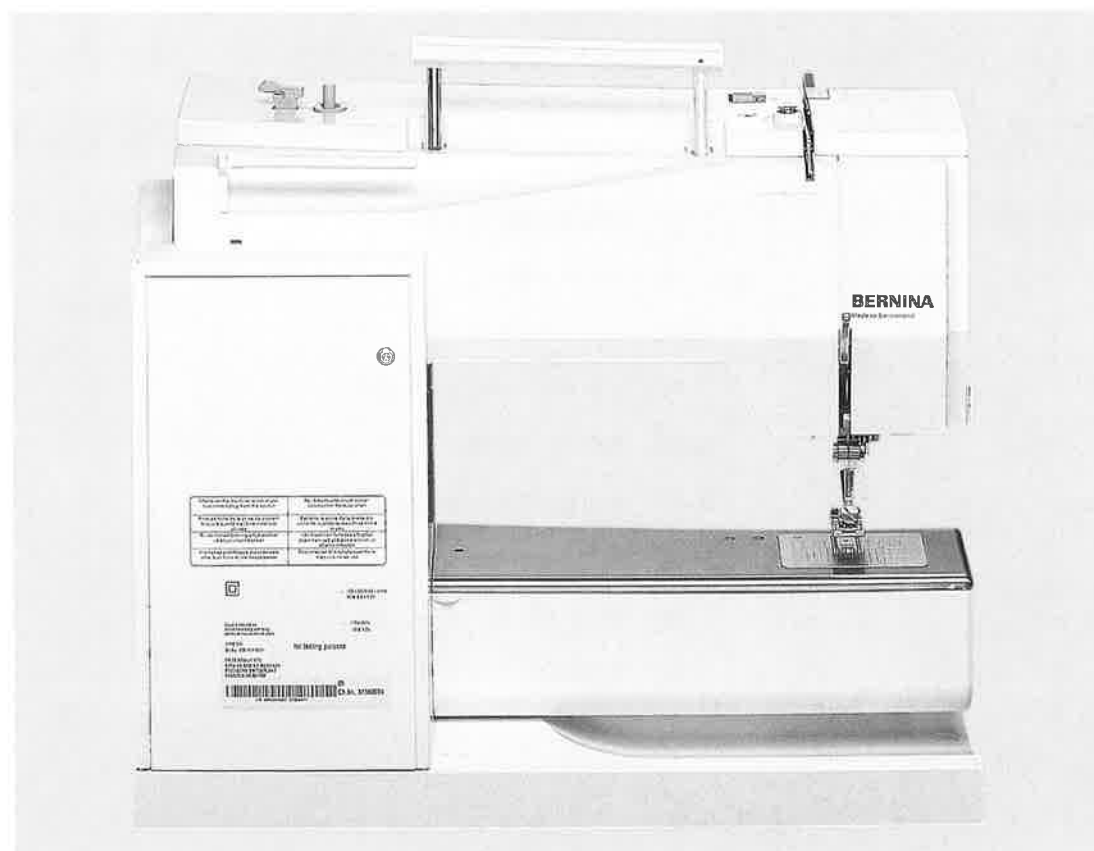
ベルニナ・アーティスタ170

1	安全にご使用いただくために
2	ご挨拶
3	目次
4-5	各部名称
6-12	ミシンの準備
13-14	縫い目模様一覧
15	押え金
16-17	実用縫い／ボタンホール
18-21	ミシンの概略説明
22-28	機能説明
29	ガイド・メッセージ
29-37	ボタンホール縫い
37-38	文字、数字
38-43	メモリー
44	キルトステッチ
45	送りバランス
46	ヘルプ機能
47-48	使用説明書／ソーイングガイド
49	スマート機能
50-61	セットアップ機能
62	エコロジー（省エネ）機能
62-65	特殊アクセサリ
65-67	針、糸、布送り機構
68	保守、お手入れの方法
69	困った時には
70	用語解説
71-72	索引

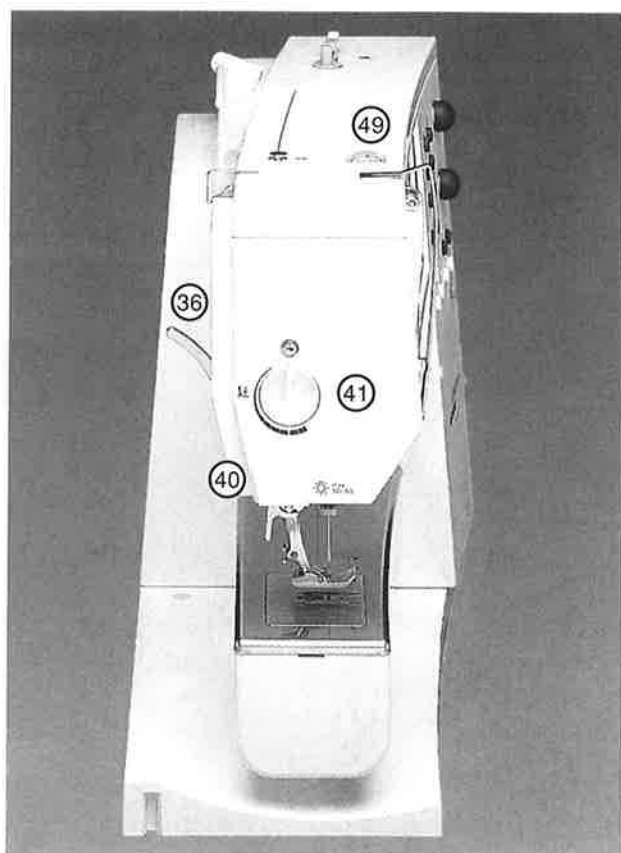
各部の名称



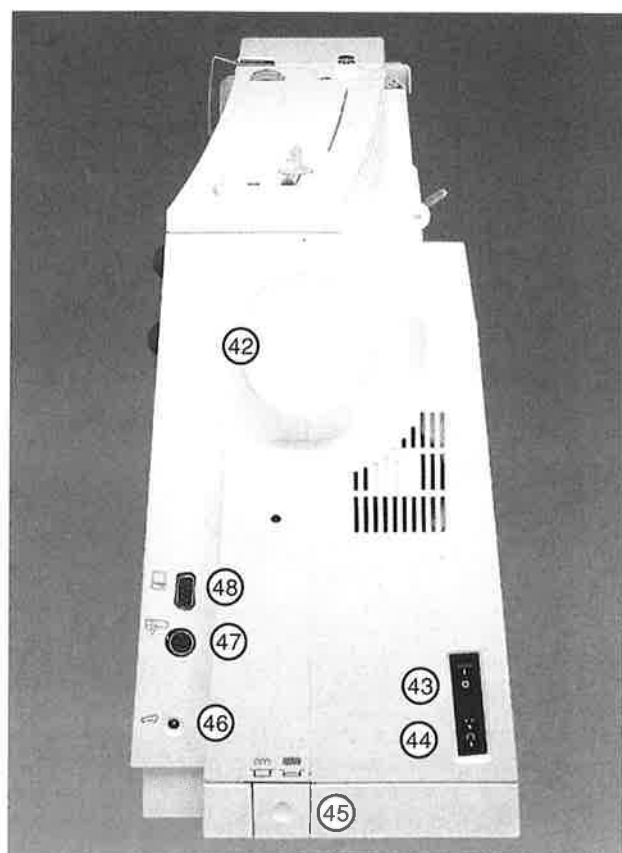
前面



背面



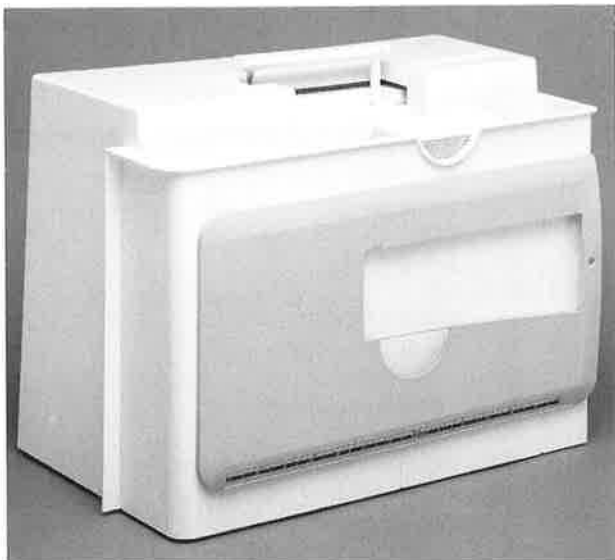
左側面



右側面

- 1 釜開閉ふた
- 2 針板
- 3 ソーイングベッド
- 4 縞い縫い刺しゅう枠(オプション)取付け穴
- 5 押え金
- 6 針止めネジ
- 7 針元系案内
- 8 上糸系通し機
- 9 天秤カバー
- 10 上糸掛け糸道
- 11 天秤
- 12 下糸巻き案内
- 13 針元返し縫いボタン
- 14 フリー機能ボタン
- 15 一模様縫い機能ボタン
- 16 スクリーン
- 17 糸巻きスイッチ/糸切り
- 18 実用縫いグループ選択ボタン
- 19 ボタンホールグループ選択ボタン
- 20 模様縫いグループ選択ボタン
- 21 文字グループ選択ボタン
- 22 刺しゅう模様縫いグループ選択ボタン
- 23 キルトステッチ
- 24 <<clr>>クリヤーボタン
- 25 <<mem>>メモリーボタン
- 26 針上下停止位置選択ボタン
- 27 ヘルプ機能ボタン
- 28 ソーイングガイドボタン
- 29 振り幅調節つまみ
- 30 送り長さ調節つまみ
- 31 針基線選択ボタン
- 32 スマート機能ボタン
- 33 セットアップ機能ボタン
- 34 <<eco>>エコ機能ボタン
- 35 膝押え上げレバー 差込口
- 36 押え上げレバー
- 37 キャリングハンドル
- 38 糸こまホルダー
- 39 補助テーブルソケット
- 40 糸切り
- 41 押え圧調節つまみ
- 42 はずみ車
- 43 電源スイッチ
- 44 電源コードソケット
- 45 送り歯ドロッププッシュボタン
- 46 フットコントローラーコードソケット差込口
- 47 刺しゅう機コードソケット差込口
- 48 パソコン接続用シリアルポート
- 49 上糸テンションダイヤル

キャリングケース



キャリングケース

ほこりや汚れから守ります。

また、付属品のケースとしても利用できます。

付属品

- ・フットコントローラー
- ・使用説明書
- ・電源コード
- ・保証書
- ・膝押え上げレバー
- ・ソーイングテーブル用布ガイド
- ・補助テーブル

（補助テーブルを取り外す時は、上に持ち上げてから取り外してください。）

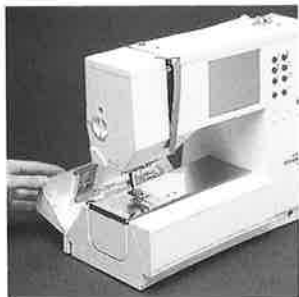


取り外し方

キャリングケースを取り外すには、両手で両側を持ってから、真上に持ち上げるようにします。

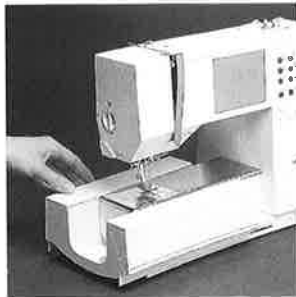
予備の糸立て棒は、キャリングケースをかぶせる際、必ず取り外しておいて下さい。

付属品ボックス



標準付属品の収納

- ・ボックスを使うと、作業スペースが広がります。開くには、カバーを前又は後ろ側におろします。



取り外し方：

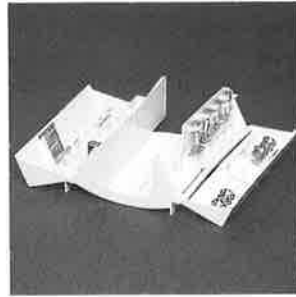
- ・左側に引き出すと、付属箱が外れ、フリーアームになります。

ご注意

付属品ボックスを取り外す時は、釜開閉カバーが閉じているのを確認して下さい。

取り付け方：

- ・ボックスを右方向に止まるまで押し込みます。



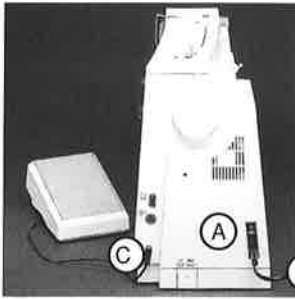
標準付属品*

- ・ボビン4個
- ・針（H）1セット
- ・シームリッパー
- ・ドライバー 小
- ・ブラシ
- ・布ガイド
- ・高さ調節板
- ・垂直型糸立て棒
- ・糸こまカバー3種類
- ・#1 スーパー模様押え
- ・#2 オーバーロック押え
- ・#3 ボタンホール押え

- ・#3 A布ガイド付自動ボタンホール押え
- ・#4 ファスナー用押え
- ・#5 まつり縫い押え
- ・#6 刺しゅう押え
- ・#8 シーンズ押え

国によりアクセサリーの仕様が異なります。

電源コード



電源コード

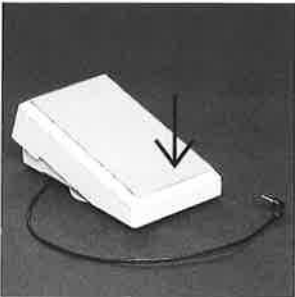
キャリングケースの中に収納されています。

- ・プラグAをミシンに接続します。
- ・プラグBを電源コンセントに差し込みます。

フットコントローラー用コード

- ・プラグCをミシンに接続します。

フットコントローラー



ソーイングスピード

- ・ペダルの踏み加減でスピードを調整します。
- ・ペダルのかかと部分（矢印）を踏んで針の上げ下げが出来ます。



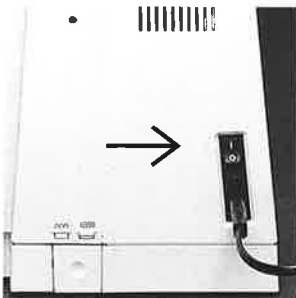
コードの収納方法

- ・裏側に巻き取ります
- ・プラグは、Aの差込穴に差し込みます。

コードの長さの調整方法

- ・コードを必要な長さだけ出して、B又はCのコードホルダーに止めておきます。

電源スイッチ



電源スイッチ

電源スイッチは、ミシンの右側下（矢印）にあります。

- ・1：スイッチはオン
- ・0：スイッチはオフ

照明ランプは、セットアッププログラムで《点灯する》、又は《点灯しない》を選択します。《点灯する》を選んだ時は、電源スイッチに連動します。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

補助テーブル



広い補助テーブル

- ・作業スペースを広げます。

取り付け方

- ・針と押え金を上げます。
- ・フリーアーム部に差込み、強く止まるまで押し込みます。

取り外し方

- ・左方向に引いて、取り外します。

布ガイド

- ・テーブルの手前下の溝に沿って、右方向からスライドさせながら差し込みます。
- ・テーブル上で安定した布ガイドが可能になります。

定規

- ・補助テーブルの定規の《0》は、針基線の中央を基準としています。

膝押え上げレバー（フリーハンドシステム）



押え金の上下

- ・レバーで押え金の上げ下げが出来ます。
- ・膝で右に押します。
- ・押え金上がり、同時に送り歯が下がります。
- ・縫い出すと、送り歯は自動的に上がります。

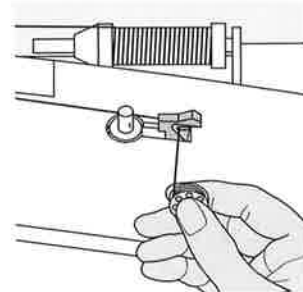
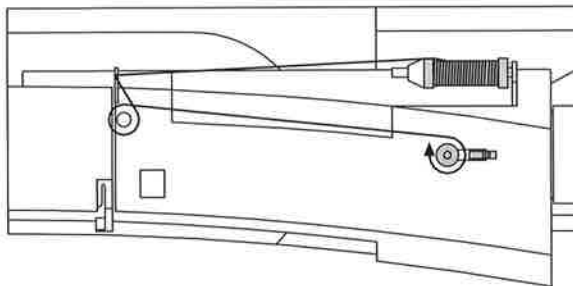
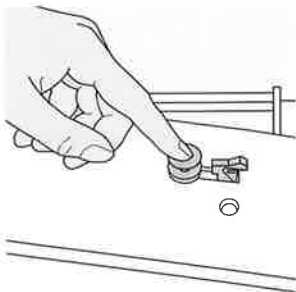
取り付け方

- ・膝押え上げレバーは、キャリングケースの中に収納されています。レバーの差し込み口は、ミシンの土台の前方右下にあります。
- ・ミシンを正面にして、レバーが膝の右側に来るように座ります。

メモ：

レバーの角度は、調整可能です。最寄りのお買い上げ店にご相談下さい。

下糸の巻き方



下糸を巻く

- ・電源スイッチをオンに。
- ・空のボビンを糸巻き軸に差し込みます。

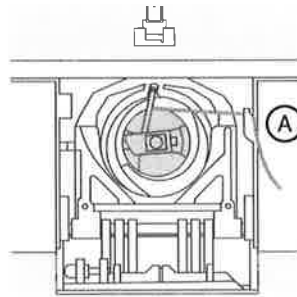
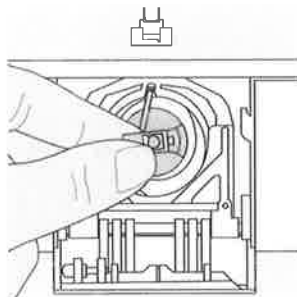
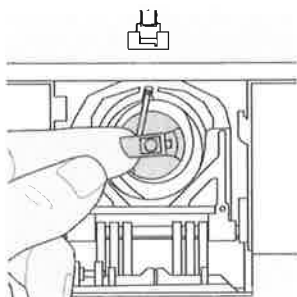
糸の通し方

- ・糸を図中の矢印に従い時計回りに一巻きし、空のボビンに数回巻きつけます。
- ・ボビン押えをボビン側に倒します。
- ・フットコントローラーを踏み込みます。
- ・ボビンが一杯になれば、モーターは自動的に止まります。
- ・ボビンを外します。

糸切り

- ・糸切りで糸を切ります。

ボビンケース



取り出し方

- ・針を上へ上げ、
- ・電源をオフ《○》、
- ・付属品ボックスの手前を開けて、釜開閉カバーを開け、
- ・ボビンケースの爪の部分をつまんで、取り出します

装着方法

- ・爪の部分をつまみ、
- ・ボビンケースのつのを上に
- ・して、
- ・釜に装着します。
- ・開閉カバーを閉め、
- ・付属品ボックスのふたも閉めます。

下糸カッター

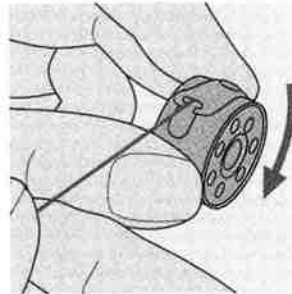
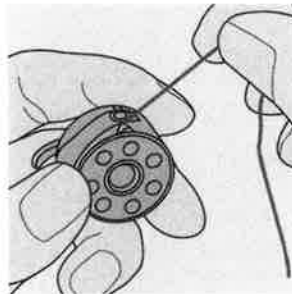
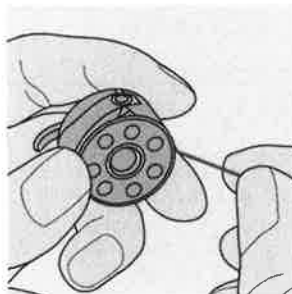
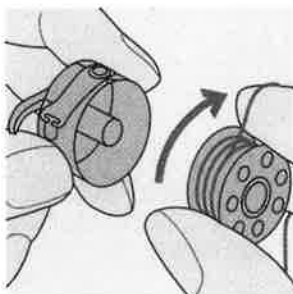
- ・ボビンケースを差し込み、
- ・Aのカッターで余分の糸を切ります。

「安全にご使用頂くために」
のページをご参照下さい。

メモ：

通常は、下糸を持ち上げる必要なく、最適な下糸の長さで縫い始められます。

ボビンの入れ方



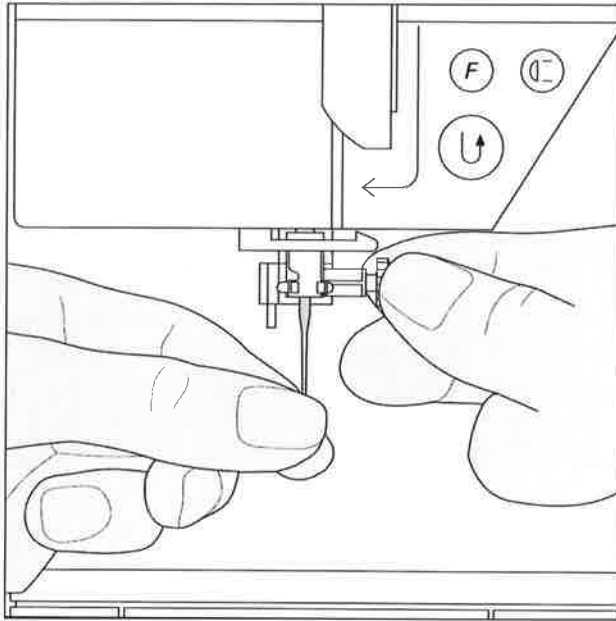
- ・糸の巻き方向が時計回りになるように、注意してボビンを入れます。

- ・糸を時計と反対方向に引きながら切り溝の中に入れ、

- ・バネの下を通して糸がバネの端のT字型溝を通して、だ円形の窓から出るまで引っ張ります。

- ・糸の端を引っ張ると、ボビンが図のように時計回りに回ることを確かめて下さい。

針の交換



針のとり外し方

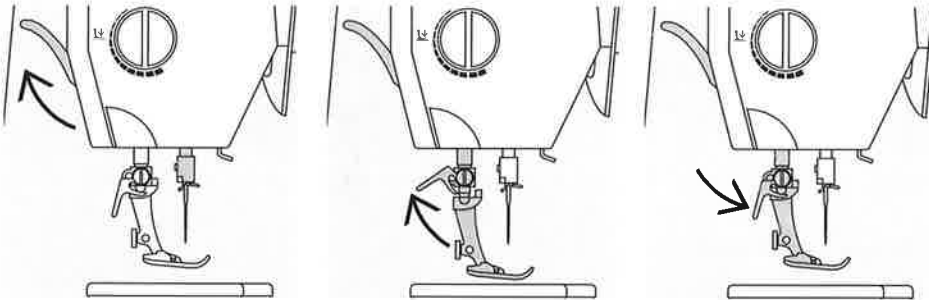
- ・針を上げ、
- ・電源をオフにしてから、
- ・押えを外します。
- ・指先でネジを緩め、
- ・針を下に引いて、外します。

針の取り付け方

- ・針の平らな側が後ろになるように持ち、
- ・そのまま、一杯まで差し込んでから、
- ・ネジをしめます。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

押えの交換



押え金の交換方法

- ・針と押え金を上げ、
- ・電源をオフ《○》にします。

押え金止めレバーを上げる

- ・押え金止めレバーを持ち上げ、
- ・押え金を取り外します。

押え金の取り付け方

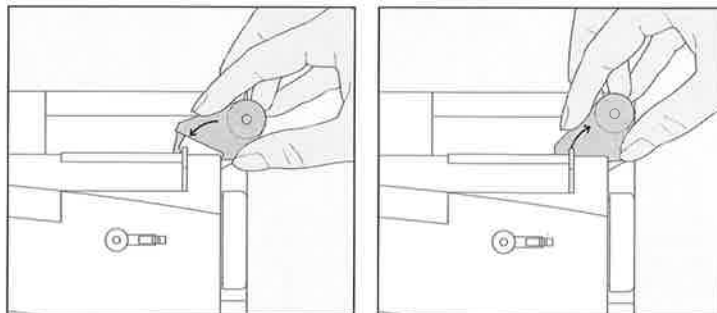
- ・押え金を上に一杯まで差し込み、
- ・押え金止めレバーを下げます。

「安全にご使用頂くために」のページをご参照下さい。

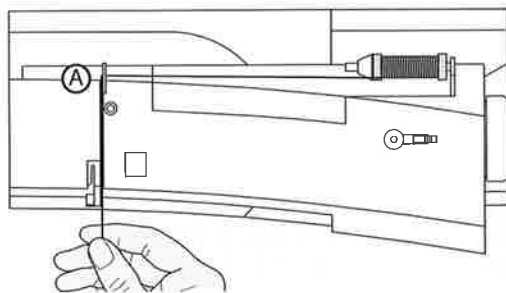
補助糸立て棒（垂直式）

垂直式糸立て棒

- ・垂直式の補助糸立て棒は標準アクセサリに含まれています。
- ・取り付け方は、図のように、右側から回転させるようにして取り付けます。
- ・取り外し方は、逆の方向に回すようにして外します。
- ・2本針など、2本以上の糸を使う時に使用します。
- ・メタリック糸などは垂直糸立て棒を使うと糸のほつれや燃りが戻るのを防ぎます。



上糸のかけ方



糸こまのセット

- ・針と押えを上げて、
- ・電源をオフ《O》にし、
- ・糸立て棒に糸こまをセットし、
- ・糸こまの直径に合った糸こま押えで固定します。
- ・Aの糸案内に糸を通し、
- ・次に、糸道に通します。

下へ

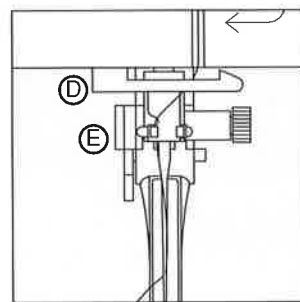
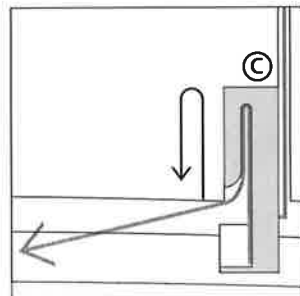
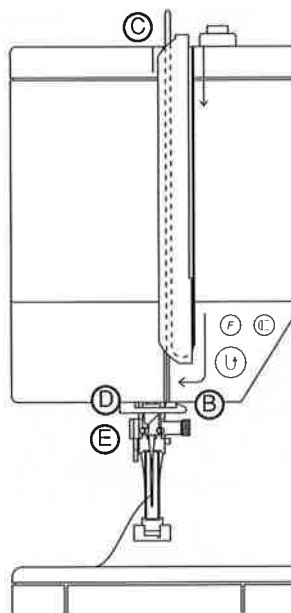
- ・天秤カバーの右側に沿ってBへ、

上へ

- ・天秤カバーの左側に沿ってCまで通し、

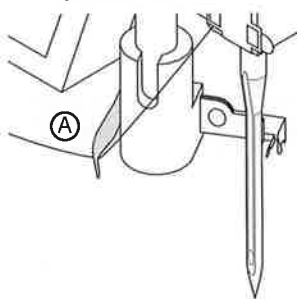
下へ

- ・最後にD、Eそれぞれの糸掛けに通します。



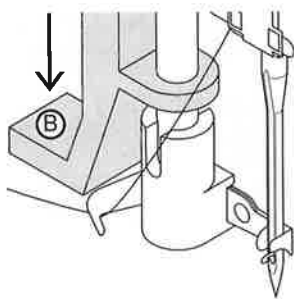
「安全にご使用頂くために」
のページをご参照下さい。

上糸糸通し



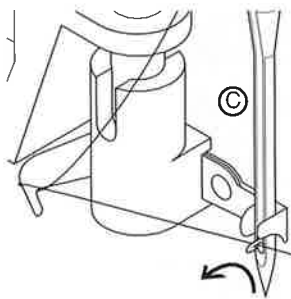
糸をフックに掛ける

- ・押え金を下げ、
- ・上糸をAのフックに軽くひっかけ、



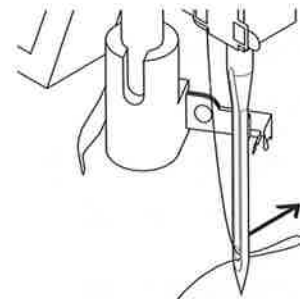
糸通し機のレバーを下げる

- ・Bのレバーを押し下げ、



糸を針の前へ

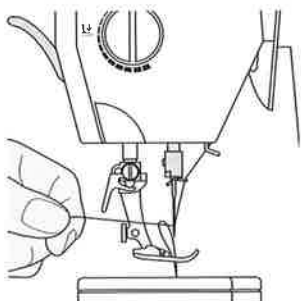
- ・針Cの前方に糸をのばし、
- ・糸を下から上に向けて、フックに引っかかるように持ち上げ、



レバーを開放する

- ・Bのレバーと糸を離せば完了です。
- ・輪になっている糸を後ろへ引くと糸が針穴に通ります。

下糸の引き上げ方



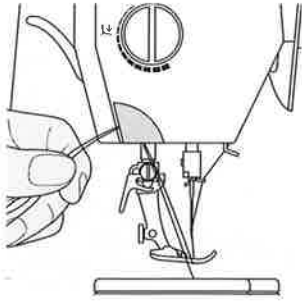
下糸の引き上げ方

- ・下糸を下糸カッターでカットしたときは、下糸を引き上げる必要はありません。
- ・上糸を手で持ったままで、
- ・一針だけ縫います。
- ・上糸を引くと、下糸が上がってきます。
- ・両方の糸を押え金の溝を通して、横に引き出し、
- ・糸切りで切ります。

注意

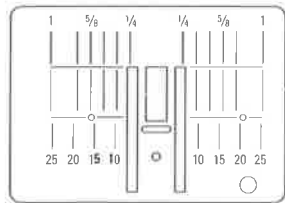
特殊な縫い方においては下糸を必ず引き上げることも必要です。

糸切り



- ・上糸と下糸両方を、前から後ろの方向へ引っ掛けるようにして糸を切ります。
- ・そのまま縫い始めると、糸は自動的にはずれます。

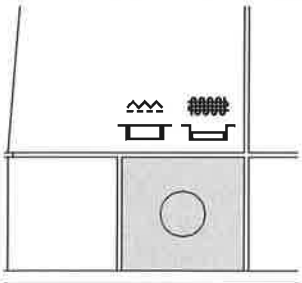
針板



針板上のマーキング

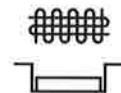
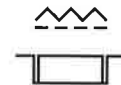
- ・針板にはシームガイドラインがミリとインチの両方で表示されています。
- ・手前の表示がミリで、後方がインチです。
- ・シームガイドラインは針が針位置センターにある状態で、針とシームガイドラインの距離を示します。
- ・布端をシームガイドラインに沿わせて縫います。
- ・横線のマーキングは、布位置を決めるのに便利です。

送り歯ドロップ機構

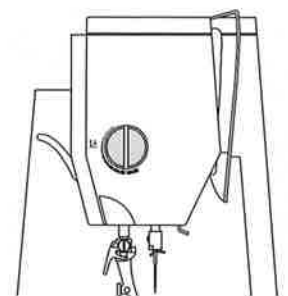


ドロップボタンは右側面にあります。

- ・ボタンの上がっている状態では送り歯は上にあり、普通縫い用の設定となっています。
- ・ボタンを押し込むと、送り歯が下がり、つくろい縫いや刺しゅう等、フリーハンド縫い用の設定となります。



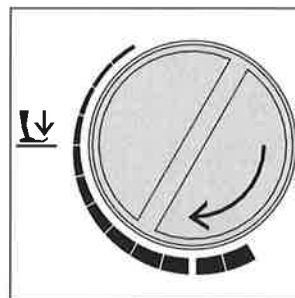
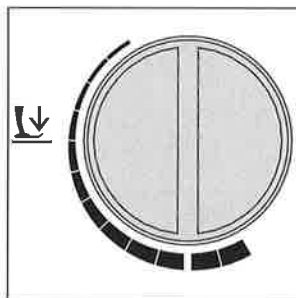
押え圧力調節



左側面に調節ノブがあります。

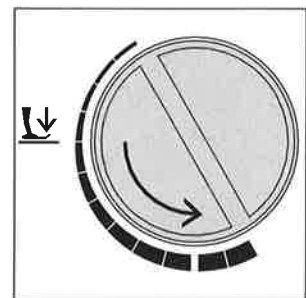
標準押え圧力

- ・通常のソーイング



圧力を下げる

- ・ジャージーやソフトなニット地やキルティングなどに。
- ・生地が伸びるのを防ぎます。
- ・送りに影響を受けない程度に調節します。



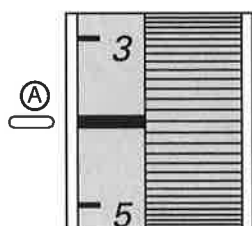
圧力を強くする

- ・薄地や、滑りやすい薄地やキルティングに。
- ・布送りを良くし、布縮みを防ぎます。

上糸テンションの調節

糸調子は、100/3番のポリエステル糸を基準として、ベストの状態にセットされていますが、タイプの異なる糸や番手の異なる糸をご使用になる場合には、上糸を調節してベストの状態にセットしなおす必要があります。

また、例えば、刺しゅう糸や飾り糸等の特殊な糸では、上糸テンションの調節が必要となりますし、生地やステッチとのコンビネーションで調節が必要な場合もあります。



実用縫い

- ・標準のポリエステル糸（100/3番）を使うソーイングでは、左図のAの赤いラインにセットしておけば、上糸の調節は必要ありません。
- ・特殊な縫い方をする時には、糸、布、ステッチによっては、テンションを調節します。

上糸テンションを弱くするには

- ・ダイヤルを3～1にセットします。

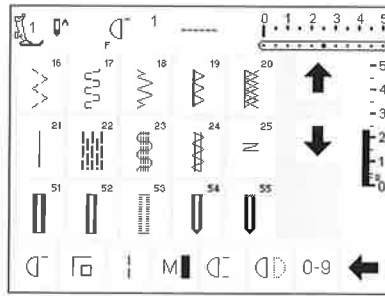
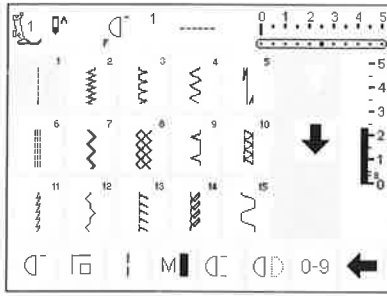
上糸テンションを強くするには

- ・ダイヤルを5～10にセットします。

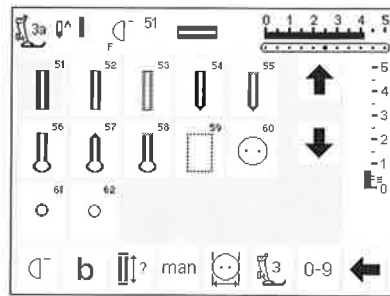
例：

糸	テンション	針
メタリック（ラメ）糸	3くらい	メタフィル針90/14番 130N、90/14-100/16番
ナイロン透明糸	2～4	標準針80/12番

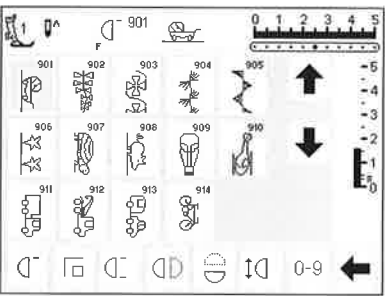
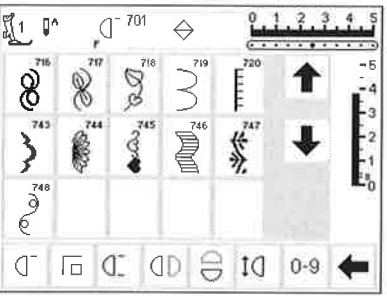
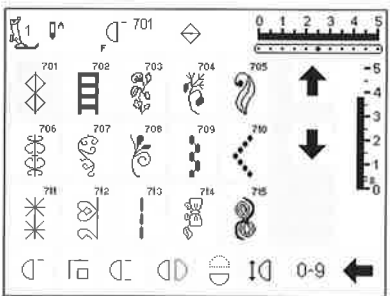
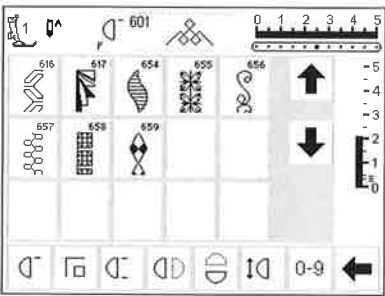
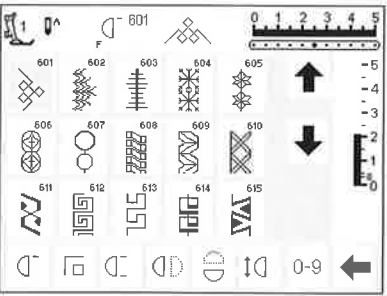
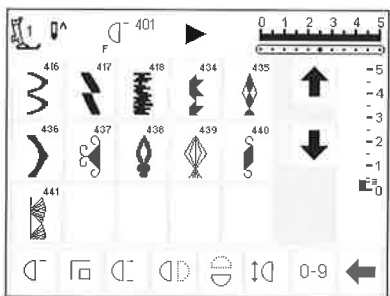
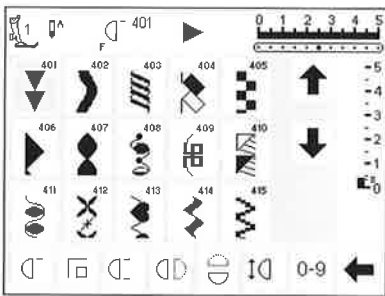
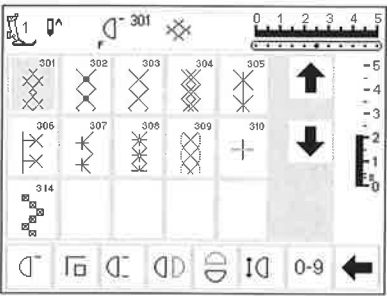
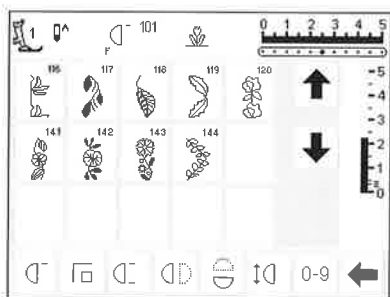
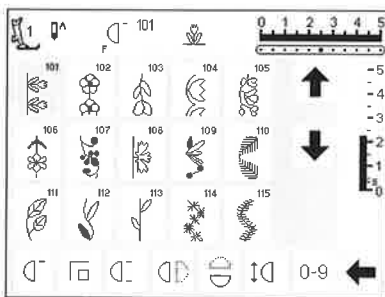
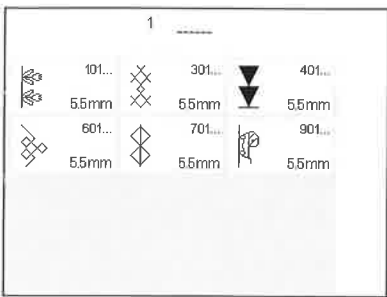
実用縫い模様

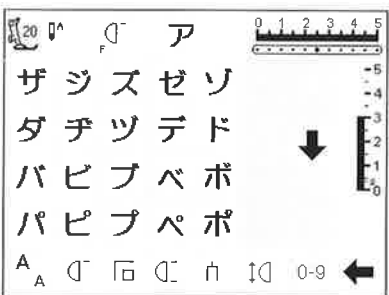
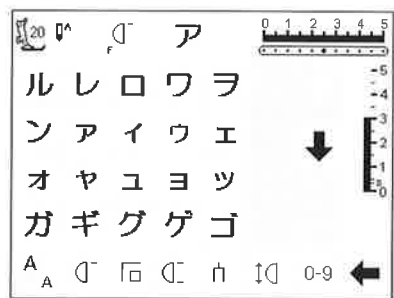
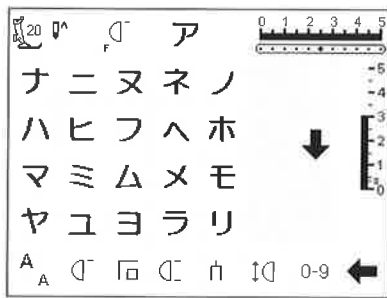
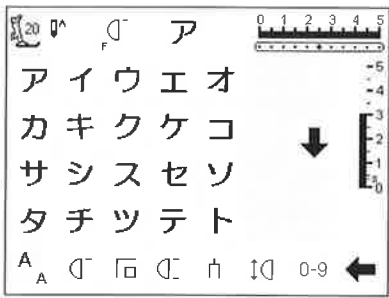
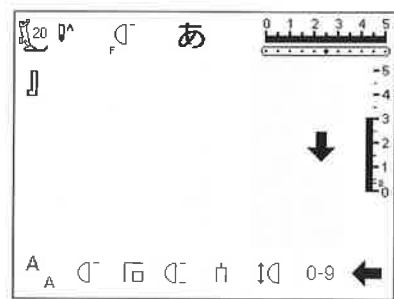
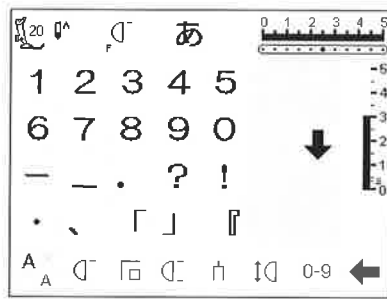
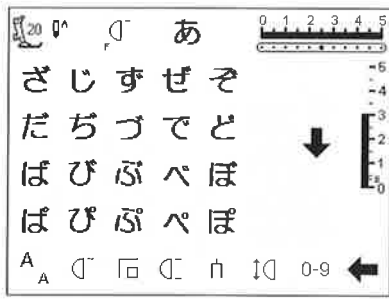


ボタンホール縫い



飾り縫い

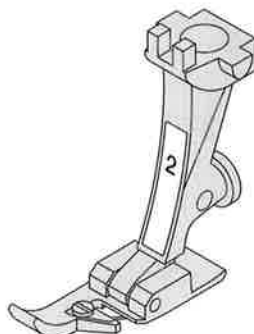




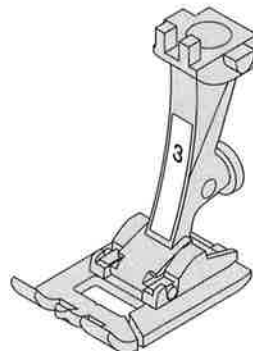
押え金



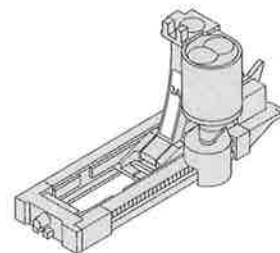
#1
スーパー模様押え
実用縫い、模様縫い



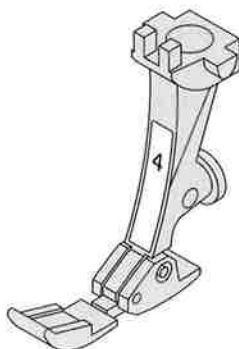
#2
オーバーロック押え
オーバーロック縫い
布端かがり



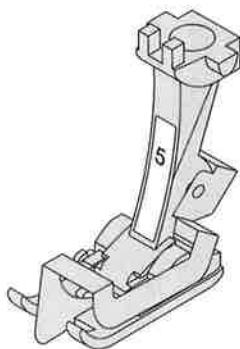
#3
ボタンホール押え
ボタンホール縫い



#3A
布ガイド付ボタンホール押え
フラットな部分でのボタンホール縫い、自動つくり縫い



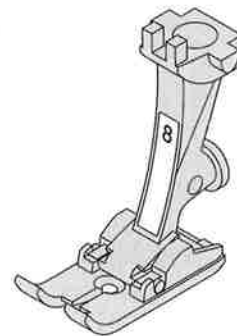
#4
ファスナー押え
ファスナー付けに



#5
まつり縫い押え
まつり縫い、エッジ縫いに



#6
刺しゅう押え
刺しゅう、アップリケ、サテンスッチ模様、文字、モノグラム



#8
ジーンズ押え
ジーンズなどの厚地で段差を直線で縫う時に、#16/18のジーンズ針と一緒に使います。

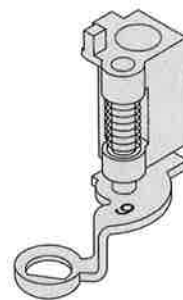
ベルニナ特殊押え（オプション）

ほとんどのソーイングは標準押え金で可能ですが、キルティングや、伝統的な手法を使ったソーイング、クラフト、ホームデコレーション、洋服の仕立てなどの特殊な作業にはベルニナ仕様の特殊な押え金のご使用をお勧めします。

下図の二種類の押え金はその一例です。



#32
7本溝ピンタック押え
2ミリ幅のピンタック。薄地のウールやコットンに最適



#9
ダーニング押え
ダーニング、モノグラミング、フリーハンドキルティングや刺しゅうに最適

実用縫い模様と用途

1. **直線縫い**
伸縮性のない生地。すべての直線縫い
2. **ジグザグ縫い**
あらゆる生地。薄地でのジグザグ縫いや、ゴムひもやレースの縫い付けなど
3. **バリオーバーロック**
主に薄地のジャージー等、伸縮地の縁かがりやオーバーロック縫い
4. **ランニングステッチ**
あらゆる生地。つくろい縫い、パッチの縫い付けや補強縫いなど
5. **自動止め縫い**
あらゆる生地。直線縫いの始めと終わりを自動的に止め縫いする
6. **トリプルステッチ**
厚くて丈夫な生地。補強縫いに
7. **トリプルジグザグ**
厚くて丈夫な生地。補強縫い、トップステッチ、やへム縫い、飾りステッチ、カウチングなどに。
8. **ネットステッチ**
インターロック地や滑らかな生地に。トップステッチやへム縫いに。
9. **まつり縫い**
あらゆる生地。くけ縫いやソフトなジャージー、薄地のシェルタック、飾り縫いなど
10. **ダブルオーバーロック**
あらゆるニット地。縫うと同時に縁の始末ができる
11. **スーパーストレッチ**
非常に伸縮性の強いニット地やライクラ地などの縫い合わせ
12. **ギャザリングステッチ**
あらゆる生地ゴムひもを使ったシャーリング、キルト綿等突き合わせ縫い
13. **ストレッチオーバーロック**
中厚地のニット地、タオル地その他腰のある生
14. **ジャージーステッチ**
天然、混紡、あるいは化繊やデリケートなニット地。飾り縫い、縁かがり、縫い等に。
15. **ユニバーサルステッチ**
フェルト等厚地の生地またはレザー等突き合わせ、飾り縫い等
16. **二点ジグザグ**
粗い目の生地、布端の補強に、エラスティックや飾り縫いに。
17. **ライクラステッチ**
二方向伸縮性のニット地に、フラットな突き合わせ、縁縫い、下着などに
18. **ストレッチステッチ**
すべてのストレッチタイプの生地に、スポーツウエアなど。
19. **強化オーバーロック**
中厚地のニット地、ジャージー、タオル地や、固めの織物に
20. **ニットオーバーロック**
機械編みや、手編みのあらゆるニット地に縁かがりと縫い合わせを同時に仕上げます

- | | | | |
|---|---|---|---|
|  | <p>21. しつけ縫い
しつけ縫い</p> |  | <p>24. 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、
ほつれやすい個所やベルトループに</p> |
|  | <p>22. 自動つくろい縫い
薄地や中厚地の布の自動つくろい縫い</p> |  | <p>25. 自動かんぬき止め縫い
ポケットの両端やあき止まりなど、ほつれやすい個所やベルトループに</p> |
|  | <p>23. 自動強化縫い縫い
厚地の自動縫い縫い</p> | <p>実用縫い模様の詳細な使い方は、後述のソーイングマニュアルの2-20ページをご参照下さい。</p> | |

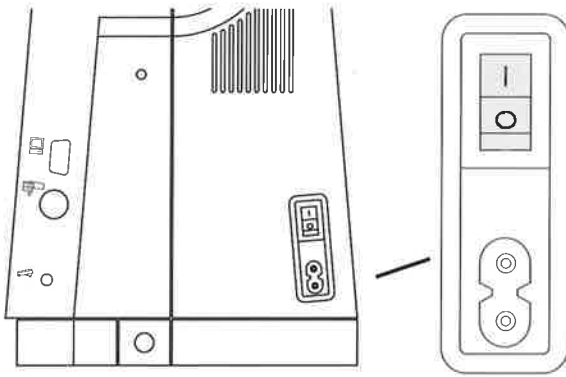
ボタンホール縫いと用途

- | | | | |
|---|--|---|---|
|  | <p>51. 標準ボタンホール
薄手から中厚手の生地。ブラウス、シャツ、ズボン、寝具等に</p> |  | <p>57. ポイントはと目ボタンホール
伸縮性のない堅い生地に。
ジャケット、コート、レジャーウェアに。</p> |
|  | <p>52. 標準ボタンホール（幅小）
薄手から中厚手の生地の生地。ブラウス、シャツ、ドレス、ズボン、幼児服等</p> |  | <p>58. 強化はと目ボタンホール
堅い、伸縮性のない生地に。
ジャケット、コート、レジャーウェアに。</p> |
|  | <p>53. ストレッチボタンホール
木綿、化繊、シルクウールのあらゆる伸縮性ある生地。</p> |  | <p>59. 直線縫いボタンホール
ボタンホールの準備縫いに、ポケットの開口部に。</p> |
|  | <p>54. 鳩目ボタンホール
厚地で伸縮性のない生地。ジャケット、コート、ズボン等</p> |  | <p>60. ボタン付け
二つ穴、または四つ穴のボタン付けに。
（別売りのボタン付け押えが必要です。）</p> |
|  | <p>55. 直線縫いアイレット
鳩目穴、細ひもやリボンの挿入口に。</p> |  | <p>61. シグザグ・アイレット
紐穴や、リボンやバンド穴、飾り縫いに。</p> |
|  | <p>56. 標準はと目ボタンホール
厚地、伸縮性のない生地。
ジャケット、コート、ズボン、レジャーウェア等に。</p> |  | <p>62. 直線アイレット
紐穴や、細いリボン穴に。</p> |

ボタンホール縫いに関する詳しい説明は、後述のソーイングマニュアルの21-30ページをご参照下さい。

スクリーン操作

アーティストは外部操作ボタンとつまみ、及びタッチスクリーンの両方で操作します。



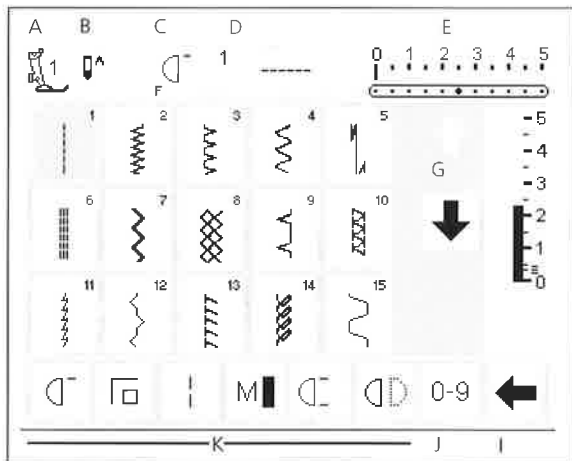
ミシンの電源を入れる

- ・スイッチの「I」を押してオンにします。



Welcomeメッセージが約3秒間画面に表示されます。

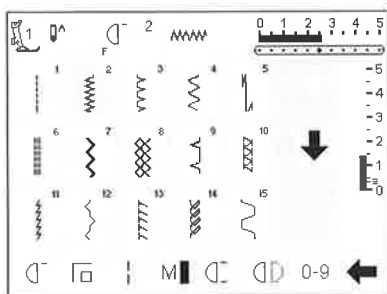
- ・ **Welcome**
- ・ このスクリーンはセットアップ機能で出さないようにすることも出来ます。



実用縫いスクリーン

- ・ **Welcome**メッセージが消えると実用縫いスクリーンが表示されます。
- ・ スクリーンには次の情報が含まれています。
- A—基本の押え金の表示
- B—針上下停止位置表示
- C—「F機能」ボタンにセットされた機能の表示
- D—選択した模様の番号
- E—振り幅（基本セッティングが点滅）
- F—針基線（11ポジション）
- G—画面スクロール上下矢印
- H—送り長さ（基本セッティングが点滅）
- I—機能スクロール用矢印
- J—模様番号でステッチ選択機能（選んだ模様は黒く強調して表示されます）。
- K—機能ツールバー

模様を選択方法、模様の表示、機能

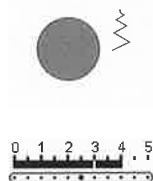


模様の選択

- ・縫いたい模様ボタンをタッチして選びます。
- ・選んだ模様が黒く強調されて表示されます。
- ・すべての模様には番号がついています。

振り幅の調節方法

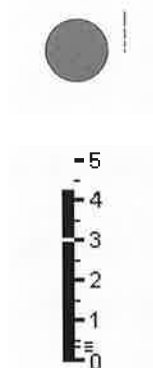
- ・ミシンパネル右上の一番上のつまみを回します。



- ・変更した振り幅が画面の中の振り幅表示に現れます。
- ・基本セッティングが点滅しています。
- ・振り幅は0から5.5ミリの間で変換できます。
- ・画面上の振り幅表示は、0-5ミリを表示します。

送り長さの調節方法

- ・ミシンパネル右上の上から2番目のつまみを回します。



- ・変更した送り長さが画面の中の送り長さ表示に現れます。
- ・基本セッティングが点滅しています。
- ・0-5ミリの間で変更可能です。

選択した模様の表示

- ・画面の上に選んだ模様の絵が表示されます。
- ・模様番号が画面上部に表示されます。
- ・選んだ模様が変更された振り幅や送り長さと一緒に画面上に表示されます。

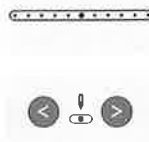


機能の選択方法

- ・選みたい機能ボタンをタッチします。
- ・機能が起動してボタンが黒く表示されます。(同時にいくつかの機能を起動することも出来ます)。
- ・画面に表示されていない機能を探すには機能ツールバー右端のスクロール用矢印「<>」をタッチします。
- ・必要に応じて他の機能も起動して見て下さい。
- ・スクロール用矢印をタッチして他の機能を画面に表示します。
- ・機能ツールバーは後述のセットアップ機能で自分に使い易くセットできます。
- ・詳細は28-38ページをご参照下さい。

針基線の移動

- ・左(<)、または右(>)の針基線プッシュボタンを押します。
- ・一回押すたびに、針基線が一つずつ移動します。



基本押え金表示

- ・模様に適した基本の押え金がスクリーン左上に表示されます。



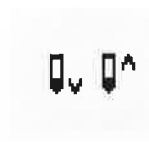
基本セッティングに戻す

- ・外部プッシュボタン「clr」を押します。
- ・模様などが基本セッティングにもどります。

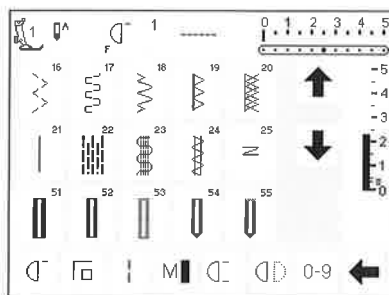


針上下停止位置表示

- ・針上下停止機能プッシュボタンを押します。
- ・上または下向きの矢印が表示されます。
- ・矢印が下に向いていると、ミシンは常に針が下に下りた状態で止まります。
- ・もう一度押すと、矢印が反対に向きます。



模様を選択方法（模様を選ぶ方法は二通りあります。）



画面のスクロール方法

- ・画面右のスクロール用矢印《↓》（下向き）を一回タッチして下さい。
- ・最上段の模様の行が消えて、下から新しい模様の行が現れます。
- ・今度はスクロール用矢印《↑》上向きを一回タッチして下さい。

- ・最上段が再び現れて、最下段スクリーンから消えます。
- ・押し続けると画面上の模様が下から上に移動します。

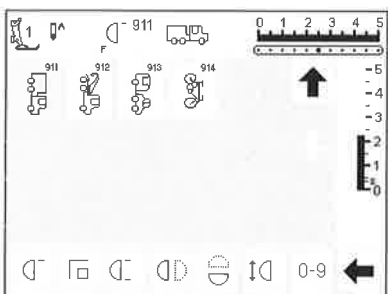


模様を番号で選ぶ方法

- ・画面下の機能ツールバーで模様番号選択機能《0-9》をタッチします。
- ・画面が模様番号選択機能の画面に変わります。
- ・選みたい模様の番号を数字ボタンをタッチして入力します。
- ・画面上に入力した番号が表示されます。

入力の訂正方法

- ・間違って番号を入れたり、番号を変更したい時は、消却機能《クリア》ボタンをタッチします。
- ・下の桁から一つずつ数字を消します。
- ・正しい番号を入力します。



番号を確認して次の画面へ

- ・《ok》ボタンをタッチして確認します。
- ・《ok》ボタンを押して模様画面を表示します。
- ・番号で選んだ模様が黒く強調されて表示されます。

キャンセルして元の画面へ戻る

- ・《キャンセル》ボタンをタッチします。
- ・元の画面が現れます。
- ・番号で入力した模様はキャンセルされました。

ご注意！

模様がない番号を入力しても画面は反応しません。

模様メニューの操作方法



実用縫い模様



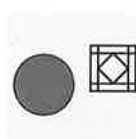
ボタンホール

外部メニュー プッシュボタン

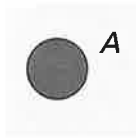
- ・プッシュボタンを押します。
- ・模様プログラムが選択されました。
- ・最初の模様画面が現れます。



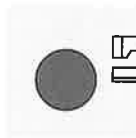
飾り縫い模様



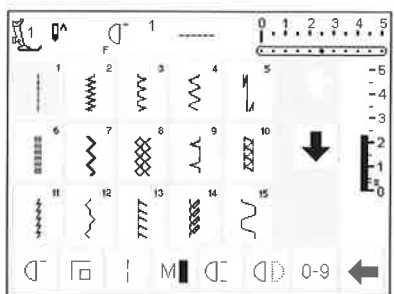
キルトステッチ



文字、数字

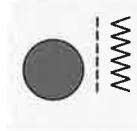


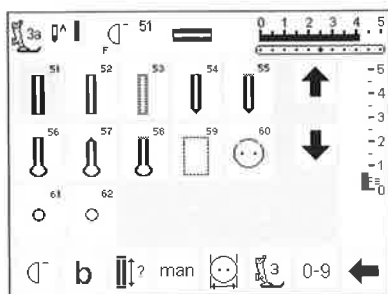
刺しゅう機、選択ボタン



実用縫い模様メニュー

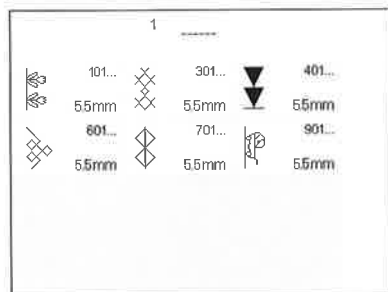
- ・実用縫い模様画面が現れます。
- ・直線縫いが自動的に選ばれています。
- ・画面には15種類の模様が表示されます。
- ・他の模様を画面に表示するにはスクロール矢印をタッチします。





ボタンホール メニュー

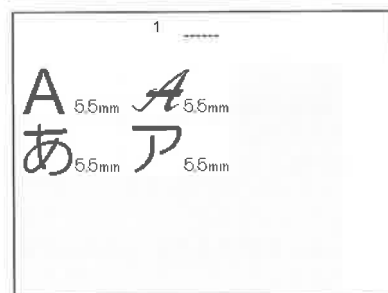
- ・ボタンホールメニュー画面が現れます。
- ・アイレットや、ボタン付けプログラムも含まれています。



飾り縫い模様メニュー

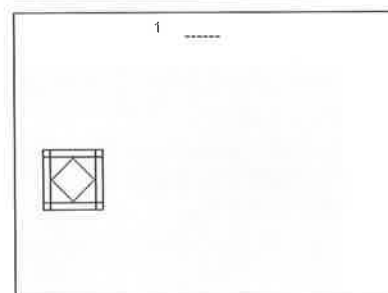
- ・飾り縫い模様メニュー画面が現れます。
- ・5.5ミリの飾り縫い模様を含むいろんな模様パターンやサイズを選べます。

- ・横送り模様にはクロス矢印が表示されています。
- ・模様タイプボタンをタッチして選びます。
- ・選んだ模様グループが表示されます。



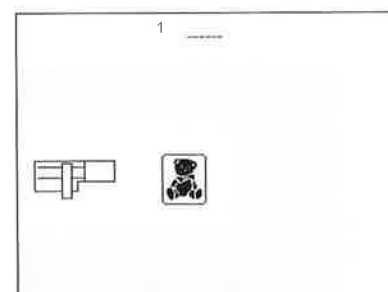
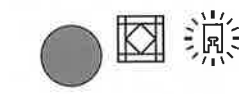
文字メニューボタン

- ・文字メニューが現れます。
- ・縫いたい文字ボタンをタッチして選びます。



キルトステッチ

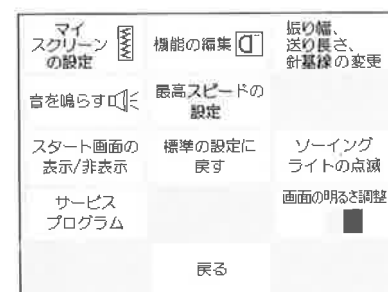
- ・キルトステッチメニュー画面が現れます。
- ・画面のボタンをタッチしてキルトステッチ画面を表示します。



外部入力との接続メニュー

- ・以下の外部入力をつなぐことが可能です。
- 刺しゅう機 (別売りオプション)
- 刺しゅうカード (別売りオプション)

- ・メニューが現れます。
- ・画面をタッチして選びます。



セットアップメニュー

- ・外部セットアップ用ボタンを押します。
- ・メニュー画面が現れます。
- ・ご自分のご使用に便利のようにセットアップ機能を使って編集できます。
- ・模様や機能を組合わせて編集できます。
- ・パーソナルセッティングを恒久的に保存できます。

- ・保存したパーソナルセッティング画面から自在に操作が可能です。
- ・不要になればいつでも基本セッティングに戻せます。

外部機能ボタンの解説



《clr》クリアボタン

- ・《clr》ボタンを押します。
- ・振り幅、送り長さ、針基線が基本セッティングに戻ります。
- ・ほとんどの機能がキャンセルされます。



《mem》メモリーボタン

- ・《mem》ボタンを押します。
- ・メモリーがオープンされ、画面上にメモリー域が現れます。
- ・画面上の三段目の模様表示がメモリー域に置き換えられます。
- ・詳しくはメモリーの章をご参照下さい。
- ・《mem》ボタンをもう一度押すとメモリー域が画面から消えます。



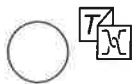
針上下停止位置選択ボタン

- ・標準セッティングは上に停止します。
- ・ボタンを押します。
- ・画面上の矢印の向きが変わります。
- ・ミシンはこの矢印のむいている場所で針を止めます。
- ・もう一度ボタンを押すと画面上の矢印の向きが変わります。



《?》ヘルプボタン

- ・ヘルプボタンを押します。
- ・次に画面上の模様ボタンや機能ボタンをタッチしてみてください。
- ・タッチした模様や機能の解説が画面に表示されます。



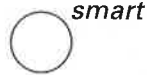
使用説明書／ソーイングガイドボタン

- ・ボタンを押します。
- ・次のメニューが画面に表示されます。
- 使用説明書
- ソーイングガイド（布、糸、針、縫い方、自動糸テンション等の解説）
- ・画面をタッチして選びます。
- ・選んだ解説が画面上に現れます。



針基線選択ボタン

- ・左、または右のボタンを押します。
- ・針基線が選んだ方向へ移動します。



《smart》スマートボタン

- ・スマートボタンを押します。
- ・今縫っていた縫い目、振り幅、送り、針基線が一時的に記憶されます。
- ・新しい模様縫い、例えばボタンホール縫いを選びます。
- ・スマートボタンを押すと、前に縫っていた状態に戻れます。
- ・スマートボタンを使って2種類の縫いを同時に進行させられます。



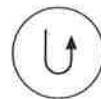
《セットアップ》機能ボタン

- ・set up機能ボタンを押します。
- ・セットアップメニュー画面が現れます。
- ・ご自分が使いやすく、便利のように機能やステッチをセット出来ます。
- ・頻繁に使うステッチや機能を自分の画面に集約してパーソナル画面（マイ スクリーン）を構成することも可能です。
- ・セットアップした状態で保存することも可能です。
- ・基本のセッティングに戻すことも出来ます。



《eco》省エネ機能ボタン

- ・eco機能ボタンを押します。
- ・機能を一時的に停止し、使用電力を50%節減します。
- ・長時間にわたって、作業の中断を余儀なくされた時などに便利です。
- ・すべてのセッティングはそのまま保留されませんが、フットコントローラーは、休止状態に保たれ、安全です。
- ・スクリーンセーバーが起動して、画面を暗くします。
- ・作業を再開するには、ecoボタンをもう一度押すだけです。



手元返し縫い機能ボタン

- ・フットコントローラーを踏んだままボタンを押します。
- ・縫い始めや縫い終りに止め縫いします。
- ・押している間返し縫いを続けます。
- ・ボタンホールのサイズをプログラムするのにも使います。
- ・自動つくろい縫いで長さをプログラムするのにも使います。
- ・自動直線止め縫い#5の切替ステッチでも切替スイッチとして使います。
- ・刺しゅう機（別売りオプション）を接続時に、スタート、ストップボタンとして機能します。



一模様縫い機能ボタン

- ・ソーイング中に押すと、その模様のパターンを縫い終った時点でミシンを自動的に止めます。
- ・メモリーを使ったステッチの組合わせを一回縫うのにも使えます。



《F》（フリー機能）ボタン

- ・このボタンはいかようにも、ご自分の好みの機能をプログラムして使うことが出来ます。
- ・キャンセルすることも、何度でもプログラムし直すことも可能です。
- ・マイスクリーン呼び出し機能もこのボタンにプログラムできます。
- ・詳しくは、セットアップの章75ページをご参照下さい。

オン・スクリーン機能

画面上に配備された機能は、タッチセンサーで起動でき、起動中の機能は黒く強調されて表示されます。

選んだ機能をキャンセルするには、個々の機能のボタンを再度タッチするとキャンセルできます。
clrクリアボタンを押せば、以下の例外機能を除くすべて起動中の機能が一度にキャンセルできます。

例外の機能：

- ― 針上下停止位置
- ― 二本針振り幅限定機能

この二つの機能は、常に個々にキャンセルしなければなりません。

標準機能

次の標準的な機能が画面に表示されます。
いろんな作業によく使いますので、以下に説明します。



上にスクロールする

- ・何度かタッチします。
- ・画面が上にスクロールします。
- ・早く送るには指を画面にタッチしたままにします。

戻る

《戻る》機能

- ・《戻る》ボタンにタッチします。
- ・機能の完了や画面の終了を指示します。
- ・以前の画面に戻ります。



下にスクロールする

- ・何度かタッチします。
- ・画面が下にスクロールします。
- ・早く送るには指を画面にタッチしたままにします。

ok

《ok》確認機能

- ・タッチして調節や選択を確認します。
- ・プログラムされた調節や選択内容を縫う用意が完了しています。

機能ツールバー

以下の機能が、各種の模様縫い画面の下に常に表示されています。8種類以上の機能（但しメモリーを使っているときは4種類）が機能ツールバーにセットされている場合は、残りの機能ボタンは隠れており、画面下右端の機能スクロール矢印で機能ボタン

をスクロールさせて隠れている機能ボタンを画面に移動させてタッチします。隠れている機能が起動しているときは機能スクロール矢印が点滅してしらせ

実用縫い用の機能ツールバー



隠れ機能ツールバー

どの機能が隠れているかは機能ツールバーの位置によります。

メモ：

機能ツールバー用スクロール矢印と模様番号ステッチ選択ボタンは機能ツールバーに常駐します。合計

8種類の機能（但しメモリーを使っているときは4種類）が表示されています。

模様頭出し機能

- 機能ボタンにタッチして起動します。
- 針目を模様やメモリーの内容の先頭に戻します。
- ボタンは2～3秒間黒くなって、元に戻ります。
- メモリーされた内容に対して使った時は、メモリーカーソルが最初の文字の右側に移動します。

適用：

- 模様縫い、刺しゅう、ボタンホール縫い、メモリーを使ったソーイングに。

一点止め縫い機能

- 機能ボタンをタッチして起動します。
- ステッチの縫い始めと縫い終わりを3～4針で一点止め縫いします。
- メモリーと一緒に使うとメモリーの内容の縫い始めと縫い終りで止め縫いします。

適用：

- 飾り模様を使ってモチーフを縫う時
- 個々の文字を縫う時
- 文字とステッチの組み合わせを縫う時

ロングステッチ機能

- 機能をタッチして起動します。
- ミシンは2針に一回縫います。（5ミリの送り長さの縫い目では10ミリで縫えます）。
- いろんなステッチとの組み合わせが可能です。ボタンホールを横送り縫いには使えません。
- メモリーにステッチと共に記憶できます。
- 刺しゅう機を使った刺しゅう縫いには機能しません。

適用：

- 直線縫いといっしょに使ってしつけ縫いに。
- 直線トリプルステッチと使ってトップステッチに。

ソーイングスピード選択機能

1/4, 1/2, 3/4, フルスピード

- 機能ボタンを一回ずつタッチすると、各スピードの表示が現れ、最高スピードを制御します。
- 各スピード域でのトップスピードを、各々約225針、450針、675針、900針/分にコントロールします。

適応：

- 刺しゅうなどの細かい複雑な作業での正確なスピードコントロールに。
- フリーハンドキルティングなどに。
- お年寄りのソーイングやお子様の実習に。

一模様縫い機能1-9

- 繰り返し縫う回数をボタンにタッチして、数字を選択して下さい。
- 1＝各ステッチ、または一組のステッチが終わるたびにミシンが停止します。
- 2-9＝ステッチや一組のステッチが選択した回数だけ繰り返し縫われた後にミシンは停止します。

応用：

- 各モチーフを縫います。
- 実用縫いと4方向縫いを組み合わせます。

左右模様反転機能

- 表示にタッチします。
- 選択したステッチが左右の反転模様で縫えます。
- メモリーにプログラムできます。

0-9

模様番号によるステッチの選択

- ・数字の表示にタッチします。
- ・適当な数字の組み合わせにタッチしてステッチを選択します。

**応用：**

- ・各ステッチをすばやく選択できます。
- ・メモリーへの入力もすばやく処理できます。

**機能ツールバースクロール**

- ・一回づつ、またはタッチしつづけると、次々と機能を見て調べることができます。

**応用：**

- ・使用できる機能をすべて見てみましょう。
- ・個々のモチーフやメモリーにあるステッチと機能を組み合わせましょう。

**垂直模様反転機能**

- ・表示にタッチします。
- ・選択したステッチが上下の反転模様で縫えます。
- ・メモリーにプログラムできます。

応用：

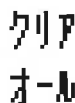
- ・装飾縫い。
- ・メモリーを使ったパターンの組み合わせ。

**パターン拡大機能2-5倍**

- ・一回、または何度かタッチします。
- ・選択したステッチによって2-5の数字が出ます。
- ・選択したステッチの長さを2-5倍に長くすることができます。
- ・拡大したステッチでメモリーにプログラムできます。

応用：

- ・いろいろなステッチを拡大してみましょう。
- ・ステッチを組み合わせましょう。

**二本針振り幅限定機能**

- ・何度かタッチして2から5のうちの数字を選択します。
- ・数字は針と針の間の距離をミリ単位で表しています。
- ・ステッチの幅は、自動的に制限されています。
- ・こうして、針が押え金や針板に当たったり、針折れが起こるのを防いでいるのです。
- ・メモリーにプログラムできます。

応用：

- ・ピンタックを縫ってみましょう。
- ・ニットの縁かがりをしてみましょう。
- ・ヘムステッチを試してみましょう。
- ・装飾縫いをしてみましょう。

連続返し縫い機能

- ・表示にタッチします。
- ・連続して返し縫いで縫えます。

応用：

- ・直線縫いかランニングステッチでかがってみましょう。
- ・袖やズボンに装飾縫いをしてみましょう。
- ・長い距離のキルティングに。

1/2 模様機能

- ・表示にタッチします。
- ・ステッチパターンの半分のところでミシンが停止します。
- ・続けて縫うと、停止した模様の後半分と前半分を縫って止まります。
- ・後半分を縫って止めるには、一模様縫い機能といっしょに使います。

応用：

- ・角の仕上げに。
- ・新しいパターンを作りましょう。

バランス

- ・表示にタッチしてバランス画面を開きます。
- ・前進と返し縫いのステッチバランスを修正します。
- ・横送り縫いのステッチを修正します。

応用：

- ・たとえばネットステッチのような実用縫いのステッチを減らしたり増やしたりしてみましょう。
- ・装飾縫い一新しく見えます。
- ・違う生地ボタンホールを合わせてみましょう。
- ・違う生地に横送り縫いのステッチを合わせてみましょう。

クリアオール機能

- ・セットアップ機能で変更された機能以外はすべてクリアして標準のセッティングに戻します。
- ・連続返し縫い機能
- ・一模様縫い機能
- ・左右模様反転機能
- ・模様拡大機能
- ・送り長さ
- ・針基線
- ・二本針振り幅限定機能
- ・針停止位置機能
- ・文字サイズ機能
- ・ボタンホールメモリー
- ・ロングステッチ機能
- ・一点止め縫い機能
- ・垂直模様反転機能
- ・バランス機能
- ・振り幅
- ・1/2模様機能
- ・ウイング針振り幅限定機能
- ・ソーイングスピード限定機能

メモ：

さらに、上糸調子の調節とウイング針振り幅限定機能の二つの機能が機能ツールバーに指定できます。(詳細は26ページのセットアップ機能の項を参照) これらの機能はセットアップ機能の編集 (54ページ参照) で機能ツールバーにセットします。

セットアップ機能

次の機能がセットアッププログラムに用意されています。外部セットアップ機能ボタンを押してセットアップ画面を表示し、《機能の編集》ボタンをタッチして起動します。

マイ スクリーン

マイスクリーン機能

- ・マイスクリーンボタンにタッチします。
- ・マイスクリーン編集画面が表示されます。

使い方：

- ・よく使う模様をマイスクリーンに編集しておくとお便利。



機能編集用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能での機能の編集で機能をツールバーから取り消します。

リセット

リセット機能

- ・リセットボタンにタッチして起動します。
- ・独自の模様縫いのセッティングをクリヤーして表順に戻します。



機能挿入用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能の機能編集で機能を機能ツールバーに挿入します。

次の機能がセットアッププログラムに用意されています。両面から使えるソーイング用の機能ですが、工場標準では画面下の機能ツールバーには含まれておりません。使えるようにするには、81-82ページの解説をご参照下さい。



ヘムステッチ（ウイング）針

- ・工場標準の画面ツールバーにはセットされていません。
- ・セットアッププログラムで画面ツールバーに組み込むことができます。
- ・ステッチの幅は自動的に制限されています。
- ・針基線は中央にロックされます。
- ・こうして、針が押え金や針板に当たったり、針折れが起るのを防いでいるのです。

使い方：

- ・ヘムステッチを試してみましょう。
- ・装飾縫いを試してみましょう。

メモリー操作機能

外部メモリーボタンを押して、メモリーをオープンすると各種機能が起動して、画面下の機能ツールバーに表示されます。

確認

確認

- ・表示にタッチします。
- ・メモリーの内容が表示されます。

応用：

- ・メモリーの内容をチェックしたり訂正しましょう。

mem
1

メモリーの選択

- ・開いたメモリー域は数字で表示されます。
- ・《戻る》ボタンにタッチしてメモリー域を閉じます。
- ・メモリー操作を終わるには、画面右横の外部メモリーボタン《mem》を押します。

クリア

クリア

- ・表示にタッチします。
- ・カーソルの左側で各ステッチや文字を削除します。
- ・ステッチの組み合わせを削除します。

応用：

- ・メモリーの訂正ができます。
- ・メモリーの内容を完全に削除します。

保存

応用：

- ・メモリーで作業します。
- ・ステッチの組み合わせを保存してみましょう。

保存

- ・表示にタッチします。
- ・各ステッチ、ステッチの組み合わせ、文字等を保存します。

応用：

- ・メモリーにプログラムした内容を保存しましょう。

左にスクロール

- ・何度か表示にタッチします。
- ・メモリーの内容が後ろからスクロールします。





右にスクロール

- ・何度か表示にタッチします。
- ・メモリーの内容が前向きにスクロールします。

編集

メモリーの内容を編集

- ・表示にタッチします。
- ・カーソルの左側のステッチ、文字、数字を削除します。
- ・新しいステッチ、機能を挿入します。
- ・もう一度表示にタッチして、編集を閉じます。

応用：

- ・メモリーの内容を訂正したり変更したりしてみましょう。

各種メモリー編集機能

《編集》ボタンをタッチすると画面の中央にメモリーの編集画面が表示されます。編集機能が起動すると、《クリア》機能を除く機能ツールバーの機能は、編集機能がクローズされるまでは休眠状態になり使えません。



ソーイングスピード選択機能

1/4, 1/2, 3/4, フルスピード

- ・機能ボタンを一回ずつタッチすると、各スピードを選びます。
- ・選んだスピードが表示され、最高のスピードを制御します。
- ・各スピード域でのトップスピードを、各々約200針、440針、660針、880針/分にコントロールします。(セットアッププログラムで最高速度を変えていなければ)



垂直模様反転機能

- ・表示にタッチします。
- ・選択したステッチが上下の反転模様になります。
- ・メモリーにプログラムできます。



一点止め縫い機能

- ・表示にタッチします。
- ・メモリーの最後の模様縫いが3～4針で一点止め縫いされます。
- ・メモリーの中の各模様の終わりに指定してもかまわない。



パターン拡大機能2-5倍

- ・一回、または何度かタッチします。
- ・選択したステッチによって2-5の数字が出ます。
- ・選択したステッチの長さを2-5倍に長くすることができます。
- ・拡大したステッチでメモリーにプログラムできます。



メモリーの分割

- ・表示にタッチします。
- ・メモリーは255個のセクション又は番地を持っています。
- ・各番地は好みに応じて小さく分割できます。
- ・記憶できる最大文字、模様数は1023種類です。



バランス

- ・表示にタッチしてバランス画面を開きます。
- ・前進と返し縫いのステッチバランスを修正します。
- ・横送り縫いのステッチを修正します。



ロングステッチ機能

- ・ボタンにタッチして起動します。
- ・2針に一回縫います。最大10ミリのステッチが可能です。



文字サイズ

- ・何度かタッチします。
- ・画面の半分が強調されます。
- ・大きなAが強調されている時は9ミリ、小さなAの時は6ミリのサイズを意味します。



左右模様反転機能

- ・表示にタッチします。
- ・選択したステッチが左右の反転模様に縫えます。
- ・メモリーにプログラムできます。

ボタンホールプログラム機能

ボタンホール縫いが選ばれると次の機能が画面下の機能ツールバーに表示されます。



ボタンホールの長さーサイズを直接入力する

- ・表示にタッチしてサイズ入力画面を開きます。
- ・ボタンのサイズ（長さ＋厚み）をミリで入力します。

応用：

- ・もしボタンのサイズを知っていたら素早く便利です。

man

手動式のボタンホール

- ・表示にタッチします。
- ・手順に従います。（ボタンホールのタイプによって4-6ステップ）

応用：

- ・個別に手動でボタンホールを縫う時に。
- ・ボタンホールの修繕に。



ボタンホールの長さー画面上で測る

- ・表示にタッチして測定画面を開きます。
- ・ボタンを画面の左下の隅に軽く押し当てて測ります。
- ・ボタンホールの長さは、ボタンの厚みを考慮して自動的に2ミリ加算してプログラムされます。

応用：

- ・ボタンホールのサイズを決定するのに便利で簡単な方法です。



ステッチカウント式ボタンホール

- ・ボタンホールを選択します。
- ・表示にタッチします。
- ・ステッチカウント式ボタンホールが起動します。

文字のプログラム機能

文字やモノグラムが選ばれると次のいずれかの機能が画面下の機能ツールバーに自動的に表示されます。



文字のサイズ

- ・何度かタッチします。
- ・画面の半分が強調されます。
- ・暗い部分に文字のサイズ（9ミリとか6ミリ）が表示されます。

適応：

- ・サイズの選択
- ・メモリーの中で編集可能

監視モニター機能（関係ある時にだけ表示されます。）

次のようなメッセージが画面に表示されることがあります。これらは、選ばれたステッチや機能に関するお知らせ、ご注意、確認等のメッセージです。この説明するのはミシンの操作に関するものだけで、刺しゅう機の説明書をご参照下さい。

メッセージ内容

応答内容

「上糸を確認してください。」

- ・セットアップ機能で上糸警告音をセットしているときに、上糸が切れたか、糸を使い切った時に現われます。
- ・確認して、下糸を通し直します。
- ・《了解》をタッチして前の画面に戻ります。

「糸巻きがオンになっています。」

- ・糸巻き装置を確認します。
- ・糸巻き装置がオンになっているとミシンは動きません。
- ・糸巻き装置をオフにして、《戻る》をタッチして前の画面に戻ります。
- ・糸巻きをしているときにもこのメッセージが現れます。
- ・《了解》をタッチして画面表示を消して続けます。

「このモチーフを保存しますか？」

- ・メモリーの内容を消去するときに確認をします。
- ・保存するなら《はい》、しないなら《いいえ》をタッチします。

「この機能はマイスクリーンには登録できません。」

- ・横送り縫いや文字などはマイスクリーンに登録できません。

「このマイスクリーンのメモリーがいっぱいです。」

- ・どれか不要なステッチを削除して新しく保存して下さい。

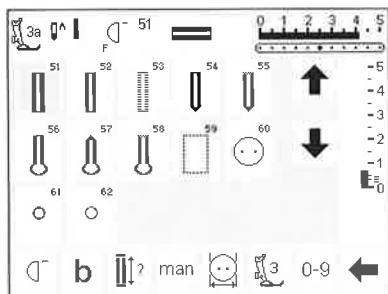
「メモリーがいっぱいです。」

- ・どれか不要なステッチを削除して新しく保存して下さい。

ボタンホール

ボタンホールは装飾的な効果にも使うことができる実用的なステッチです。アーティストでは幅広い選択肢をご用意いたしました。

すべてのボタンホールは、さまざまな方法でプログラムして縫うことも可能です。



ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレット

- ・画面右横にあるボタンホール用の外部ボタンを押します。
- ・画面にはボタンホールとアイレットの全種類の概観が表示されます。

- 51 標準タイプバータック
- 52 標準タイプ（幅小）ー（ヘアローム）
- 53 標準タイプ伸縮地用
- 54 丸型標準タイプ（標準バータック付）
- 55 丸型標準タイプ（水平バータック付）
- 56 はと目（標準バータック付）
- 57 はと目（扇型バータック付）
- 58 はと目（水平バータック付）

- 59 直線縫いボタンホール
- 60 ボタン付けプログラム
- 61 ジグザグアイレット
- 62 直線縫いアイレット

ボタンホール／ボタン付けプログラム／アイレットの選択

- ・選んだボタンホールをタッチします。
- ・選んだボタンホール、アイレットまたはボタン付けプログラムが起動します。
- ・#51-#61のいずれかのボタンホールが選ばれたとき、すべての機能は標準のセッティングにリセットされます。

ボタンホールスクリーンには次のステッチが表示されます。使い方の詳細は21ページをご参照ください。

51 標準ボタンホール



53 標準タイプ伸縮地用



55 丸型標準タイプ（水平バータック付）



52 標準タイプ（幅小ーヘアローム）

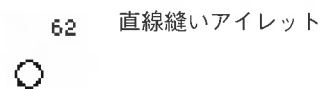
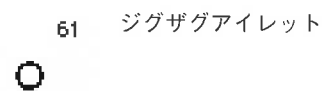
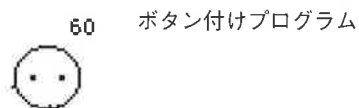
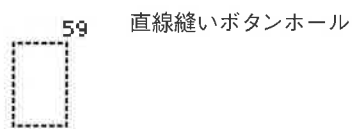
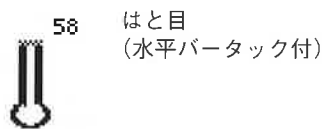
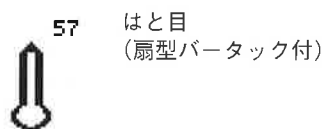


54 丸型標準タイプ（標準バータック付）



56 はと目（標準バータック付）



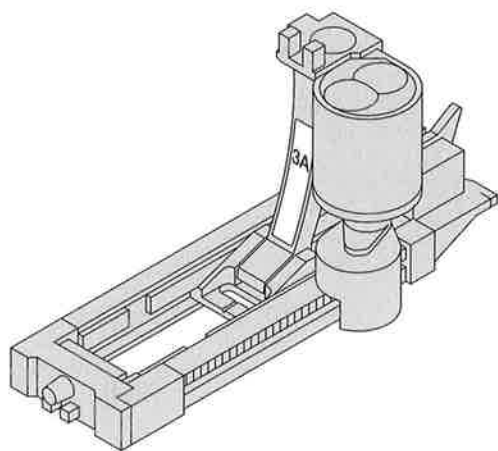


自動式標準と伸縮ボタンホール（自動長さ調節）

穴かがりは左右両方とも同じ方向に縫われます。

ご注意！

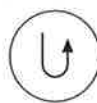
布ガイド付きボタンホール押え#3Aは生地の上に平らになるようにして下さい。つまり、縫い代の折り返しの上になったりしないように。さもないと、長さを正確に測ることができないからです。



ボタンホールの縫いサンプルはソーイングマニュアルの章25ページをご参照下さい。

最初の穴かがりを縫う

- ・縫う部分が画面に表示されます。(押え金表示の右側)
- ・最初の穴かがりを前進で縫い、適当な長さでミシンを止めます。



|
auto

—
auto

|
auto

—
auto

ボタンホールをプログラムする

- ・《手元返し縫い》ボタンを押します。
- ・縫い始めると画面のボタンホールの表示に自動<auto>と出ます。＝長さがプログラムされました。
- ・ミシンは自動的に直線で返し縫いします。

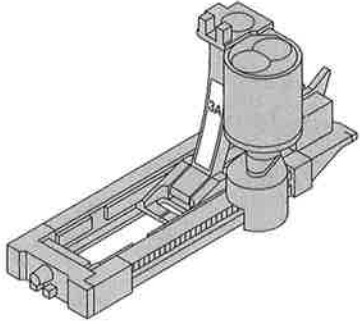
自動縫いボタンホール

- ・上の環止めを自動的に縫います。
- ・次に自動的に右側の穴かがりを前進縫いで縫います。
- ・下の環止めを自動的に縫います。
- ・自動的に止め縫いをします。
- ・自動的にミシンは停止し、ボタンホールの縫い始めに戻ります。
- ・続けて縫うボタンホールは同じ長さで自動的に縫えます。(止め縫いのボタンを押す必要はありません。)

ボタンホール高さ調節板（別売りオプション）

- ・布ガイド付の自動ボタンホール押えNo.3Aを使ってボタンホールを縫うとき、押え部分が縫い代などにかかって平らに布を押えられないとき、この別売りの高さ調節板をお使い下さい。

丸型、はと目ボタンホールの自動縫い



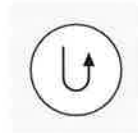
穴かがりは左右両方とも同じ方向に縫われます。

ボタンホールの長さを決定するために、穴かがりの長さのみを測ります。バータック部分やはと目部分は、それぞれに応じて自動的に設定されます。



最初の穴かがりを縫う

- 縫う部分が画面に表示されます。(押え金表示の右側)
- 最初の穴かがりを縫って(直線縫い)、ミシンを止めます。



ボタンホールをプログラムする

- 《手元返し縫い》ボタンを押します。
- 縫い始めるとボタンホール表示に自動《auto》と出ます。ボタンホール長さがプログラムされました。



メモ：

丸型やはと目ボタンホールを縫うときも画面上のボタンホールのイラストは標準バータックの形を示しています。

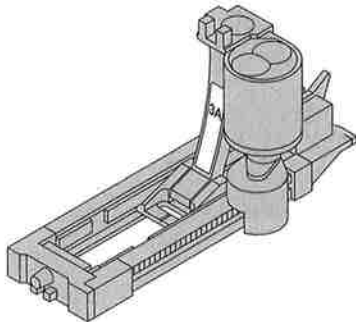
ボタンホールの縫いサンプルはソーイングマニュアルセクションの26ページをご参照下さい。

ボタンホールの自動縫い

- 丸型バータック部分、またははと目部分を自動的に縫います。
- 左側の穴かがりを自動的に後進で縫います。
- 右側の穴かがりを自動的に前進で直線縫いします。
- 右側穴かがりを自動的に後進でジグザグ縫いします。

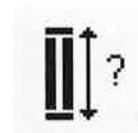
- 上の環止めを自動的に縫います。
- 止め縫いを自動的に縫います。
- 自動的にミシンは停止し、ボタンホールの縫い始めに戻ります。
- 続けて縫うボタンホールはすべて同じ長さに自動的に縫います。(手元返し縫いボタンを押す必要はありません。)

指定した長さのボタンホールを自動縫い（全種類）



ミリ単位でボタンホールの長さが始めからわかっているときは、そのサイズをミリ単位で入力できます。

布ガイド付の自動ボタンホール押さえ No.3A を使ってはと目ボタンホールを縫うときは、最大長さは、29ミリです。はと目部分はミシンが自動的に計算して縫い上げます。



サイズ入力の画面を開く

- ボタンホール押さえ #3A でサイズを指定したボタンホールを縫うことができます。
- ボタンホールを選択します。
- 画面下の機能ツールバーで《?》マーク付いたボタンホールマークをタッチします。



長さを入力する

- 画面に0-9の数字表が表示されます。
- 数字でボタンホールの長さ（4-29ミリ以内）を入力して下さい。
- ボタンホール表示の右側に長さが出ます。
- 《ok》ボタンをタッチして確認すると、画面は自動的に変わります。

訂正

- 数字を間違えた時は、《クリア》ボタンで取り消します。

画面表示

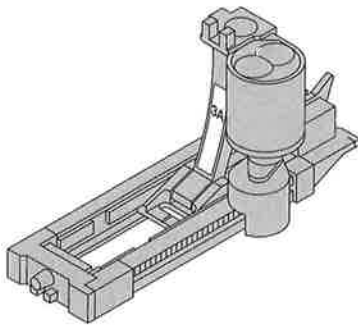
- 画面上部のボタンホールマーク表示の下に“auto”（自動）の表示が現われ、ボタンホール長さがプログラムされたことを示しています。

ボタンホールメニューにもどる

- 《キャンセル》をタッチする。



自動ボタンホールボタンでボタンホールの長さを実測する (標準と伸縮地用ボタンホール)

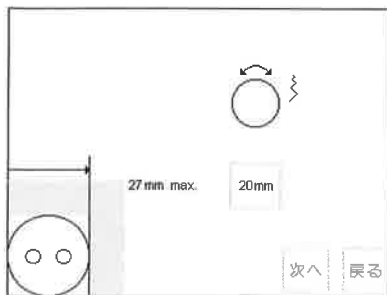


実際に使うボタンを画面に当ててボタンホールのサイズを測り、決めることもできます。実寸がミリ単位で入力されます。



実測画面を開く

- ・ボタンホールを選択します。
- ・画面下の機能ツールバーでボタンサイズ実測の機能ボタンをタッチ。



ボタンサイズを決定

- ・測定画面が最大可能サイズの27ミリと一緒にスクリーンに表示されます。
- ・ボタン（4-27ミリ）を測定画面の左下の隅に当てて押さえます。
- ・送り調節ボタンを使って測定画面の縦の実測線を移動させます。
- ・ボタンのちょうど右外側に線を合わせて下さい。
- ・ボタンホールの実測サイズが、たとえば20ミリというように、スクリーン上に表示されます。

厚みのあるボタンの場合の訂正

- ・たとえば浮き彫りボタン等のような特に厚みのあるボタンの時は、縦の実測線をボタンの端ぎりぎりでは測定しません。
- ・ボタンの厚みによって、ボタンの右端の1-4ミリ余裕をみて測定します。

お勧め

- ・使用する布の端切にボタンホールを試し縫いましょう。
- ・ボタンホールを開けます。
- ・ボタンを穴に通してみます。
- ・必要があれば、サイズを訂正して、実行します。

ボタンホールメニューにもどる

- ・《ok》ボタンをタッチして確認し、ボタンホールの画面に戻ります。

ボタンホールのサイズ

- ・ボタンホールのサイズはボタンの直径と厚みの合計により決まります。
- ・コンピュータはボタンの直径からボタンホールのサイズを計算します。
- ・ボタンの厚みを考慮して自動的に2ミリ加算されています。

ステッチカウント式ボタンホール（全種類）



最初の穴かがりは前進で、次は後進で縫います。

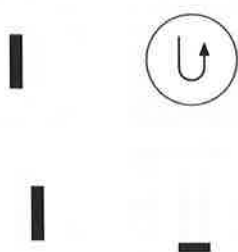
センサー付きボタンホール押えNo.3A又は自動ボタンホール押えNo.3Aで縫うときは一定のスピードで縫うように設定されています。

ステッチカウント式は無限の大きさのサイズのボタンホールを縫えますが、同じようにプログラムされたボタンホールでも、生地が違えば見た目も異なります。使用する生地でもその都度試し縫いして下さい。



押え金

- ・ボタンホールを選択します。
- ・画面下の機能ツールバーで《押え金3》機能をタッチします。
- ・ステッチカウント式プログラムが選択されたことがミシンに登録されました。
- ・ボタンホールの長さが、ステッチの数で測られます。

**押え金**

- ・ボタンホールを選択します。
- ・画面下の機能ツールバーで《押え金3》機能をタッチします。
- ・ステッチカウント式プログラムが選択されたことがミシンに登録されました。
- ・ボタンホールの長さが、ステッチの数で測られます。

環止め、止め縫い

- ・上の環止めを縫ったら、自動的に止め縫いをします。
- ・ミシンは自動的に停止します。
- ・自動《auto》が画面に表示されます。
- ・ボタンホールがこれでプログラムされました。
- ・続いてすべてのボタンホールをプログラム通りに自動で縫います。

最初の穴かがり縫い

- ・最初の穴かがり縫いを縫い、ミシンを停止します。
- ・《手元返し縫い》ボタンを押します。

変更

- ・ステッチの長さ、幅、バランスを変更した時は、ボタンホールのプログラムをやり直して下さい。

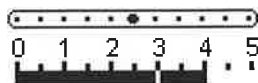
**環止め、次の穴かがり縫い**

- ・下の環止めを縫い、続いて後進で次の穴かがり縫いをします。
- ・最初の穴かがり縫いの一針目にきたら、ミシンを止めます。
- ・《手元返し縫い》ボタンを押します。

ボタンホールの縫いサンプルはソーイングマニュアルの27ページをご参照下さい。

ボタンホールの補正(ステッチカウント式ボタンホール - 全種類)

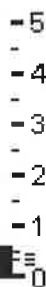
より正確なボタンホールを縫うために、次のような方法で縫い目バランスを補正できます。この補正データはミシンの電源を切るまで有効です。

**幅が広すぎる時**

- ・ボタンホールの幅を狭める時は、ステッチの幅を狭くします。

**バランスの画面を開く**

- ・ボタンホールを選択します。
- ・画面下の機能ツールバーで《b》バランス機能をタッチします。
- ・バランス↑で密になります。
- ・バランス↓で粗くなります。

**穴かがりの送りの調整**

- ・大体2ステップでステッチの長さを増減して調整しましょう。

お勧め

- ・常に使用する生地の手前で試し縫いをしましょう。

**左右穴かがりのバランス**

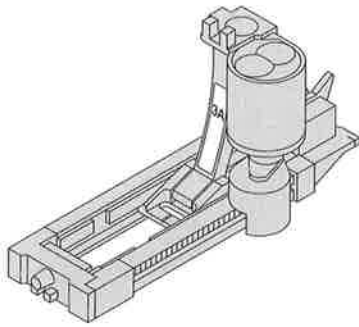
- ・バランスは穴かがりや環止めの縫い目の密度に影響します。
- ・バランスは穴かがりとはと目にも影響します。

**バランス調整を削除する**

- ・《clr》か《リセット》ボタンをタッチします。

詳細はソーイングマニュアルセクションの21-28ページをご参照下さい。

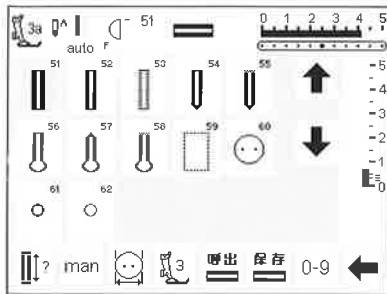
ボタンホールをメモリーに保存する



ボタンホールをメモリーに保存する。各タイプのボタンホールのサイズを一つずつボタンホール用のメモリーに恒久的に保存できます。このメモリーは通常のソーイング用のメモリーとは関係ありません。

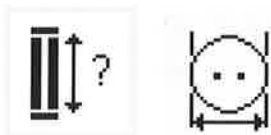
ボタンホールサイズをメモリーに保存できるのは、29-32ページで説明されているいずれかの自動ボタンホール縫いで長さを設定されたものに限ります。

ボタンホールの長さが決定されると、ツールバーの《保存》機能を使って保存できます。



ボタンホールを保存する

- 29-32ページのいずれかの方法で好みのボタンホールの長さを設定します。
- 機能ツールバーの《保存》ボタンをタッチします。



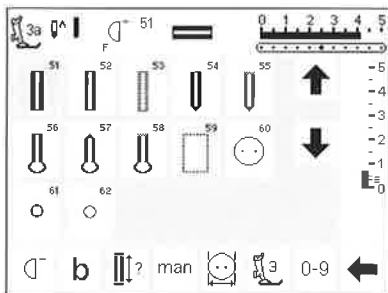
保存したボタンホールの呼び出し方

- 縫いたいボタンホールのタイプを選びます。
- 画面下の機能ツールバーの《呼出》ボタンをタッチします。
- サイズ入力式、又はサイズ測定式のいずれかのボタンをタッチします。
- 保存されているボタンホールの長さが画面に表示されます。

保存したボタンホールの長さを変更する

- 縫いたいボタンホールのタイプを選びます。
- 機能ツールバーの《呼出》ボタンにタッチする。
- サイズ入力式、又はサイズ測定式のいずれかのボタンをタッチします。
- 長さを変更し《ok》をタッチします。
- 《保存》ボタンをタッチします。
- 古いボタンホールのデータの上に書きしました。

4ステップ、または6ステップ・マニュアル（手動式） ボタンホール

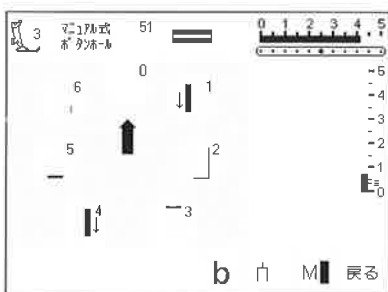


マニュアル・ボタンホールは一つだけ縫う時やボタンホールの修繕に便利です。選んだボタンホールのタイプによりステップの数が決まります。マニュアル・ボタンホールはメモリーに記憶させることは出来ません。

ボタンホールの画面を選びます

- ボタンホールタイプを選びます。
- 画面下の《man》機能ボタンをタッチします。

man

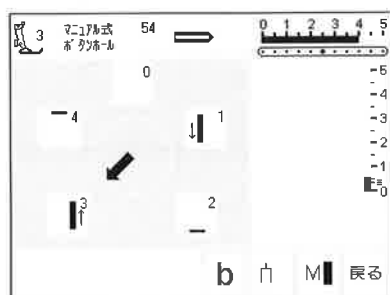


各ステップの画面表示

- 選んだボタンホールの各ステップが画面に表示されます。
- 標準ボタンホール＝6ステップ
- ラウンドボタンホール＝4ステップ
- はと目ボタンホール＝4ステップ
- 中央の矢印は《0》を指しています。

ボタンホールの縫いのサンプルは後述のソーイングマニュアルセクションの28ページをご参照下さい。

4ステップ・ボタンホールを縫う（丸型、はと目）



メモ：

画面は丸型、はと目ともに共通です。

4ステップ・ボタンホールを縫う

- ・《1》にタッチ。
- ・左側の穴かがりを縫います。
- ・適当な長さでミシンを止める。
- ・《2》にタッチ。
- ・ミシンは円形の環止めあるいははと目を縫います。
- ・《3》にタッチ。
- ・後進で右側の穴かがりを縫います。
- ・縫い初めの位置でミシンを止めます。
- ・《4》にタッチ。

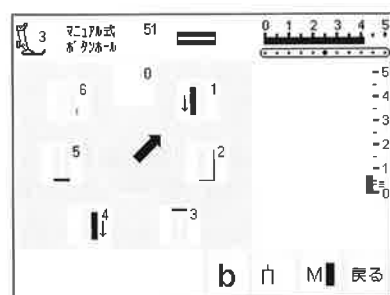
- ・上部の環止めを縫って止め縫いをして自動的に止まります。
- ・穴かがりの長さは自由に決めます。
- ・環止め、はと目、止め縫いはミシンが自動で縫います。
- ・錐で穴をあけ、カットします。

マニュアル・ボタンホール縫いを終える

- ・面上の《戻る》にタッチ
- ・ボタンホールの画面に戻る

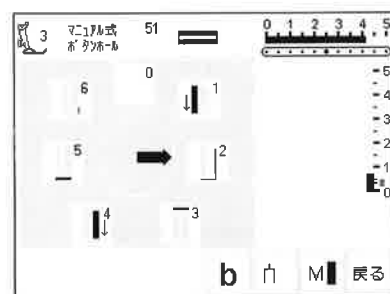
戻る

4ステップ・ボタンホールを縫う（丸型、はと目）



6ステップのボタンホールを縫う

- ・画面の《1》にタッチする。
- ・矢印が縫うボタンホールの部分を指します。
- ・最初に左の穴かがりを縫います。
- ・適当な長さまで縫ってミシンを止めます。



ボタンホールを縫う

- ・《2》にタッチする。
- ・ミシンは自動的に直線縫いで後進します。
- ・左側の穴かがりのスタート位置でミシンを止めます。
- ・《3》にタッチする。
- ・ミシンは上の環止めを縫い、自動的に止まります。
- ・《4》をタッチ。
- ・右の穴かがりを前進縫いします。

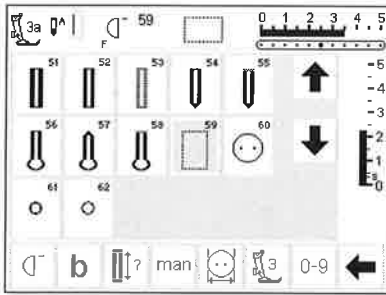
- ・左の穴かがりに揃えてミシンを止めます。
- ・《5》にタッチ。
- ・下の環止めを縫い、自動的に止まります。
- ・《6》にタッチ。
- ・止め縫いをして自動的に止まります。
- ・穴かがりの長さは自由に決められます。
- ・環止めと止め縫いは自動で縫います。

ボタンホールを終わる

- ・《戻る》をタッチします。
- ・ボタンホールのメニュー画面に戻ります。

戻る

直線縫いボタンホール



直線縫いステッチ（あるいは仮縫いステッチ）のボタンホールは特にウールのような柔らかで織の粗い布地や擦り切れやすい場所に縫うボタンホールなどの補強に良く使います。また、玉ぶちボタンホールやレザー、ビニールまたは、フェルトなどの開口部の補強に使います。

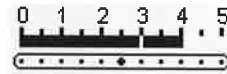
直線縫いのボタンホール

- ・ボタンホール No.59を選ぶ
- ・順序は選んだ押え金によって異なります。
- ・予め縫うプログラム機能は対応するボタンホールのプログラムと全く同じ
- ・自動ボタンホール押え No.3A＝自動縫い

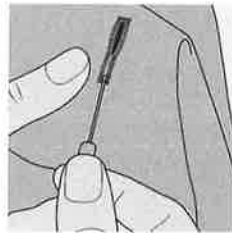
- ・プログラム方法は自動ボタンホールのプログラム方法と全く同じ（29-32ページを参照）
- ・ボタンホール押え No.3＝ステッチカウント式ボタンホール（29-32ページを参照）

穴かがり幅を変える

- ・左右の穴かがりの間隔が狭すぎる、又は広すぎる場合には振り幅調節ダイヤルで左右の穴かがりの幅を変えて調節出来ます。

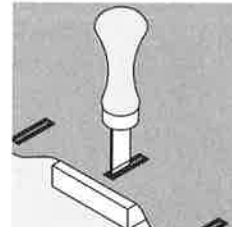


ボタンホールの開け方



シームリッパー

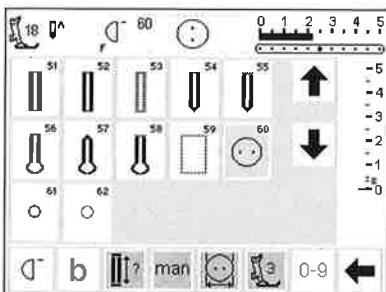
- ・ボタンホールを開けるにはシームリッパーで両端から中央に向かって切り開きます。



ボタンホールカッターとブロック台

- ・布をブロック台の上に乗せる
- ・カッターをボタンホールの真ん中に当て、
- ・ハンマーか手を使ってボタンホールを開ける。

ボタン付けプログラム（No.18の別売りオプションのボタン付け押え金を使います）



二つ穴、又は四つ穴のボタン付けが出来ます。

ボタン付けプログラム

- ・ステッチNo.60を選択します。
- ・No.18（別売り）のボタン付け押え金を使います。
- ・ボタンの足の長さは押え金で調節します。

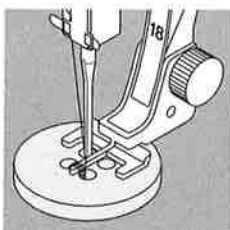
ボタン付けの方法

二つ穴のボタン

- ・穴の幅に合わせて振り幅を調節します
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まります。

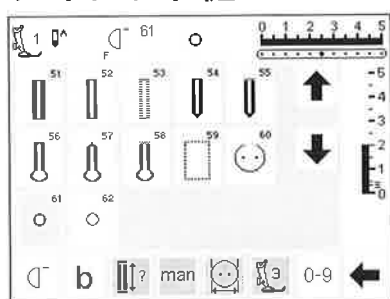
四つ穴のボタン

- ・穴の幅に合わせて振り幅を調節します。
- ・最初に手前の二つ穴を縫います。
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まります。
- ・次に後ろの二つ穴を縫います。
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まります。
- ・糸を長く残して切り、その糸を足に巻き付け結びます。



縫いサンプルはソーイングマニュアルセクションの29ページをご参照ください。

アイレット縫い



アイレット（はと目）

- ・アイレットを選ぶ
- ・No.61ジグザグアイレット
- ・No.62直線縫いアイレット

アイレットを縫う

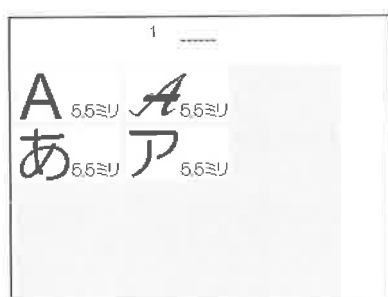
- ・プログラムが終ればミシンは自動的に止まります。

アイレットに穴を開ける

- ・突ききりを使ってアイレットの穴を開けます。

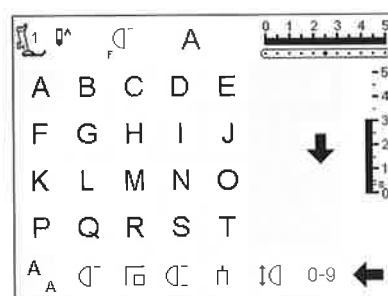
縫いサンプルはソーイングマニュアルセクションの30ページをご参照下さい。

アルファベットと数字



アルファベット

- ・文字グループ選択ボタンを押します。
- ・文字のメニューが表示されます。
- ・ひらがな5.5ミリ幅
- ・カタカナ5.5ミリ幅
- ・大文字イタリック体5.5ミリ幅
- ・文字スタイルを選択するには画面上の文字にタッチします。
- ・選択した文字スタイルが起動します。



画面上での文字の選択方法

- ・押え金種類と針停止位置が規定の位置に表示されます。
- ・画面右側の矢印をタッチして、文字や数字を上下にスクロールさせます。

(ご注意！国により文字タイプの仕様が異なります。)



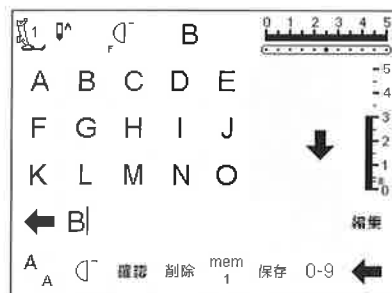
アルファベット、文字サンプルは、ソーイングマニュアル43ページをご参照下さい。

文字の大きさを変える

- ・文字を選択した場合は大きいサイズがまず起動します。
- ・《AA》（文字のサイズ）機能にタッチします。
- ・《AA》機能の小さいサイズが黒く表示され、小さいサイズの文字が起動しました。

- ・《AA》（文字のサイズ）機能にもう一度タッチします。
- ・大きな文字サイズに戻ります。

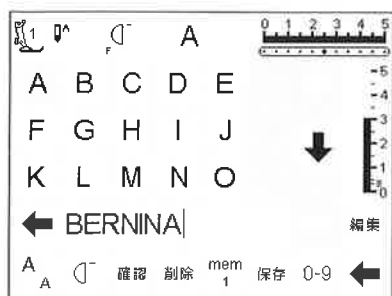
文字と数字のプログラム方法



プログラム方法

- ・メモリーボタン《mem》を押してメモリーを開きます。
- ・選ぶ文字にタッチします。
- ・選んだ文字が画面下部のメモリーに表示されます。
- ・カーソル《I》が文字の後ろについて右に移動します。

(ご注意！国により文字タイプの仕様が異なります。)



プログラミングを続ける

- ・次の文字をタッチします。
- ・文字がメモリーに表示されます。
- ・この方法で続けます。
- ・メモリーに保存する方法など、さらに詳しい説明は53-60ページをご参照ください。

(ご注意！国により文字タイプの仕様が異なります。)

アルファベットのサンプル縫いは、ソーイングマニュアルの43ページをご参照下さい。

メモリー

全てのステッチ、文字、数字はメモリーにプログラムし、セーブしたり、訂正したりすることができます。

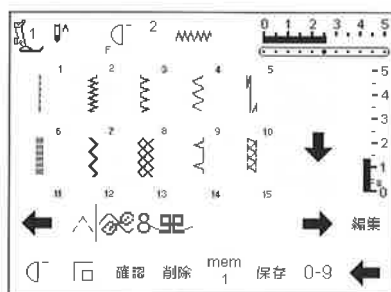
メモリーの容量は、1023模様です。メモリー域は、255番地あります。各メモリー域は、記憶した模様の数に従って、メモリー毎にその容量を自動的に変えて記憶します。

メモリーは恒久的にデータを保存します。すなわち削除したり、上書きされたりしない限り保存されたままです。

電源を切っても、データは失われません。送り長さ、幅、針基線などはメモリーに記憶する前に変更しておきます。メモリーバーに表示される模様は、ステッチのメニュー画面の表示とは90度左の方向にむいています。ソーイングの方向は常に左から右に移動します。

メモリー操作のサンプルは、41-43ページをご参照下さい。

メモリーを開く

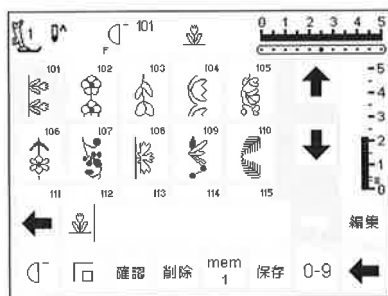


メモリーを開く

- ・外側の《mem》ボタンをおします。
- ・メモリーバーが画面に表示されます。
- ・三行目の模様が消えてメモリーバーが表示されます。
- ・模様の行を上下にスクロールして模様を探せます。
- ・カーソル《I》がメモリーバーに垂直のラインとして現れます。
- ・変更（記憶、挿入、訂正）は、常にカーソル《I》の左側の模様に対して実行されます。

- ・画面下のツールバー機能は、自動的に、メモリー操作に必要な機能の表示に切り替わります。
- ・使っているメモリー域の番号が画面下のツールバーに《mem》と一緒に表示されます。

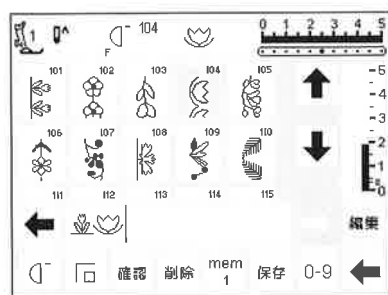
ステッチをプログラムする



プログラムの方法

- ・ステッチを選択する。
 - ・必要に応じて、送り、幅、針基線の変更をする。
 - ・外部メモリーボタンを押して、メモリーを開く。
 - ・《mem》機能ボタンをタッチする。
- メモ：
ミシンをオンにして、メモリーを開くと常に《mem1》が機能ツールバーに表示されます。一方、ミシンを連続してご使用中は、先に使ったメモリーの番号が《mem番号》と表示されます。

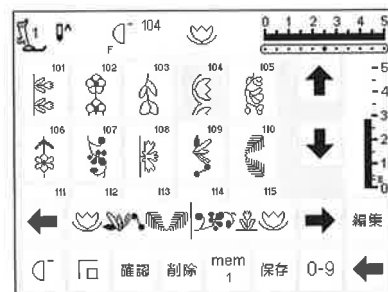
- ・空いているメモリーを選びます。
- ・《ok》ボタンをタッチして、前の画面に戻ります。
- ・好みの模様を選んで、プログラムします。
- ・選んだ模様がメモリーフィールドに表示されます。
- ・模様を選ぶ度にカーソルが右へ移動して行きます。



プログラミングを続ける

- ・次のステッチを選択する。
 - ・ステッチがメモリーフィールドに表示される。
 - ・このやり方で続ける。
 - ・縫い始めます。；フットコントローラーを踏むと、メモリーフィールドのカーソルがプログラムの頭に移動して、最初から縫い始めます。
- メモ：
編集機能（40ページ）を使った後に先頭から縫うには必ず《頭出し》機能でカーソルをプログラムの先頭に移動して下さい。

- ・プログラムした内容を一回だけ縫って止めるには《一模様縫い》機能をオンにします。
- 《機能ツールバーの上の一模様ボタン》：プログラムした全体を一度縫って止まります。
- 《手元一模様ボタン》：現在縫っている模様を完成して止まります。
- ・メモリーを保存するには、機能ツールバーの《保存》機能ボタンをタッチします。
- ・《保存》ボタンが一度黒く点滅し、保存します。



メモリーをスクロールする

- ・スクロール矢印《←》《→》はメモリーバーの左と右にあります。
- ・プログラムされた内容の前を見るには《←》を、後ろを見るには《→》をタッチします。
- ・メモリーを閉じるには、外部メモリーボタンを押します。
- ・このとき、メモリーの内容が保存されていなければ、画面にメッセージが表示されて、保存するかどうか尋ねます。

模様番号でステッチをプログラムする

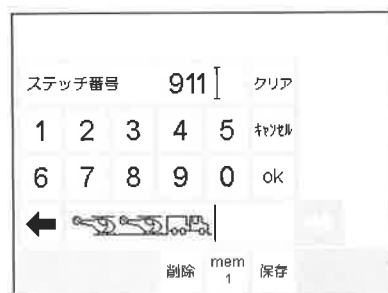


模様番号でプログラムする方法

- ・メモリーを開く。
- ・《0-9》の機能にタッチします。
- ・数字表が画面に表示されます。
- ・メモリーバーはそのまま表示されています。
- ・模様番号を数字で入力します。
- ・選んだ番号が順次表示されます。

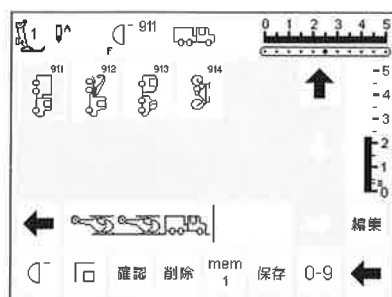
訂正

- ・間違えた時は画面の《クリア》ボタンをタッチします。
- ・数字が削除されます。
- ・正しい数字を選びます。
- ・メモリーにプログラムした模様を消すには機能ツールバーの《クリア》ボタンをタッチします。
- ・カーソルの右側の模様が削除されます。



確認、そしてプログラムを続ける

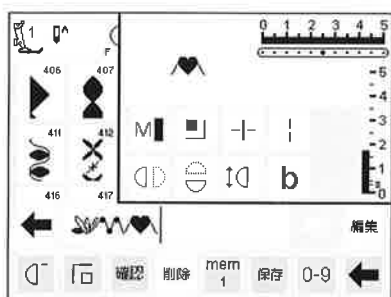
- ・模様番号を確認して《ok》をタッチします。
- ・番号で選んだ模様がメモリーバーに表示されます。
- ・メモリーに保存するためには《ok》をタッチします。
- ・次の模様番号を同じように入力します。



ステッチ画面に戻る

- ・《キャンセル》ボタンにタッチします。
- ・画面は模様画面に戻ります。
- ・選んだ模様が画面上で黒く表示されています。

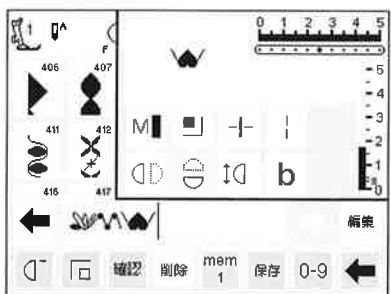
メモリーの内容を編集する



機能を使ったステッチ

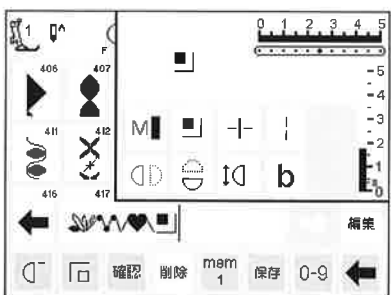
- ・メモリーに保存されたステッチを編集機能で変更することが出来ます。
- ・最初の二つのステッチをプログラムします。
- ・《編集》ボタンにタッチします。
- ・使える機能が全て画面の右上に表示されます。
- ・メモリーに入れた最後のステッチ（カーソルの左）が機能表示の左側に表示されます。

- ・ステッチはメモリーバーにも変更された状態で表示されます。
- ・例えば《模様反転機能》にタッチします。一表示されているステッチが反転されます。



機能を挿入する、例えば《模様反転機能》

- ・模様反転したいステッチの右側にカーソルを移します。
- ・《編集》ボタンをタッチします。
- ・《模様反転》機能ボタンをタッチします。
- ・ステッチが反転して表示されます。
- ・同様の手順で他の機能を使います。
- ・《編集》ボタンをタッチして編集機能を閉じます。



メモリー中で確認できる機能

- ・例えば、《一点止め縫い機能》はメモリーの中に機能として現れる。
- ・必要の無い機能はメモリーから消去しておきます。
- ・編集機能を閉じるには、《編集》ボタンをタッチします。

各種のメモリー機能

編集機能を使うと以下の各種機能が画面に表示されます。編集機能が選ばれると、画面下の機能ツールバーの機能

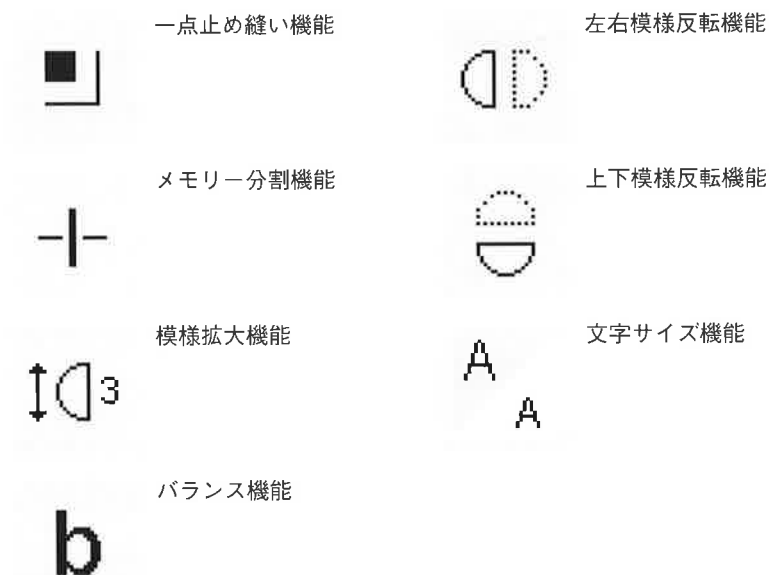
は《クリア》機能を除いて、すべて休止状態になり、編集機能を閉じるとまた使えます。（詳細は27ページ参照）

ソーイングスピード

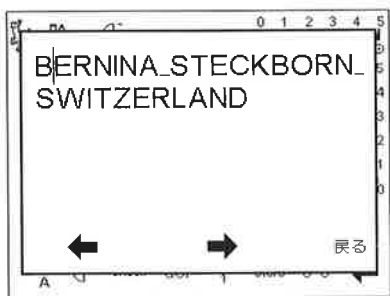


ロングステッチ機能





メモリーの内容を見る



メモリーの内容を検索する

- ・カーソルをメモリーの内容の先頭にもってくる。
- ・《確認》ボタンをタッチします。
- ・メモリーの内容が表示されます。
- ・カーソルが見えます。
- ・訂正する場合は、矢印ボタンでカーソルを移動します。
(《メモリーの訂正》と同じ手順)
- ・《戻る》ボタンをタッチします。

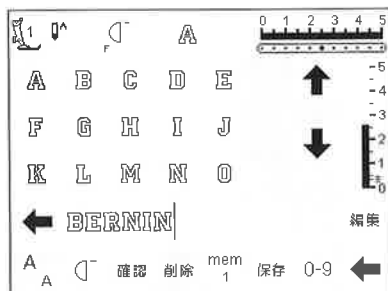
- ・メモリーバーが現われます。
- ・カーソルは前画面に表示されていたのと同じ位置に表示されます。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

メモリーの訂正

基本ルール：

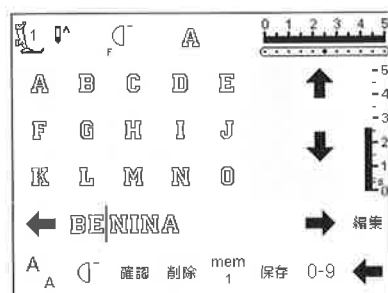
変更や訂正は全て常にカーソルの左側で実行されます。



最後に入力したステッチや文字を削除する

- ・《クリア》ボタンをタッチします。
- ・入力した最後のステッチ（カーソルの左）が削除されます。

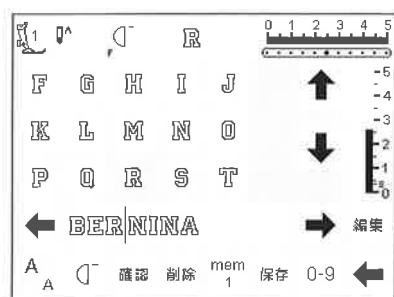
(ご注意！国により文字タイプが異なります。)



メモリー内容の途中でステッチや文字を削除する

- ・カーソルを削除するステッチの右側に移動します。
- ・《クリア》ボタンをタッチする。
- ・カーソルの左側が削除されます。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

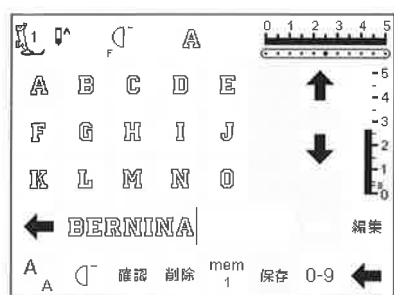


メモリーにステッチを挿入する

- ステッチを挿入したい場所にカーソルを移動します。
- ステッチあるいは文字を選びます。
- 新しいステッチがカーソルの左に挿入されます。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

メモリーの内容をセーブして残す



メモリーの保存

- 《保存》ボタンをタッチします。
- 内容は保存されます。
- メモリーが閉じられメモリーバーが画面から消えます。
- メモリー内容はいつでも開いて検索出来ます。

保存せずにミシンのスイッチを切ると...

- 保存せずにミシンのスイッチを切るとメモリーの内容は失われます。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

各メモリーの開き方



以前にプログラムしたメモリー域に戻る

- 画面横の《mem》外部メモリーボタンを押してメモリーを開きます。
- 機能ツールバー上の《mem1》ボタンをタッチします。

メモ：

ミシンをオンにして、メモリーを開くと常に《mem1》が機能ツールバーに表示されます。一方、ミシンを連続してご使用中は、先に使ったメモリーの番地が《mem番号》と表示されます。

- メモリー域の全容が画面に表示されます。
- 現在使っているメモリー番地は黒く表示されています。
- 空いているメモリー番地は白く表示されています。

- 15番地以上に使用されている時は、メモリー域を上下にスクロール出来ます。(合計255番地)
- 使用中の容量の合計が画面上部に％で示されます。
- 以前にプログラムされたメモリー番地を選びます。
- 内容がメモリーバーに表示されます。
- 元の画面に戻す時は《キャンセル》ボタンをタッチします。
- 選んだメモリーの内容はアクティブな状態で縫えます。
- その内容通りに縫ったり、挿入、訂正も出来ます。

メモ：メモリーの内容を縫うには、通常の模様画面に戻って縫います。メモリー番地画面では縫えません。

(ご注意！日本国内仕様は筆記体アルファベットです。)

メモリー容量

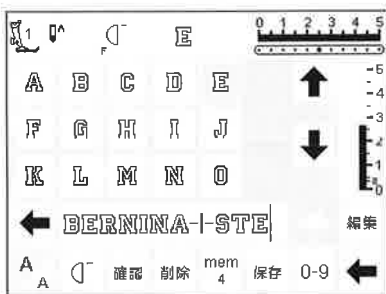


メモリー番地画面を開く

- 外部《mem》ボタンを押してメモリーを開く。
- 機能ツールバーの《mem1》ボタンをタッチします。
- メモリー番地画面が現れます。
- 使用中の全容量は画面上部に％で示されます。
- メモリー番地の総記憶容量は1023模様です。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

メモリーの分割



メモ：

分割された各セクションを縫うときは、布を移動して縫う位置を変えます。

(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

メモリーの分割

- メモリーの内容は思いの通りに分割出来ます。例えば、一つのメモリーの中で名前、番地、町名等。
- 名前を入力します。
- 番地、町名を入力します。
- 《編集》機能ボタンをタッチします。
- カーソルを分割したい位置に移動します。
- 分割機能《+》ボタンをタッチします。
- 分割マーク《+》がカーソルの左側に挿入されます。
- 分割された内容は、全て一つのメモリー（例えば、左図ではmem4）に属しますが、メモリーの中では全く独立しています。

ソーイング

- 《模様頭出し》機能ボタンをタッチし、縫い始めます。

メモ：

《模様頭出し》機能を起動すると、カーソルが先頭の模様の右側に移動し、先頭の模様から縫い始めます。

- ミシンが縫うのは、分割された部分の内容だけです。
- 次の分割部分を縫う時は、その部分のどこでも構わないので、カーソルを移してフットコントロールを踏むと、カーソルがその部分内の先頭の模様の右側に自動的に移動して、先頭から縫い始めます。

メモ：

メモリーの内容に編集機能（40-41ページ参照）で何らかの変更を加えている場合には、頭出し機能でカーソルをそのグループの先頭に持ってくる必要があります。

- その部分を一度だけ縫う時は、《一模様縫い》機能をタッチして、ミシンが止まるまで縫います。

メモリーを削除する



(ご注意！国により文字タイプが異なります。)

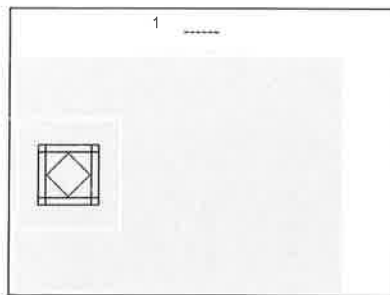
メモリーの削除

- 外部《mem》プッシュボタンを押してメモリーをオープンします。
- 機能ツールバー上の《mem》ボタンにタッチする。
- メモリー番地の全容が表示されます。
- 削除したいメモリー番地にタッチします。
- 《削除》機能ボタンをタッチします。
- メッセージが画面に表示され、削除

しても良いか確認します。

- 良ければ、《はい》をタッチします。
- メモリーの内容が削除されます。
- 《ok》ボタンをタッチして元のスクリーンに戻ります。

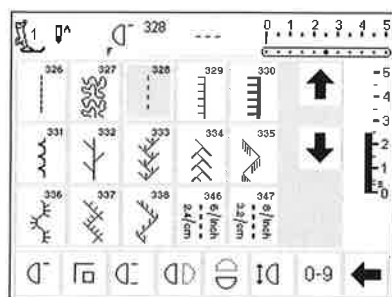
キルトステッチ



メニューの選択：キルトステッチ

- ・外部《キルトステッチ》ボタンを押す。
- ・キルトステッチのメニューが現われる。
- ・ボタンをタッチします。
- ・キルトステッチが表示されます。

キルトステッチ



キルトステッチ

- ・ 特にキルティング、ピーシング、アップリケ、クレイジーパッチワークなどに適した様々なステッチが選べます。
- ・ 326番 ピーシング用の短い直線縫い
- ・ 327番 ステップリングステッチ
- ・ 328番 手縫い風キルティングステッチ
- ・ 329番 アップリケ用ボタンホールステッチ
- ・ 330番 ダブルボタンホールステッチ
- ・ 331番 アップリケ用まつり縫い
- ・ 332番 フェザーステッチ
- ・ 333-338、351番 各種フェザーステッチ
- ・ 346-350番 各種キルティングステッチ
- ・ 画面上の模様ボタンをタッチして選択。

- ステッチが選ばれます。
- 通常の情報 は 全て画面上に表示されます。
- ステッチの長さ と 幅は必要に応じて変更出来ます。

送りバランス

工場にて、ミシンが出荷される前にステッチは全てチェックされ完全に調整されています。

様々な布地や糸との組み合わせの違いがプログラムされたステッチに影響することがあり、例えば縫い幅が広すぎたり狭すぎたりで、縫いおわりがぎゅっり閉じなかったり重なったりすることもあります。

これは電氣的なバランスで修正することが可能で、必要であれば、布地に合

わせてステッチの形を調整することが出来ます。

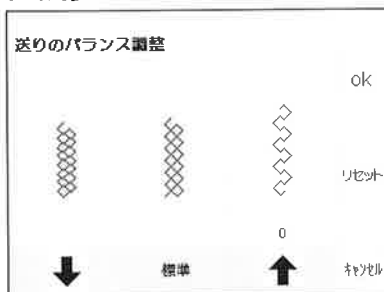
垂直方向に50段階、水平方向に20段階あります。

バランス機能を開く。

- ・機能《b》をタッチする。
- ・画面に機能が表示されていない場合には、機能ツールバーの矢印にタッチして機能をスクロールして表示します。

b

実用ステッチのバランス



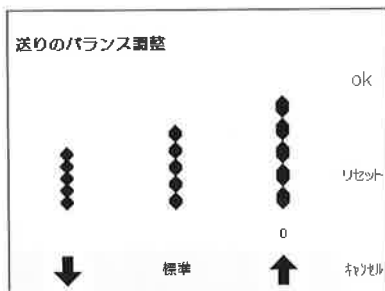
このような状態の時はこの矢印をタッチします。

このような状態の時はこの矢印をタッチします。

ジャージーやトリコットのような柔らかい布地を縫う時、ステッチを伸ばしながら縫うために、押え金の下で布地自体も引っ張られていることがあります。例えばネットステッチでは縫い目が開いたり、長すぎたりします。厚地ジャージーでは縫い目がオーバーラップして、縮んだような縫い目になっているかもしれません。バランスの修正はいたって簡単です。

送りバランス

- ・伸縮縫いを選んで下さい。
- ・《b》機能をタッチすると、バランス画面が起動します。
- ・どのような実用縫いを選んでも、バランス画面にはネットステッチが画面中央に現れる。(全ての実用縫いを代表します。)
- ・模様縫いを選んでいる場合には、左下図のようなサテンステッチの模様がバランス画面に表示されます。
- ・ずれた形が2種類左右両側に表示されます。左は詰まりすぎ、右は広すぎるものです。
- ・画面下部の矢印がステッチを修正する方向を示しています。



このような状態の時はこの矢印をタッチします。

このような状態の時はこの矢印をタッチします。

修正

広すぎるステッチ

- ・右に示された矢印（約3）にタッチして下さい。
- ・起動するステップ数が直接矢印の上に示されます。
- ・ステッチが狭くなります。
- ・変化は画面に現れません。
- ・2-5ステップで普通充分な修正が出来ます。(最大50ステップ)
- ・試しに縫ってみましょう。

詰まりすぎるステッチ

- ・上と同様の手順で左の矢印を用います。
- ・試しに縫ってみましょう。

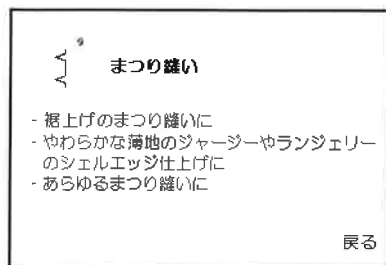
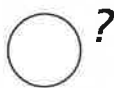
元の画面に戻る

- ・《ok》ボタンを押して確認すると元の画面に戻ります。
- ・《キャンセル》ボタンでバランス画面を出す前のステッチ状態に戻ります。
- ・次に、別の模様を縫う前には必ずクリア《clr》ボタンをプッシュしてバランスをクリアして下さい。さもなくば、新しいステッチにも前のバランス調整が影響します。

ヘルプ

ヘルプ機能は、個々のステッチと全機能の説明を画面上で表示し、常時説明書を手元に置いておく必要がありません。情報は、使用説明書にあるものと同じですが、画面上でより早く見つけ出すことができます。

どんな画面を見ている時でもステッチや機能に関するヘルプは呼び出すことができます。《戻る》ボタンで元の画面に戻れます。



ヘルプを開く

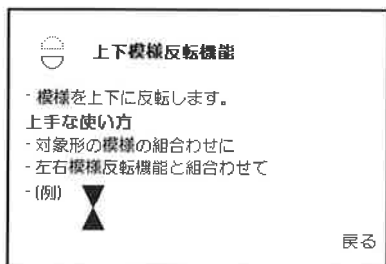
- ・画面右横のヘルプ《?》ボタンを押して下さい。
- ・調べたい模様ボタンあるいは機能ボタンを画面上でタッチして下さい。
- ・時計が画面に表示され情報検索中を示します。

ヘルプ情報／模様縫いについて

- ・画面には次のような情報が表示されます。

ステッチでは：

- ・ステッチの名前
- ・適した布地
- ・主な適用方法



ヘルプの画面／機能について

画面では：

- ・機能の名前
- ・説明
- ・主な利用方法などが端的に説明されています。

戻る

前の画面に戻る

- ・《戻る》にタッチして下さい。
- ・ヘルプは閉じます。
- ・元の画面に戻ります。

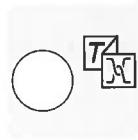
注意

ヘルプ機能はいつでも、どのような作業をしていても、作業に影響することなく使えます。

使用説明書

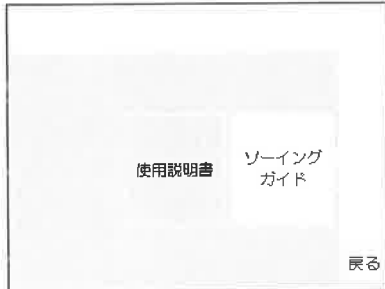
使い方の説明は、ミシンの様々な情報を画面上で集約して用意されており、

使用説明書を調べる手間を省きました。



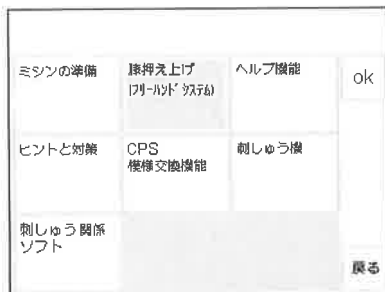
画面右横ボタン

- ・画面右横の《ソーイングガイド》のボタンを押します。



メニュー

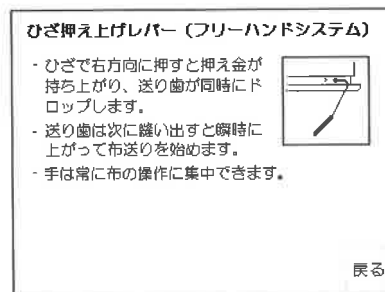
- ・メニューが現われます。
 - 使い方の説明
 - ソーイングガイド
- ・《使用説明書》画面にタッチします。



科目

- ・画面が《使用説明書》の副画面に変わります。
 - ミシンの準備
 - ひざ押え上げ (FHSシステム)
 - ヘルプ
 - ヒントと対策
 - CPS模様交換システム
 - 刺しゅう機

- ・画面をタッチして選択する、例えば FHSシステム
- ・確認出来たら《次へ》にタッチする。
- ・《戻る》をタッチすると元の画面に戻ります。



情報

- ・画面に時計が表示されて情報の検索中を示します。
- ・選んだ題目に関する情報が画面に現われます。
- ・《戻る》ボタンにタッチすると画面は閉じ、メニューに戻ります。

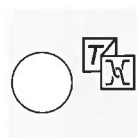
ソーイングガイド

ソーイングガイドは多種多様なソーイングの必要に応じて情報やヘルプを提供します。

布地のタイプと使いたいテクニックを入力すると、針、押え金、双方の接点、特別プログラムなどを情報として提案してくれます。

その時の押え金は必ずしもミシンに付いていた標準のものではないかもしれませんがベルニナのミシンの販売店から入手出来ます。

ソーイングガイドは希望通りの糸調子に自動的にセットしてくれます。



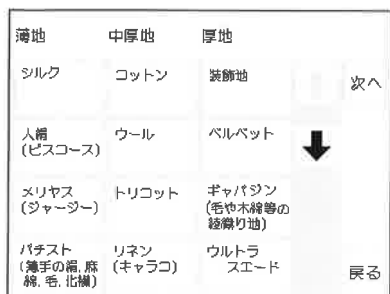
画面右横ボタン《ソーイングガイド》

- ・画面右横の《ソーイングガイド》ボタンを押す。



メニュー

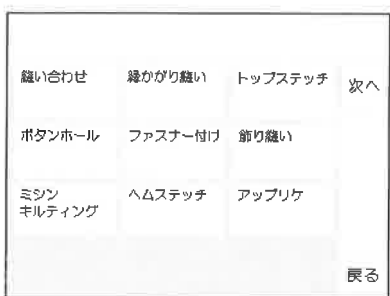
- ・メニューが現われます。
- 使い方の説明
- ソーイングガイド
- ・ソーイングガイドにタッチして下さい。



布地のメニュー

- ・布地のタイプが3列で表示されます。
- 薄い布地
- 普通の布地
- 厚い布地
- 最も一般的な布地があげられています。

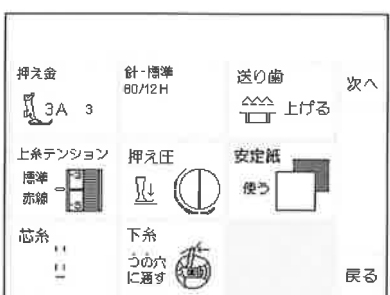
- ・使いたい布地がリストに無い場合似たタイプのものを選んで下さい。
- ・タッチして選択します。(例えば、木綿)
- ・《次へ》ボタンにタッチします。



テクニックのメニュー

- ・最も一般的なソーイングテクニックが表示されます。
- ソーイング (シーム、ヘム等)
- オーバーロック
- トップステッチ
- ボタンホール
- ファスナーの取り付け
- 装飾縫い (装飾ステッチ)
- ミシンキルト

- ヘムステッチ
- アププリケ
- 横送り縫い
- ・必要な窓をタッチして選びます。
- ・使いたいソーイングテクニックがリストにない場合は、似たものを選択して下さい。
- ・《次へ》ボタンにタッチして下さい。



情報、特別なアイデア、糸調子

- ・画面には選んだ布地とテクニックに関するアイデアが表示されます。
- 押え金
- 針
- 送り歯
- 糸調子
- 押え圧力
- 安定紙
- ボタンホールの紐
- ・糸調子は自動的にセットされます。(AUTOと表示されます。)
- ・どんな押え金と針がよいかアイデアが出されるでしょう。

- ・こうして選ばれた押え金は選んだテクニックにとりわけ適していますが、基本パーツではなく、別に購入しなければならないこともあります。
- ・希望や好みに従って押え金と針を選択して下さい。
- ・安定紙はテクニックや布地にあわせて必要であれば、使うように指示が出るでしょう。
- ・ボタンホールの紐 (モール) はボタンホールを補強するために必要なら使うよう注意を促されるでしょう。

選択したステッチに戻る

- ・《次へ》ボタンにタッチして下さい。
- ・画面が自動的に適当なステッチを選んで、糸調子も自動的にセットします。
- ・例えば、飾り縫いを選んだのであれば、画面は飾り縫いステッチの画面を表示し、画面の一番初めのステッチ、101番を選択します。

- ・すぐに縫い始めることが出来ます。
- ・指示されたステッチはいつでも変えることが出来ます。

次へ

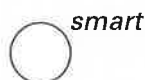
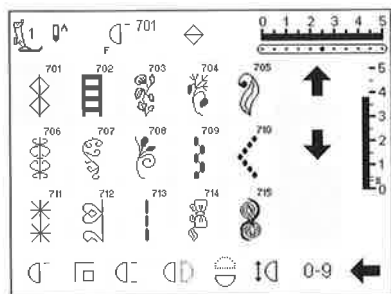
スマート（割り込み）機能

時には今進めている作業を中断して他の縫い物をしなければならないこともあるでしょう。

スマート機能は、現在セットした状態をそのまま記憶させておくよう特にデザインされていますので、後でまたすぐ元の作業に戻ることが出来ます。

セットしてあった画面をセーブし、もう一度開くことが出来ます。

スマート機能でセーブした場合は、ミシンのスイッチを切ると消えてしまいます。

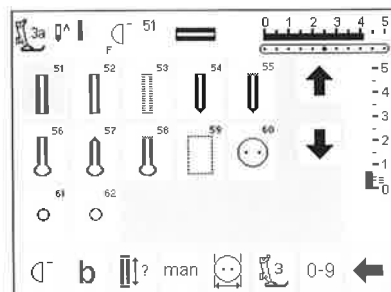


使い方

- 何かの模様を創り、メモリーに入力した時。
- 試し縫いをしたり作業を完成させた時。
- いったん作業を中断して、後で完成させたい時。

スマート機能で画面をセーブする

- 画面右下のスマート《smart》ボタンを押します。
- 全てセットされた画面（ステッチ、機能、メモリー）のままで仮にセーブされます。



新しい作業の割り込み

- 実用縫いのメニュー（あるいは、適当なメニュー）に切り替えます。
- 作業を完遂させます。

スマート機能 — 画面に戻る

- スマート《smart》ボタンを押します。
- 元の画面が現われます。
- 全て残しておいた通りのセッティングになっていますので元の仕事を続けることが出来ます。

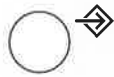
セットアッププログラム

セットアッププログラムであなたの必要と好みにあった画面を創れます。

それと同時に基本セッティングを恒久的に変え、針元にあるFボタン（フリー機能ボタン）にもプログラムすることが出来ます。いろんなことができますので、見出しを良く見てどのようにしたいのかを選んで下さい。

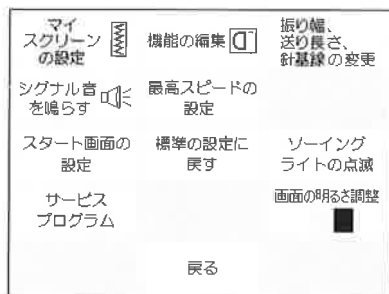
変更された内容は恒久的に保存され、スイッチを切ってもそのままです。

ミシンを、最初にご購入された状態に戻すことも簡単です。



セットアップ

- ・画面右下のボタンを押します。
- ・メニューが現われます。
- ・リストにある他のものに変えることが出来ます。
- ・いつでも元のセッティングにセットし直すことが出来ます。



メニュー

- ・メニューには変更出来る全ての機能が表示されています。
- マイスクリーンの設定
- 機能の編集
- ステッチの幅、長さ、針基線の変更
- シグナル音を鳴らす
- 最高スピードの設定
- スタート画面の表示／非表示選択
- 標準の設定に戻す

- ソーイングライトの点滅
- サービスプログラム
- 画面の明るさ調整
- 戻る
- ・マイスクリーンはスイッチを切っても保存されたままです。
- ・いつでも標準の設定に戻すことも、パーソナルセッティングを変更することも出来ます。

セットアップ操作機能

次の機能がセットアッププログラムに用意されています。外部セットアップ機能ボタンを押してセットアップ画面

を表示し、《機能の編集》ボタンをタッチして起動します。

マイ スクリーン

マイスクリーン機能

- ・マイスクリーンボタンにタッチします。
- ・マイスクリーン編集画面が表示されます。

使い方：

- ・よく使う模様をマイスクリーンに編集しておく
- ・と便利。

リセット

リセット機能

- ・リセットボタンにタッチして起動します。
- ・独自の模様縫いのセッティングをクリアして表順に戻します。



機能編集用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能での機能の編集で機能をツールバーから取り消します。



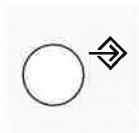
機能挿入用矢印

- ・矢印のボタンにタッチします。
- ・セットアップ機能の機能編集で機能を機能ツールバーに挿入します。

マイスクリーン（パーソナルステッチ画面）のメニューをプログラムする

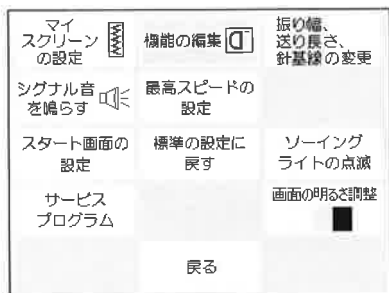
良く使うステッチをマイスクリーンに登録しましょう。マイスクリーンに登録するステッチの振り幅、送りの長さ、針基線などを前もって変えておくこともできます。

横送り模様、アルファベット、モノグラムなどは登録できません。

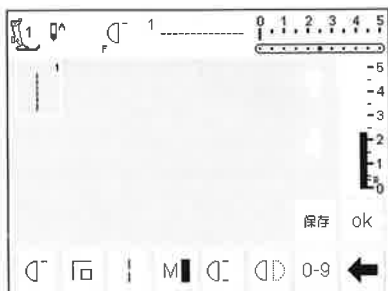


セットアップ

- ・画面右下のセットアップボタンを押します。
- ・メニューが現れます。

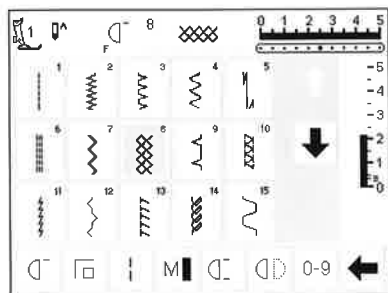


- ・《マイスクリーンの設定》ボタンにタッチします。
- ・マイスクリーン画面が自動的に現れます。



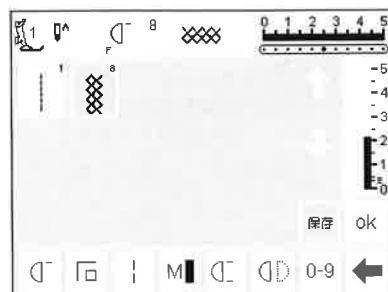
マイスクリーン

- ・直線縫いが標準仕様で登録されています。
- ・ステッチを選ぶ毎に、空白のスペースに登録されて行きます。



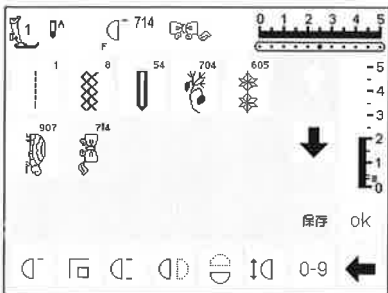
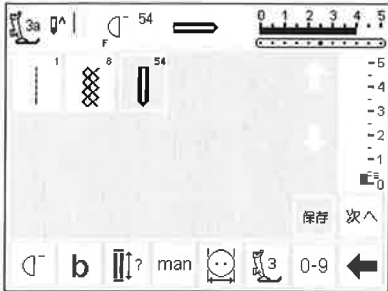
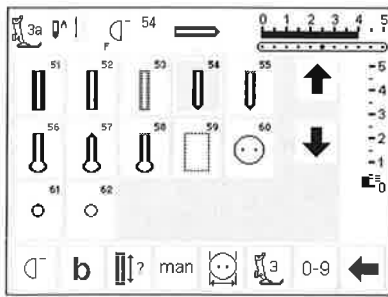
ステッチの登録

- ・画面右横の登録したいステッチ、例えば《実用縫い》ボタンを押します。
- ・8のネットステッチをタッチします。（黒く表示されているボタンです。）



マイスクリーン編集画面

- ・画面がマイスクリーンに戻り
- ・ネットステッチが現れます。
- ・《保存》ボタンにタッチします。



次のステッチを挿入する

- ・画面右横の《ボタンホール》ボタンを押します。
- ・鳩目ボタンホールにタッチして下さい。（明かりが点いている所です。）

マイスクリーン画面

- ・画面がパーソナルプログラムに変わります。
- ・鳩目ボタンホールが次の空所に現われます。
- ・《保存》にタッチしてセーブします。
- ・このようにしてプログラムを続けます。

マイスクリーン画面（ステッチを追加）

- ・五段分の上の行は埋まりました。
- ・一行目が一杯になったら、自動的に次の行に移ります。
- ・同様にプログラムして下さい。
- ・マイスクリーンには60種類まで登録できます。
- ・15以上プログラムしたら、基本のプログラムのおときと同様に画面がスクロールします。

保存して閉じる

- ・《OK》ボタンにタッチします。
- ・画面は閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

ok

マイ
スクリーン

F

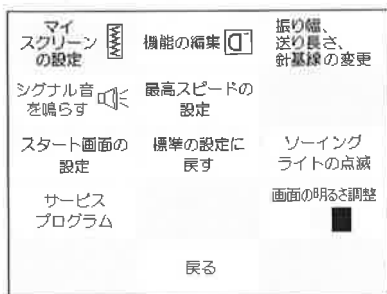
《マイスクリーン》機能

- ・マイスクリーンを開くためには、マイスクリーン機能ボタンを画面下のツールバーに登録します。
- ・《プログラム機能》54 ページを参照して下さい。

《フリー》機能ボタン

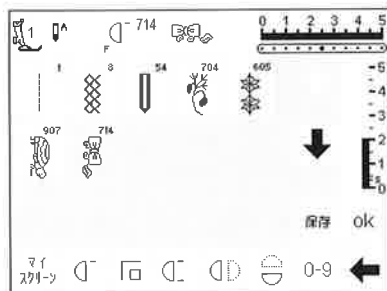
- ・良く使う機能を針元のF機能ボタンに登録できます。

マイスクリーンからステッチを削除する



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《マイスクリーン》を選択して下さい。



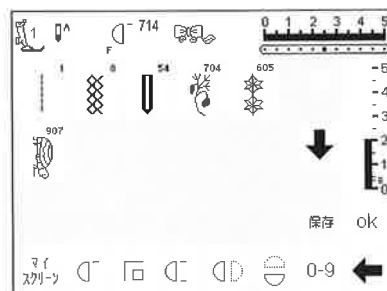
マイスクリーン画面

- ・マイスクリーンが現れます。
- ・削除するステッチボタンにタッチして下さい。(黒く表示されます。)



ステッチを削除する

- ・画面右横の《clr》ボタンを押して下さい。



削除したステッチ

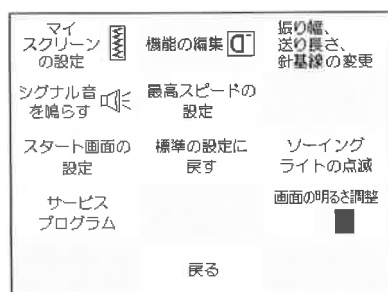
- ・ステッチは削除され、残りのステッチは全て一つずつ繰り上がります。
- ・《保存》ボタンにタッチして変更した画面を保存します。



閉じる

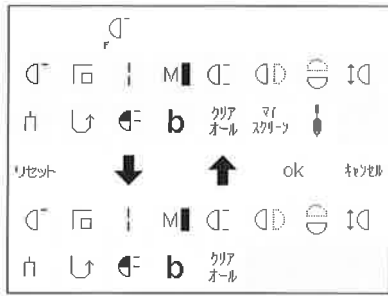
- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・画面は閉じます。
- ・セットアップメニューが現れます。

各種の機能を登録する方法



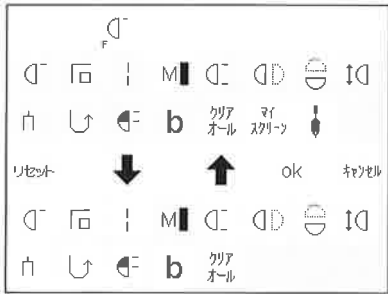
セットアップメニュー

- ・画面右下のセットアップボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《機能の編集》ボタンにタッチします。



機能画面

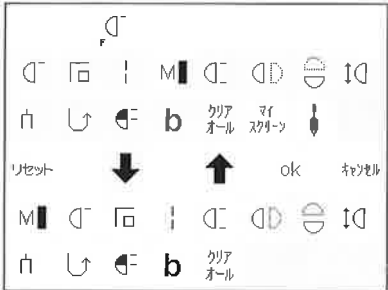
- 標準仕様の実用縫いの機能バーが画面下の二行に表示されます。
- 画面の上の2行が使用可能な全機能です。白く表示されているボタンは未登録の機能です。
- 必要な機能のみ機能ツールバーに登録して使います。
- 画面上の矢印↓↑で機能を登録、又は取消します。



機能を移動する

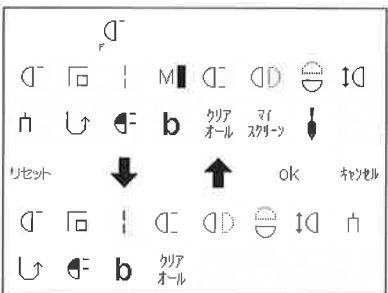
- 画面した2行の中のソーイングスピード機能《M》をタッチします。
- 上向き矢印↑をタッチします。
- 下の2行からその機能が消えます。
- そしてこの機能は、上の2行に移動して、白く表示され、未登録、つまり休止状態になりました。
- 他も同じ方法で上に移動、休止させる事が出来ます。

セットアップメニュー



機能を登録する

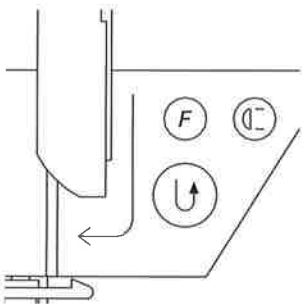
- 上の2行の機能から、例えば、ソーイングスピード《M》を選択します。
- 下向き矢印↓にタッチします。
- 選んだ機能は、画面下のツールバーの先頭に挿入されます。
- 他の全機能は右に一つずつずれます。



ツールバー上の希望する位置に新しい機能を登録する

- 登録したい機能をツールバーの好みの位置に挿入出来ます。
- 上2行から機能を選びます。
- 挿入したい位置を下2行から選んでタッチします。
- 下向き矢印↓にタッチします。
- その機能は指定した位置に挿入されました。

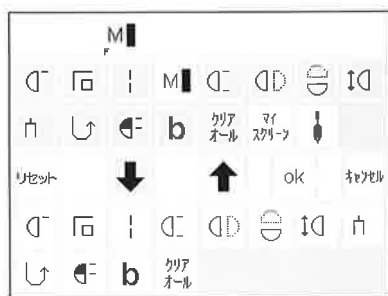
- 挿入位置の右側の機能は一つずつずれて行きます。



《F (フリー)》(お好み機能) ボタン

- ミシン本体の手元返し縫いボタンの横にある《F》機能ボタンに良く使う機能を登録できます。
- 上2行の中から好みの機能を選びます。
- 《F》機能ボタンを押す。
- ↓を押す。
- 《ok》ボタンにタッチします。
- 《F》機能ボタンに選んだ機能が登録されました。

- 登録された機能は画面トップの《針停止位置》表示の右横に常に表示されます。



リセット

ok

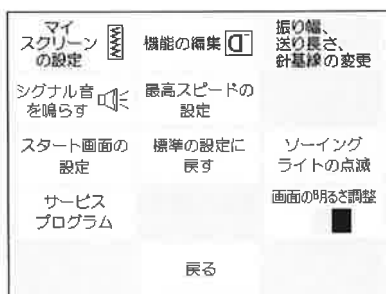
全機能を標準にもどす

- ・《リセット》ボタンにタッチする。
- ・全機能は標準仕様に戻ります。
- ・F機能ボタンのリセットは新しい機能を登録することで、リセットします。

変更したものを保存して閉じる

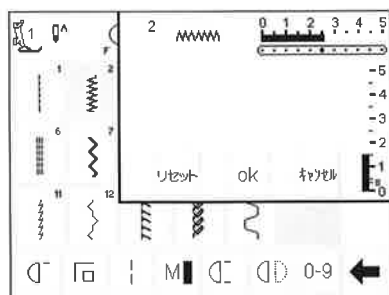
- ・《ok》ボタンにタッチする。
- ・変更したものが保存されます。
- ・画面が閉じます。
- ・セットアップ画面が現れます。

ステッチの振り幅、送り長さ、針基線の標準仕様の変更



セットアップメニューを開く

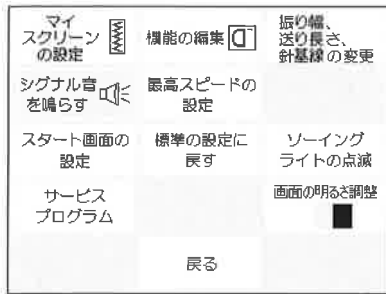
- ・仕様を変えたいステッチを選びます。
- ・画面右下のセットアップボタンを押します。
- ・メニューが現れたら、《送りの長さ、振り幅、針基線変更》ボタンをタッチする。



仕様を変更する

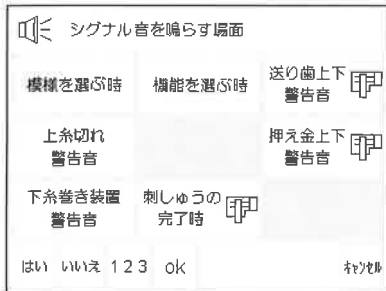
- ・ステッチの幅、長さ、針基線の画面が現れる。
- ・《送り調節》と《振り幅調節》つまみを使って変更します。
- ・《針基線》ボタンで針基線を変えます。
- ・《ok》ボタンにタッチして保存する。
- ・標準仕様に戻すには《リセット》ボタンにタッチする。
- ・《戻る》ボタンにタッチする。
- ・画面が閉じて、セットアップ画面に戻ります。

シグナル音を鳴らすには



セッアップメニュー

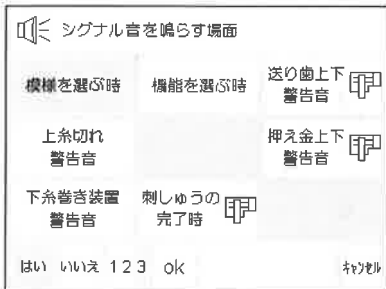
- ・《ピッ》という操作音、または警告音を鳴らすことができます。
- ・画面右下の《セッアップ》ボタンを押すとメニューが現われる。
- ・《音を鳴らす》ボタンにタッチする。
- ・音声シグナルメニューが現われる。



シグナル音

- ・シグナル音は以下の操作時に鳴らすことができます。
- 模様選択時
- 機能選択時
- 送り歯の上下確認時（刺しゅう時）
- 上糸切れモニター警告
- 押え金の上下警告（刺しゅう時）
- 糸巻き時—刺しゅう完了時

- ・シグナル音は鳴らしたり、鳴らないようにセッ出来ます。
- ・繰り返しの数も《ピッ》、《ピッピッ》、《ピッピッピッ》の三種類から選択できます。



シグナル音を追加する

- ・例えば、《模様を選ぶ時》ボタンをタッチします。
- ・画面下の《はい》ボタンにタッチする。
- ・《123》ボタンをタッチして、繰り返したい回数を（灰色で表示されている）選びます。

シグナル音を消す

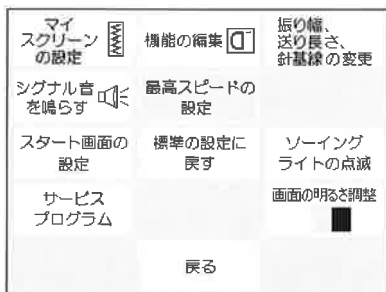
- ・例えば、《模様を選ぶ時》ボタンをタッチします。
- ・画面下の《いいえ》ボタンにタッチする。
- ・シグナル音がオフになりました。

ok

保存して閉じる

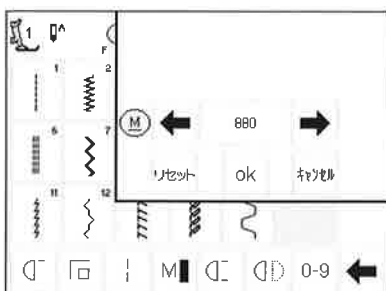
- ・画面下の《ok》ボタンにタッチする。
- ・変更通りに保存されました。
- ・画面が閉じる。
- ・セッアップ画面に戻ります。

最高スピードの変更



セッアップメニュー

- ・画面右下の《セッアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《最高スピードの設定》ボタンにタッチします。
- ・メニューが現われます。



最高スピードを変える

- ・矢印 ←→ にタッチして、最高ソーイングスピードを設定できます。
- ・矢印の間の数字が毎分の最高スピードを意味します。880（実際速度900）回転が最高限度です。
- ・数字は10ごとに変化します。
- ・最高スピードを変えると、各4段階（1/4、1/2、3/4、フル）の速度が順次最高速に合わせて変化します。

標準仕様のスピードに戻る

- ・同画面で《リセット》ボタンをタッチします。

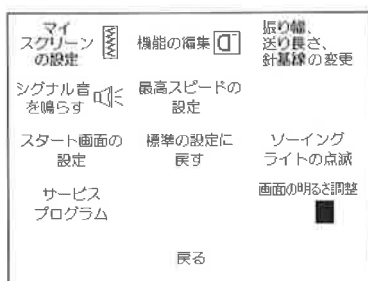
ok

保存して閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチします。
- ・変更したスピードでセットされます。
- ・画面は閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

スタート画面をキャンセルする

ミシンのスイッチを入れたときに表示されるウエルカム（Welcome）メッセージを非表示にすることが出来ます。



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》機能プッシュボタンを押します。
- ・《スタート画面の表示／非表示》ボタンにタッチします。
- ・スタート画面が現れます。



スタート画面をキャンセルする

- ・《表示しない》ボタンにタッチして下さい。
- ・次回ミシンのスイッチを入れた時にスタート画面は表示されず、実用縫いのメニューが直ちに現れます。

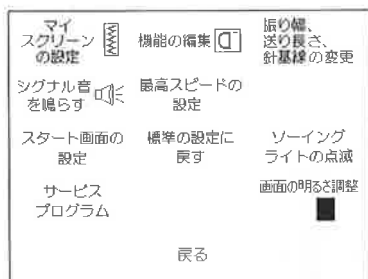
- ・《表示する》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンのスイッチを入れるたびにスタート画面が出て、続いて実用縫いのメニューが現れます。

ok

変更を保存して閉じる

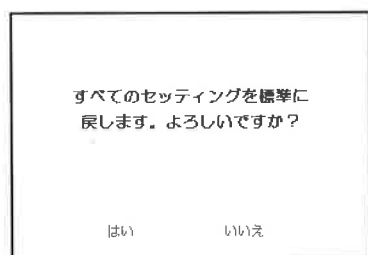
- ・《ok》ボタンにタッチして確認します。
- ・《戻る》ボタンにタッチしてセットアップメニューに戻ります。

標準仕様に戻す



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《標準の設定に戻す》ボタンにタッチして下さい。



確認して下さい。

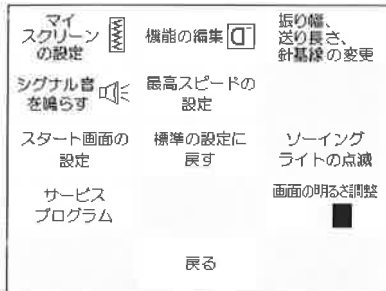
- ・左の画面が表示されますので確認して下さい。
- ・良ければ《はい》ボタンをキャンセルするなら《いいえ》ボタンをタッチします。
- ・《はい》と答えた場合、砂時計が表示され、しばらく時間が掛かって、全ての仕様を標準に戻します。

- ・《いいえ》と答えた場合、セットアップ画面に戻ります。

ミシンのスイッチを一旦切って
もう一度入れ直してください。

- ・リセットが完了すると、左のメッセージが表示されます。
- ・その通りにして下さい。

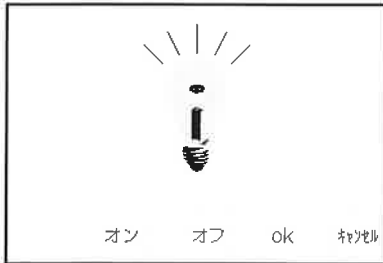
ソーイングライト



- ・電源スイッチを入れたときに、ソーイングライトを自動的に点灯するか、点灯させないかを設定できます。

セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《ソーイングライトの点滅》を選択します。
- ・その通りにして下さい。



ソーイングライトのオン/オフ

- ・《オン》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンのスイッチが入っている間ライトはずっとついたままです。
- ・《オフ》ボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンのスイッチを入れてもライトはつきません。

変更を保存して閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチして確認して下さい。
- ・《戻る》ボタンにタッチしてセットアップメニューに戻ります。

ok

サービスプログラム

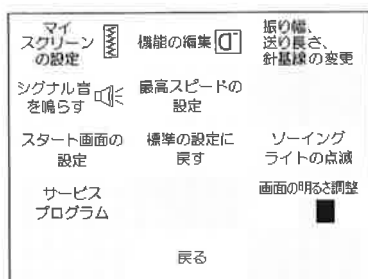
サービスプログラムはソフトのバージョン情報を確かめたり、タッチ画面の

感度の調整および刺しゅう枠との位置調整などを行うプログラムです。

ソフトウェア・バージョンの確認

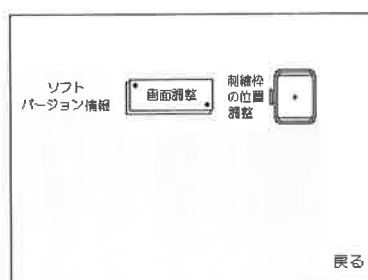
代理店にミシンの調子や扱い方、またバージョンアップなどの各種情報を問い合わせるとき、ミシンと刺しゅう機に組み込まれているソフトウェアのバージョン（仕様番号）を知っておいていただくとの確な情報をご提供できます。

ジョーン（仕様番号）を知っておいていただくとの確な情報をご提供できます。



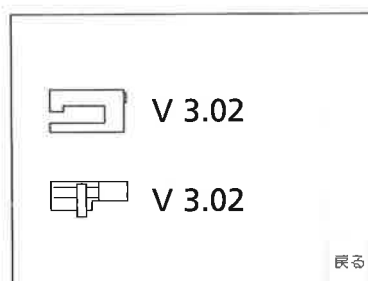
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《サービスプログラム》ボタンにタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が表示されます。
- ・《ソフトバージョン情報》ボタンにタッチします。



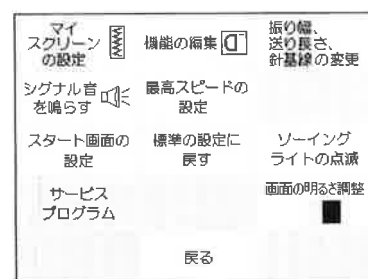
ソフトバージョン情報

- ・画面にソフトのミシンのバージョン番号が表示されます。
- ・刺しゅう機が接続されている場合は刺しゅう機のバージョン番号も左の画面のように表示されます。
- ・通常、ミシンと刺しゅう機のバージョン番号0は同じでなければ、フル機能を発揮できません。
- ・《戻る》ボタンをタッチしてサービス画面に戻ります。

タッチ画面の感度の調整

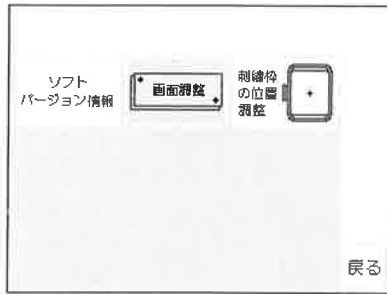
輸送中や各種の衝撃でタッチ画面の感度が鈍くなることがあります。このよ

うときには、次の手順でタッチ画面の感度を再調整できます。



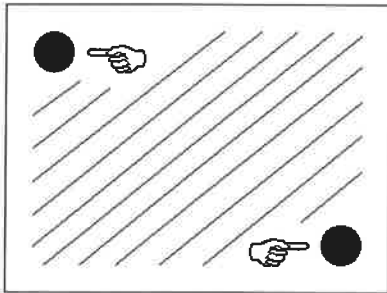
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現れます。
- ・《サービスプログラム》ボタンにタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が表示されます。
- ・《画面調整》ボタンをタッチします。



画面感度の調整

- ・感度調整用画面が表示されます。
- ・黒い点を一つずつ指先でタッチします。順番はどちらからでも構いません。
- ・ミシンは《ピー》という音を出して、正確にタッチされたことを確認します。
- ・元の画面に戻ります。

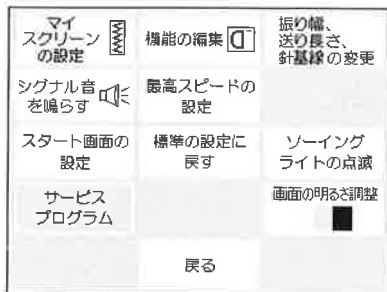
メモ：

黒い点以外の画面部分をタッチすると、技術的な修理が必要となる場合がありますので、触れないで下さい。

刺しゅう枠の位置調節

刺しゅう枠の中心を針の位置に合わせるためのプログラムです。ミシンに刺しゅう枠が取り付けられていなければ

作動しません。刺しゅう枠をお買い求めの時にだけセットしていただくだけで、後は必要ありません。



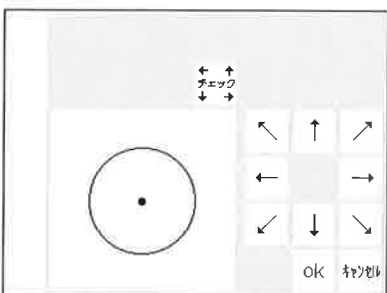
セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》タッチボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《サービスプログラム》ボタンをタッチします。



サービス画面

- ・サービス画面が現れます。
- ・《刺しゅう枠の位置調節》ボタンをタッチします。



刺しゅう枠の位置調節

- ・刺しゅう枠位置調節の画面が現われます。
- ・刺しゅう機に、一番大きな刺しゅう枠を取付けます。
- ・透明の基盤の目のテンプレートをセットします。
- ・《チェック》ボタンにタッチすると刺しゅう機が動いて、位置が読み込まれます。

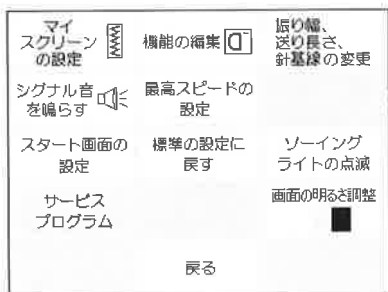
- ・針はテンプレートのちょうど中央の穴に合っていないとなりません。
- ・もしずれていたら、矢印で調節します。
- ・刺しゅう枠の調節は一度セッティングすれば、あらゆるサイズの刺しゅう枠に合うようになっています。

ok

保存して閉じる

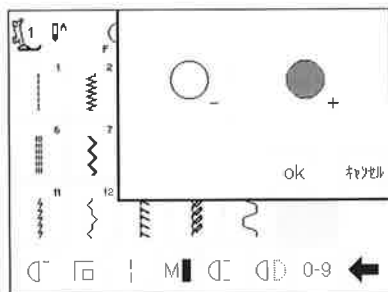
- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・調節した位置が記憶され保存します。
- ・《戻る》ボタンにタッチします。
- ・セットアップメニューに戻ります。

画面のコントラストを調節する



セットアップメニュー

- ・画面右下の《セットアップ》ボタンを押すと、メニューが現われます。
- ・《画面の明るさ調整》ボタンにタッチして下さい。画面が読みにくくなっていることを忘れないようにして下さい。
- ・コントラスト調整画面が現われます。



コントラストを調節する

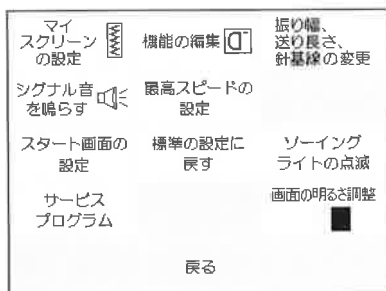
- ・二つ（〇-：明るくなる、〇+：暗くなる）のどちらかを使ってコントラストを調節して下さい。
- ・タッチしてコントラストを増減させます。
- ・元の画面がバックグラウンドに見えたままになっていますので、コントラストの状態を見ながら調節できます。

ok

セーブして閉じる

- ・《ok》ボタンにタッチして下さい。
- ・変更した状態でセーブされます。
- ・画面が閉じます。
- ・セットアップメニューに戻ります。

セットアップ機能を終る



セットアップメニュー

- ・《戻る》ボタンにタッチして下さい。
- ・セットアップ画面は閉じられます。
- ・変更したものがセーブされます。
- ・ミシンのスイッチを切っても変更した仕様は記憶されたままです。

エコ機能

緑色の《エコ機能》プッシュボタンは電力を節約します。《エコ機能》が起動していたら、50%の電力の節約になります。このエコ機能はパソコンの《スクリーンセーバー》機能に匹敵するものです。

電力の節約とは別に、エコ機能はまた幼児への安全策も備えています。エコモードでは、ミシンは休止状態にロックされます。ミシンを再度使うには、エコモードを終了して、元の画面に戻します。

スイッチを入れたままで使っていない状態が長く続く時はこのエコ機能を使います。

今使っている画面、メモリーの全内容、選択した他の機能は全てそのままです。画面は暗くなり細部がようやく見える程度で、休止状態になります。

再度使い始めるには、《エコ機能》プッシュボタンを押しますと、ミシンは休止以前の状態に戻ります。

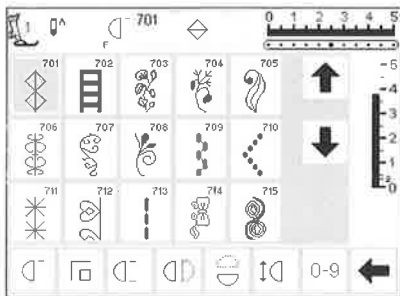
eco

エコ機能

- ・画面右横の《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・電力消費を50%カットします。

画面

- ・画面は暗くなり、細部が辛うじて見える程度になっています。
- ・ミシンはロックされ、エコモードでは縫えません。
- ・セッティングは全てそのままです。



eco

ソーイングに戻る

- ・《エコ機能》プッシュボタンにタッチして下さい。
- ・ミシンは元のセッティングに戻ります。

- ・止めてある所からスタートすることが出来ます。
- ・エコモードはミシンの電源スイッチを切った時には解除されます。

特殊アクセサリ

ここからのページではソーイングの楽しみをさらに広げてくれる別売りのアクセサリをご紹介します。

詳しくはお買い求めの代理店にお問い合わせください。

CPS模様交換パソコン用ソフト

このソフトを使って、豊富に用意された模様の中から、ご自分の好みの模様と入れ替えることが出来ます。

CPSプログラムはミシンをあなたの思い通りのやり方や縫い方に合わせてオリジナルなミシンに仕立てる事を可能にしてくれます。そしていつでも何度でも繰り返し、

模様の入れ替えが可能です。

別売りオプションの刺しゅう機に含まれるオリジナルのモチーフも入れ替えが可能です。

詳しい内容は、最寄りのベルニナ正規販売店にお尋ね下さい。

専用刺しゅう機

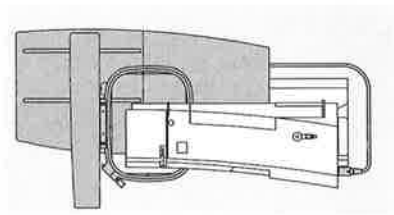
当機種には、別売りの自動刺しゅう機を取り付けて、刺しゅう機に組み込まれた18種類の刺しゅうデザインモチーフを使ったり、別売りの刺しゅうデザインカードを使って好みのフル刺しゅうをお楽しみいただけます。

刺しゅう機の機能には際限がありません。モチーフを反転、拡大、縮小する

こともできますし、ステッチの密度も変えることが出来ます。

刺しゅう機は、プロフェッショナルに限りなく近い刺しゅうの世界を可能にします。

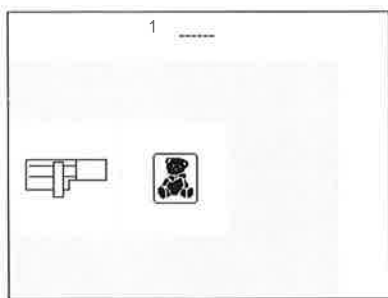
詳しいお取り扱い説明は刺しゅう機の説明書をご参照下さい。



刺しゅう機の接続方法

- ・ミシンの電源を切ります。
- ・アクセサリボックスを使っているときは、取り外します。
- ・フリーアームの後側に左側から滑らすように刺しゅう機を差し込みます。
- ・ミシンの土台（フリーアーム後方右側）に接続用突起が正確に差し込まれるのを確認して下さい。

- ・ミシン右側面の刺しゅう機接続用のコンセントにプラグを差し込みます。
- ・ミシンの電源を入れます。



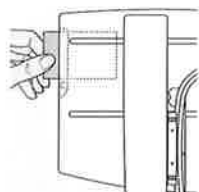
刺しゅう機メニュー

- ・刺しゅうメニューが現われます。
- ・刺しゅう機又はカードデザインボタンのいずれかをタッチします。
 - 左側 — 刺しゅう機内蔵のデザイン用ボタン
 - 右側 — 刺繍カードデザイン用ボタン (98ページ参照)

刺繍デザインカード（別売りオプション）

幅広いテーマをカバーした刺繍カードを刺しゅう機でご利用いただけます。

のベルニナ正規販売代理店へお問い合わせ下さい。



一つのテーマ毎に各カードが用意されています。常に新しいカードが発表されていますので、最寄り

刺しゅうカードは刺しゅう機のカード差込口に差し込みます。内容は画面に表示されます。

カードを差し込む

- ・ ミシンの電源を切ります。
- ・ 刺しゅう機のカード差込口にカードを差し込んで下さい。

ましょう。

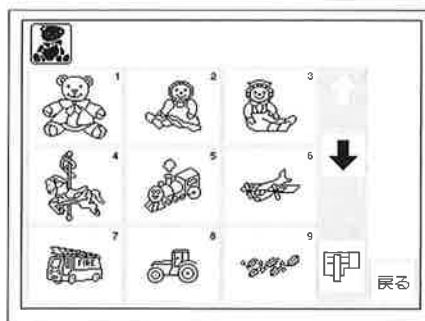
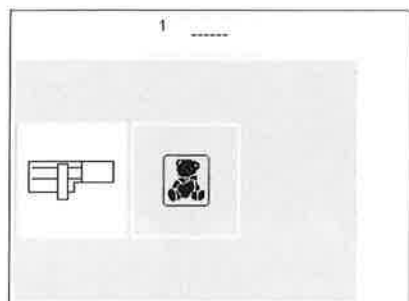
- ・ ご使用中のカード番号は画面左上に出ています。

刺繍カードのメニュー

- ・ 刺しゅうメニューが現われます。
- ・ <<刺しゅうカード>>ボタン（クマの絵）にタッチして下さい。

カードの刺しゅうモチーフ

- ・ 最初のモチーフの画面が現われます。
- ・ スクロールして次々とモチーフを見る事が出来ます
- ・ ミシンにプログラムされたステッチと同じように選択して縫い



パソコン用刺しゅうソフト（別売りオプション）

ベルニナではユーザーの好みに応じて、マイクロソフト社のWindowsオペレーティングシステム対応のパソコン用の刺しゅうソフトを豊富にご用意しております。

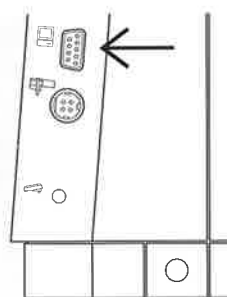
ソフトです。ソフト自体200種類以上の刺しゅうデザインを含みます。またトルタイプフォントを使って文字を刺しゅうデータに変換する事も可能です。

刺しゅうソフト《アートリンク》はインターネットから刺しゅうデータをダウンロードして取込むことの出来るソフトです。ソフト自体に24種類のデザイナータッチの刺しゅうデザインが含まれています。

刺しゅうソフト《デザイナープラス》は、《オートデザイナー》の機能にプラスして、刺しゅう専門家が使うようなテクニックを使え、クロスステッチやフォトスナップ機能も標準装備のハイパフォーマンスの刺しゅうソフトです。

刺しゅうソフト《オートデザイナー》は、アートリンクの機能に加え、パソコンにデジタルカメラやスキャナーから取込んだ画像を自動で刺しゅうデザインに変換する

詳しくは最寄りのベルニナ正規販売代理店にお尋ね下さい。



接続ケーブルをつなぐ

- ・ケーブルをつなぐ前にミシンのスイッチは切ってください。
- ・ミシン右側面の丸型ソケットにケーブルを差し込みます。
- ・ミシンのスイッチを入れて下さい。

ご使用方法などの詳細説明は、《アーティスタ カスタマイザー》及び《アー

ティスタ デザイナー》のプログラムソフトの使用説明書をご参照下さい。

詳しくは最寄りのベルニナ正規販売代理店にお尋ね下さい。

ミシン用針に関する重要事項

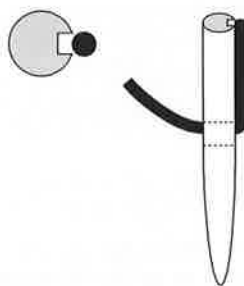
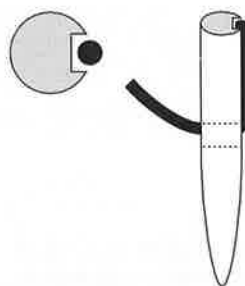
ミシン、針、糸

当ベルニナのミシンではシステム130/705Hタイプのベルニナ純正針をご使用下さい。

針と糸

最も一般的に市販されている針は、70-120番（日本仕様10-18番）です。針が細いほど番号が小さくなっています。この表は針がどんな糸に合っているかを示したものです。使う針は糸次第です。針が糸に合ったものでなければなりません。

針と糸	70	80	90	100	110/120
かがり糸	○	○			
刺繍糸		○			
コットン糸		○	○		
化繊糸		○	○		
太糸、化繊糸			○	○	
ボタンホール糸				○	○



飾り糸、ステッチ糸

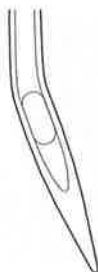
針と糸の正しい組み合わせ縫うとき、糸は針の長い溝を走って通ります。

不適正な針と糸の組み合わせ

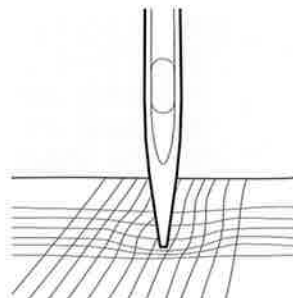
糸の太さに対して針が細すぎる場合、糸溝に糸がうまく沈まず、布にべこ付きを発生させきちんと縫えません。

針と布地—針の状態

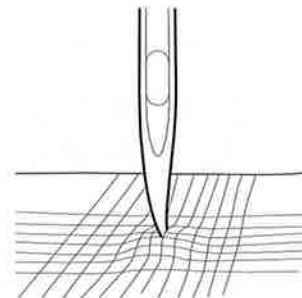
針は完璧な状態でなければなりません。針に異常があるとトラブルの元です。



曲がった針



先のつぶれた針



先がぎざぎざの針

ミシン針に関する重要事項

特殊な布ほど、布地に適した針を使い分けることにより、大変縫いやすくなります。
ベルニナ正規販売代理店では、様々な針を用途に合わせて取りそろえております。

針一覧表	針の記号	針先形状	用途	実際の形状
標準針	130/705H	標準の針先	汎用針、化繊や天然繊維の織地、例えば、リネン、シフォン、人絹、オーガンジー、ウール、サテン、飾り縫い、刺しゅう	
特殊針	130/705H-SES	細手ボールポイント	絹、化繊、綿、薄地のウール地、薄手のニット地、特に伸縮性の強い生地	
特殊針	130/705H-SUK	中太ボールポイント	化繊や天然繊維の厚手のニット地	
特殊針	130/705H-S	中太ボールポイント	特にデリケートな伸縮地用	
ジーンズ針	130/705H-J	針先強度大	綾織、作業衣、麻、デニム、キャンバス地。目のつんだ生地。	
レザー針	130/705H-LR 130/705H-LL	カッティングポイント	各種天然皮革、合成皮革、ビニールコーティング地、プラスチック	
二本針	130/705H-TWI	針間隔 (ミリ) 1.6/2.0/2.5/3.0/ 4.0/6.0/8.0ミリ	伸縮地のヘム縫いに、ピンタック、飾り縫い、キルティング	
三本針	130/705H-TRI	巾2.5/3.0ミリ	飾り縫い、キルティング	
ウイング針 ヘムステッチ針	130/705H- WING	ウイング針	綿ローンや綿オーガンジー等の織りのゆるい薄地でヘムステッチやレース付け	

送り歯と布送

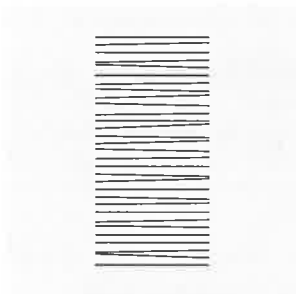
送り歯と縫い目の長さ

送り歯は、通常一針毎に一回ずつ布送りをします。この一回の布送り量は、送りダイヤルで調節した長さです。特に細かい縫い目の場合は、一回の布送りの量もわずかですので、フットコントローラーを一杯に踏み込んでも、布送りの速度はゆっくりしたものとなります。ボタンホールやサテンステッチおよび飾り縫い等は、通常、送りを細かくして縫います。

重要事項



布送りが均等になるようにします。

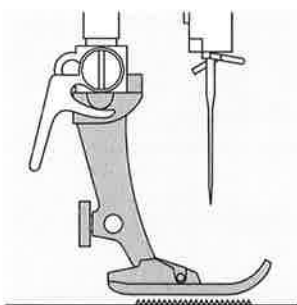


布を手で引っ張ったり、押し込んだりすると縫い目にすき間ができます。

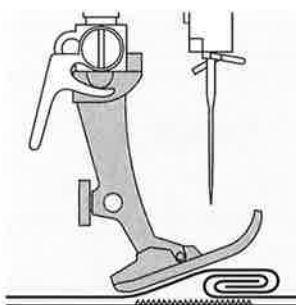


布を手で押えてしまうと縫い目が重なってしまいます。

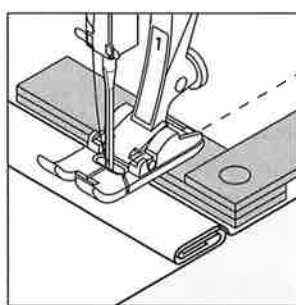
高さ調節板



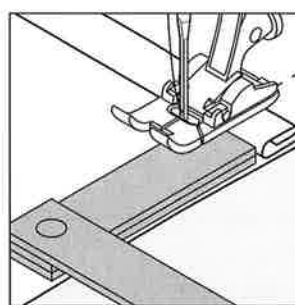
送り歯は、押え金が水平になっている場合、もっとも効果的に働きます。



薄地と厚地のつなぎ目を縫う時に、押えが斜めになってしまうと、送り歯は布をとらえることができず、布を送らなくなります。

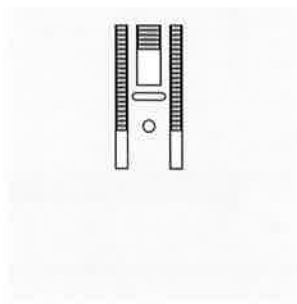


その場合には、図のようにして、高さ調節板を必要な枚数、押えの下に置くようにします。

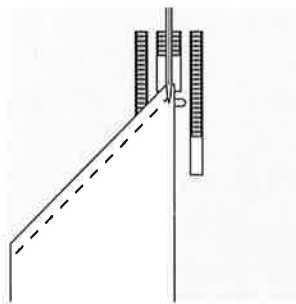


押えの手前で高さを調整する時は、必要な枚数の高さ調節板を押えの右下側に置きます。布の段差がなくなるところまで縫い進んだら、高さ調節板を外します。

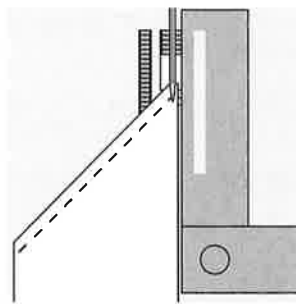
送り歯とコーナーの縫い方



左右の送り歯は、少し離れた位置についています。これはジグザグ縫い等、針が左右に振れる場合に備えていることです。



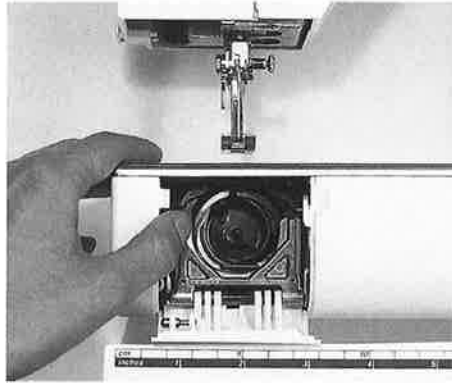
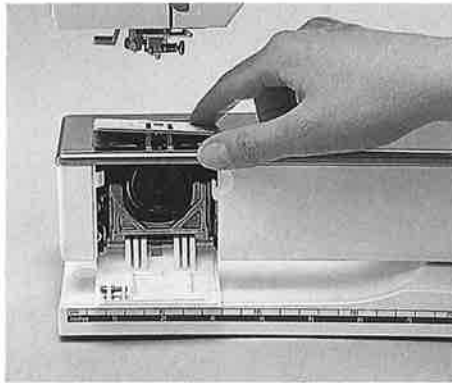
角を縫う場合は、送り歯に乗る部分はほんの少しなので、送りがうまくいかない場合があります。



そのような場合には、布端に高さ調節板を当てるようにすると、送りが正常に戻り、縫い目がきれいになります。

クリーニングの方法

ミシンを極端に気温の低い部屋に
おいている場合、使用の1時間位
前から通常の気温の部屋に移して
おいて下さい。



クリーニング

ご使用後、針板の下にたまった糸
の毛羽やくずを掃除してください。

- ・電源をオフにし、
- ・押えと針を外して、
- ・開閉カバーを開きます。
- ・針板の右後ろ隅を人差し指で強
く押さえて針板を浮かせます。
- ・持ち上げて外します。
- ・ブラシで掃除し、
- ・針板をもとに戻します。

スクリーンの掃除

- ・濡れたソフトクロスで拭きます。

釜の掃除

- ・電源をオフにし、
- ・ボビンケースを取り出します。
- ・大がまレース(溝)の回りをブラ
シや布で掃除します。その際、尖
ったものを使用しないこと。
- ・ボビンケースを戻します。

ミシンのクリーニング

- ・濡れたソフトクロスで拭きま
す。
- ・汚れがひどい時は中性洗剤を溶
かした水をソフトクロスに浸し
て拭きます。

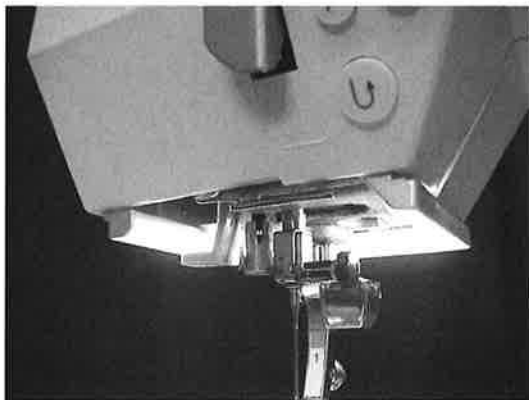
注油について

- ・2-3 滴のオイルを大釜の溝に注
油します。
- ・糸を通さずにミシンを 2-3 分
運転してください。
- ・余分なオイルを取り除いて、生
地に染みをつけないように注意
します。

重要

絶対にシンナー等の溶剤の入った
洗剤等は使わない事

ソーイングランプの交換



明るく、超寿命のインバーター蛍
光灯ランプが装備されています。
交換が必要なときは、お買い求め
の販売店へお申し出下さい。

トラブルの原因と対策

故障かな?、と思ったら次の要領でまずお調べ下さい。

チェックポイント

- ・上糸、下糸が正しくかかっていますか。
- ・針が正しくとりつけられていますか。(平らな部分を後ろ側にします。)
- ・針は、針と糸の一覧表を見て、正しいものを使用して下さい。
- ・ミシンをきれいに掃除し、糸くずを取り除いて下さい。外がまの掃除も忘れずに。
- ・上糸テンションディスクの間や、ボビンケースの糸みちのごみを取り除いて下さい。

上糸切れの原因

- ・上糸テンションが強すぎる。
- ・針の品質が良くない。(ベルニナ製品取扱い店でお買い求め下さい。)
- ・針が正しくセットされていない。(平らな部分を後ろ側にして下さい。)
- ・針先がつぶれている、または曲がっている。
- ・糸の品質が良くない。(こぶがあったり、ささくれていたり、古くて乾燥しすぎている等)
- ・針板の糸穴や釜のけん先に傷がついている。このような場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。

縫い目が乱れる原因

- ・テンション皿に糸くずが残っている。
- ・ボビンケースのテンションばねの内側に、糸くずが残っている。
- ・上糸、下糸の糸通しを再確認してください。
- ・糸こま押えのサイズが正しくない。

ミシンが回転しないか、高速にならない原因

- ・下糸巻き装置がオンになっている。
- ・電源コンセントが正しく入っていない。
- ・電源スイッチがオフになっている。
- ・室温が低すぎミシンが冷え切って十分に機能しない。

下糸切れの原因

- ・下糸テンションが強すぎる。
- ・ボビンケースの中で、糸がからまっている。ボビンを取り出し、チェックしてください。
- ・針板の針穴に、傷がついている。このような場合には、お買い求めの販売店にご相談下さい。
- ・針先がつぶれている、または曲がっている。

ミシンが前進送りしない原因

- ・機能選択ボタンの「連続返し縫いボタン」がオンのままになっている。
- ・送り歯が下がっている。

目飛びの原因

- ・針が正しくない。ベルニナ純正の 130/705H サイズの家庭用ミシン針を使って下さい。
- ・針先がつぶれているか、曲がっている、または正しくセットされていない。(針は上に一杯まで差し込んで止めて下さい。)
- ・布地に合った針を使っていない。

インバーターソーイングライトの交換

- ・ソーイングライトの交換は、危険が伴いますので、必ずお買い求めの販売店にご相談下さい。

針折れの原因

- ・針止めネジの締め方が十分でない。
- ・縫い終わった後、布を手前へ引いてしまった。
- ・厚地を縫っていて、針が布地に刺さっている状態で布を押してしまった。
- ・質の悪い糸を使っていた。(糸よりが均一でない、こぶがある等。)

用語の解説

アップデート	《update》	マシンに新しいソフトをインプットすること
アップグレード	《upgrade》	マシンに新しいソフトをインプットして更に機能を充実させる事
OK	《ok》	先に進める前に作業内容や選択内容を確認する
カーソル	《Cursor》	・画面上で入力される位置を示すマーク（垂直の線） ・メモリーでは削除や挿入を示すときに使う
カスタマイズ	《Customize》	顧客の要望に応じる事。個別化、個性化
カスタマイザー	《Customizer》	顧客の要望に応じられるプログラム 《アーティスト カスタマイザー》＝ベルニナのパソコンソフトで刺繍モチーフや従来のステッチなどを反転、追加、サイズの変換などを可能にする刺しゅうプログラムソフト
クリア	《clr》	セッティングを削除したり、元通りにしたり、基本セッティングに戻すこと
スクロール	《scroll》	上下、左右に画面を移動させてデータを検索すること
スマート	《smart》	作業を中断する間ステッチやセッティングすべてをセーブするプログラムのこと
セットアップ	《setup》	各自の利用に便利のように変換出来る機能
ソフトウェア	《software》	コンピュータを動かすプログラム 《ソフト》と訳すこともある
タッチ	《touch》	マシンを操作する画面上のボタンにタッチすること
チェック	《check》	メモリー域の内容を検索すること
チュートリアル	《tutorial》	さまざまなマシンの特徴を知るための説明書
ツールバー	《toolbar》	画面上のグループのことを言う用語、例えば、機能など
デザイナー	《Designer》	《アーティスト デザイナー》＝ベルニナ社のパソコンソフトで独自の刺しゅうデザイン制作、スキャナーやデジタルカメラの映像を取り込み、刺しゅうモチーフに変換するコンピュータソフト
パソコン	《PC》	パーソナルコンピュータ
パターン	《pattern》	デザインモチーフ、ステッチ
ヘルプ	《help》	簡単な情報を提供してくれる全体的なプログラムのことで、機能や特別なステッチに関して助言を与えてくれる
編集	《edit》	変更や修正すること
保存	《store》	いつでも呼び出せるようにメモリーを保存すること
メニュー	《menu》	プログラムの内容の一覧、例えば、選択できるステッチや機能
メモリー	《mem》	memory、ステッチ、ステッチの組み合わせ、文字や数字などを記憶して編集したり、保存出来る機能
戻る	《esc (escape)》	画面やプログラムを閉じる、以前の画面に戻る、あるいは、画面をスタートする

索引

あ		す		へ	
アクセサリボックス	6	スクリーン操作	18	ベルニナ特殊押さえ	15
アルファベットと数字	36,37	スタート画面をキャンセルする	57	ヘルプ機能	46
安全にご使用いただくために	1	ステッチをプログラムする	39		
		スマート機能	49,50		
い		せ		ほ	
糸切り	11	セットアップ機能	51-61	補助糸立棒	9
		セットアッププログラム	50	補助テーブル	7
う				ボタンホール	29-37
上糸テンションの調節	12			ボタンホール縫いと用途	17
上糸のかけ方	10			ボビンケース	8
え		そ		ま	
エコ機能	62	ソーイングガイド	47,48	マイスクリーン	51-55
		ソーイングライト	58		
お		た		み	
		タッチ画面の感度の調整	59	ミシンの準備	6-12
送り歯と布送り	67			ミシンの操作説明	18-21
押え圧力調整	11	ち		ミシン針	65,66
押え金	15	つ		む	
押えの交換	9	ツールバー機能	24		
オン・スクリーン機能	23			め	
音声シグナル	56			メモリー	38-43
か		て		メモリー操作機能	26,27
外部機能ボタンの解説	22,23	電源コード	7	メモリーの分割	43
各種機能の説明	23-29			も	
各種のメモリー機能	26,27	と		文字・数字のプログラム方法	38
各部の名称	4,5	特殊アクセサリ	62-65	文字と数字	37,38
画面のコントラストを調節する	61	トラブルの原因と対策	69	模様縫いメニュー	13-14-1
監視モニター機能	29			模様の選択表示、機能方法	19,20
き		な		や	
機能のセットアップ	26			ゆ	
キャリングケース	6	に		よ	
キルティングステッチ	44	日常のメンテナンス	68		
キルティング模様	14			4ステップ	34
く		ぬ		用語の解説	70
クリーニングの方法	68	ね			
け		の			
こ		は			
さ		パソコン刺繍プログラム	64		
最高スピードの変更	56	バランス	45		
サービスプログラム	58	針・糸・布送り	66,67		
		針板	11		
		針の交換	9		
し		ひ			
シグナル音を鳴らすには	56	膝押さえ上げレバー	7		
刺しゅうカード	64			ふ	
刺しゅう機	63			付属品ボックス	6
刺しゅう枠の位置調節	60			フットコントローラー	7
下糸の巻き方	8				
実用縫い模様と用途	16,17				
CPS機能	62				

第二章

ソーイングマニュアル

ベルニナ・アーティスタ170



2-5	直線縫い、ジグザグ縫い
6	パーソナル メモリー
7-11	実用縫い
12, 13	ニット縫い
14	ファスナー
15	ロングステッチ
16	しつけ縫い
17	まつり縫い
18, 19	伸縮縫い、シャーリング
20	かんぬき止め
21-28	ボタンホール
29	ボタン付けプログラム
30	アイレット
31-34	繕い縫い、かがり縫い
35	飾り縫い
36	クロスステッチ
37-39	キルトステッチ
40	機能を組み合わせた飾り縫い
41-43	メモリーの実用縫いと飾り縫い
44	バランス
45	索引

直線縫い

ステッチ： 直線縫い #1
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押えNo.1

直線縫い

- ・電源を入れれば、すぐに縫い始められます。
- ・Welcome画面が3秒間表示された後、画面は自動的に実用縫い画面を表示し、直線縫い模様が濃く表示されます。

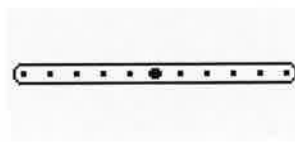
画面

- ・押えの番号が表示されます。
- ・送り長さおよび振り幅の標準設定が表示されます。
- ・標準設定は常にその位置で点滅しています。



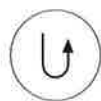
送り長さを変える

- ・送り長さは縫いながら変更できます。
- ・送りダイヤルを右に回すと長くなります。
- ・送りダイヤルを左に回すと短くなります。



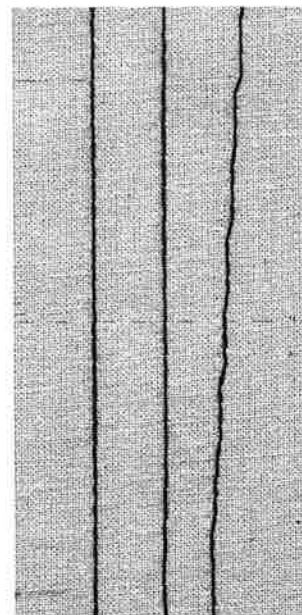
針基線を変える

- ・針基線ボタンを押して、縫いたい位置に針の位置を変えます。
- ・左右のいずれかのボタンを一回押す毎に針基線が選んだ方向に一目盛り毎に移動します。
- ・＜左基線側に5ポジション
- ・＞右基線側に5ポジション
- ・中央の基線を含めて合計11ポジション選べます。
- ・エッジステッチ、トップステッチ、タックを取るのにも便利です。



針元返し縫いボタンを使って止め縫い

- ・このボタンを押すと、返し縫いをします。
- ・ボタンを離すと、前進縫いに戻ります。



A B C

A—標準の2.25mmの直線縫い
 B—送りを変えて縫った直線縫い
 C—針基線を変えて縫った直線縫い



ヒント

- 生地の性質により、送り長さを調節して下さい。
- ・例 デニム等は3～4の長めに。
- 糸に合わせて、送り長さを調節して下さい。
- ・例 トップステッチ用の太い糸では3～5位の長めに。
- 長い距離を縫う時は針下位置停止機能を使います。
- ・ミシンを止めた時に布地が滑って縫い目がゆがむのを防ぐことができます。

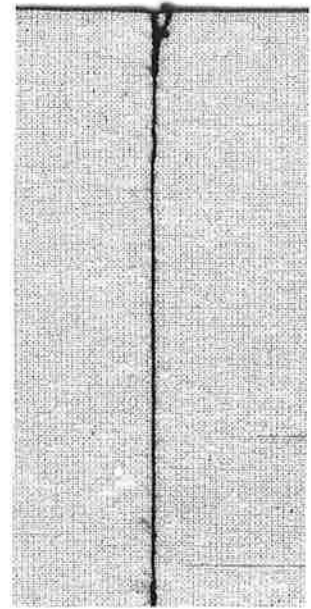
止め縫い（直線縫い）



ステッチ： 自動返し縫付の直線縫い #5
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様縫い押えNo.1

止め縫い

- ・あらゆる生地に適用。
- ・縫い目の始まりと終わりを自動で返し縫いします。
- ・返し縫いは最初の縫い目の真上を縫い布縮みしません。



模様の選択

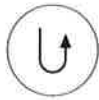
- ・模様No.5をタッチします。
- ・最後の返し縫いに使う手元返し縫いボタンマークが画面に表示されます。

画面表示

- ・スーパー模様縫い押えNo.1が表示されます。
- ・送り長さ（2.5mm）と振り巾（ゼロ）の標準設定が表示されます。

縫い始め

- ・ミシンが自動的に縫い始めを止め縫いします。（4針前進、4針後進）
- ・その後、直線縫いを続けます。



縫い終わり

- ・針元返し縫いボタンを押すとミシンが自動的に止め縫いをします。（押した位置から4針後進、4針前進）
- ・止め縫いが終了すると、ミシンは自動的に停止します。

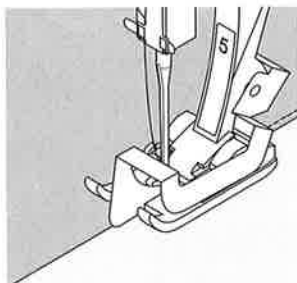


ヒント

- ・自動止め縫いは、長い範囲を縫う場合に特に便利です。

縁縫い

- 模様： 直線縫い #1
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1、又はまつり縫い押えNo.5、
 又はエッジステッチ押えNo.10（別売オプション）



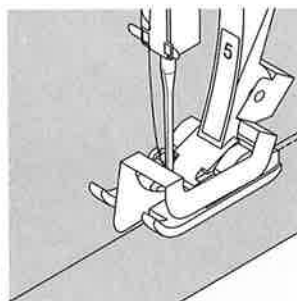
巾の狭いエッジ縫いの場合

針位置

- ・外側に縫い目がくる場合は、左基線
- ・内側に縫い目がくる場合は、右基線

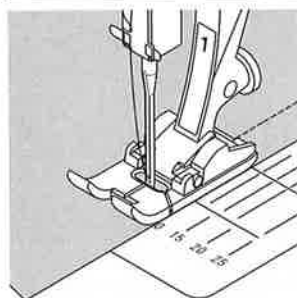
押え

- ・まつり縫い押え5番



布端のエッジ縫い

- ・折り返した布端を押えの布ガイドに当てて置きます。
- ・端から縫い目までの距離に合わせて、針位置を決めます。



ヘム縫いの場合

- ・折り返した布端を押えの布ガイドに当てて置きます。
- ・針基線を、折り返した布端の右寄りに選びます。
- ・押えNo.5の場合：右3番目より右側を使います。
- ・押えNo.10の場合：どの針基線でも使えます。

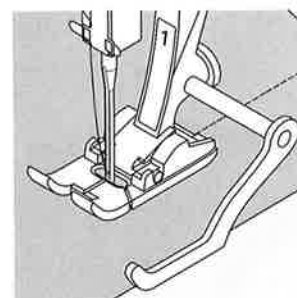
巾の広い縁縫い

針位置

- ・すべての位置で可能。
- ・針基線を変えることで、布端から距離を自在にとることができます。

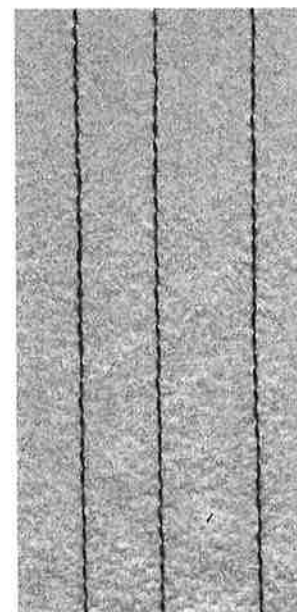
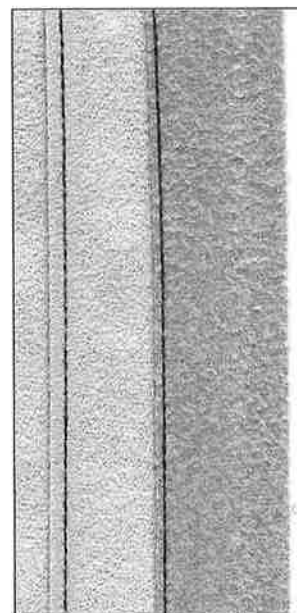
押え金

- ・スーパー模様縫い用押えNo.1



布のガイド方法

- ・押えの巾をガイドとして、布端に押えの左右いずれかの端を合わせます。
- ・布端を針板の目盛りをガイドに沿わせて縫います。
- ・定規棒（シームガイド）を図の押えホルダーの穴に差し込み、
- ・好みの幅にして、ネジを締めます。
- ・定規棒に沿って、布の折り山をガイドしながら縫います。
- ・平行線を縫うには先に縫った線と平行にもう一本縫う時は、定規棒が前の縫い線をなぞるように縫います。



ヒント

縁縫いと定規棒

- ・平行線や基盤の目に縫うときに、大変役に立ちます。

ジグザグ縫い



ステッチ： ジグザグ縫い #2
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え No.1

ジグザグ縫い

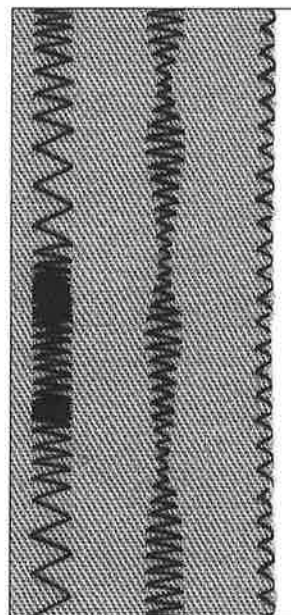
- ・あらゆる生地に適用
- ・縁かぎの仕上げ
- ・飾り縫い

模様選択

ジグザグステッチ #2 をタッチして選びます。

画面表示

- ・押えの番号 No.1 が表示されます。
- ・送り長さ (1.5mm) と振り巾 (3.5mm) の標準設定が表示されます
- ・標準設定は点滅で表示されています。



A B C

B—送りを変えて縫ったジグザグ
 A—振り幅を変えて縫ったジグザグ
 C—布端をジグザグでかがる



振り巾の変更

- ・縫いながら変更できます。
- ・振り巾調節ダイヤルを右に回して広くする。
- ・振り巾調節ダイヤルを左に回して狭くする。
- ・縫いながら調節する時は、ゆっくり回しながら緩やかなカーブのジグザグを縫います。

送りの長さ変更

- ・縫いながら変更できます。
- ・送り長さ調節ダイヤルを右に回して長くする。
- ・送り長さ調節ダイヤルを左に回して短くする。
- ・縫いながら調節する時は、ゆっくり回して滑らかに送りの長さを調節します。

-5
-4
-3
-2
-1
E=0

サテンステッチ

- ・送り表示にバーコードのようにサテンステッチの送り長さが表示されています。
- ・ジグザグを密にしてステッチをかける方法で、アップリケ、カットワーク、刺しゅう、そして飾り縫いなどに効果的です。

縁かぎ

- ・布端を押えの中心に合わせます。
- ・一針は布の上に、もう一針は布の外側端ぎりぎりに落ちるようにします。
- ・縁かぎをきれいに仕上げるために、振り巾や送り長さをあまり大きくしない方がよいでしょう。
- ・薄手の生地には、かがり糸を使用して下さい。



ヒント

ジグザグで縁かぎ

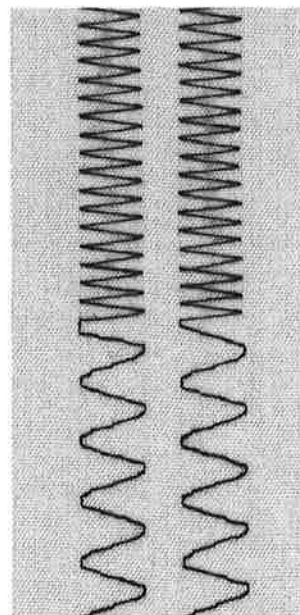
- ・布端が丸く巻込む時は、バリオーバーロックステッチと2番の押えを使用します。

サテンステッチの刺繍縫い

- ・振り巾を調整して、刺しゅうの効果をあげます。

ステッチメモリー機能

模様： すべての模様縫い
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1



A

B

ステッチメモリー

- ・全ての縫い目と生地
- ・変更した送りと振り巾を自動的に記憶します。
- ・例：
 - ジグザグを縫いをします。
 - 振り巾、送りを変えます。
 - 別の縫い目を縫います。
 - ジグザグ縫いを再度選ぶと先に変更した送りと振り巾のままになっています。
- ・直線縫いやジグザグ縫いに特に便利です。
- ・自動記憶されるステッチの数に限りありません。
- ・電源を切ると全てのステッチメモリーは失われます。

使い方

標準セッティングを変える

- ・ジグザグ縫い #2 を選びます。
- ・振り巾を5に変更します。
- ・送り長さを1に変更します。
- ・変更されたジグザグ縫いをします。
- ・ランニングステッチ #4 を選びます。
- ・振り巾を5に変更します。
- ・送り長さを1に変更します。
- ・変更されたランニングステッチを縫います。

A—変更したジグザグ縫いのあとに、変更されたランニングステッチを縫います。

B—もう一度ジグザグ縫いと続けてランニングステッチを変更されたままで縫えます。

変更されたセッティングがステッチメモリーに記憶された

- ・ジグザグ縫い #2 を選びます。
- ・先ほど変更した通りになっているのを確かめて下さい。
- ・ランニングステッチ #4 を選びます。
- ・変更した通りになっているのを確かめて下さい。

標準セッティングに戻すには

- ・方法1 <<clr>>ボタンを押します。
- ・方法2 振り巾と送りをそれぞれ標準に手動で戻します。
- ・方法3 電源を切ると、ステッチメモリーはすべて標準にリセットされます。
- ・方法4 機能ツールバーのクリアーオール機能ボタンをタッチします。



ヒント

標準設定の変更

生地やソーイング手法に合わせて、送りや振り巾を自由に変更し、変更したままでソーイングを続けることが出来、便利です。

ソーイング中の模様の変更

布端をかがったり、直線縫いに戻したりという面倒な作業も、いちいち送りや振り巾を変更する必要もなく大変便利です。

実用縫いによる縫い合わせ

割り縫い

縫い代を両返しにして、アイロンがけする縫い方です。

- ・縫い代の巾は、いくらでもかまいません。
- ・縫い代は平らでかさばりません。
- ・また、縫い代が伸びて開くこともありません。

適当な縫い模様

- ・直線縫い、巾の狭いジグザグ縫い、スーパーストレッチ縫い、トリプルジグザグステッチ。

用途

- ・主に、織地に使われます。
- ・洋服、ホームアクセサリやクラフトに

オーバーロック縫い

縫い代を割ることができない縫いあわせ

- ・縫い合わせと縁かがりが同時にできます。
- ・縫い代の巾は、狭くなります。

適当な縫い模様

- ・バリオーバーロック、ダブルオーバーロック、伸縮縫いなど

用途

- ・主にニットやジャージーに適しています。
- ・ジャージーやランジェリー、ベッド用リネンなど



伏せ縫い

裁ち目を両方から包み込んで、縫い合わせます。

- ・縫い代の上を縫います。

適当な縫い模様

- ・ストレッチオーバーロック

用途

- ・タオル地やライクラ等に適しています。
- ・レジャー着やランジェリーに



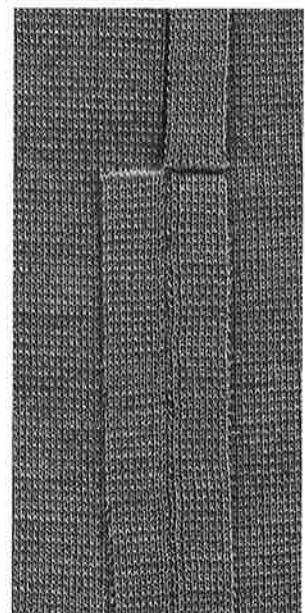
ジグザグ縫いで縫い合わせ



- 模様： ジグザグ縫い#2
 振り巾： 大体1くらい
 送り長さ： 大体0.5くらい
 針： 標準針、SUKニット用針（中細ボールポイント）、伸縮縫い用針
 糸： コットン、又はポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1

割り縫い

- ・ニット地、ジャージー地を割り縫いするときに適しています。
- ・縫い代がかさばらずフラットに仕上がります。



ヒント

ジャージー地またはニット地の縫い合わせ時の伸び防止

- ・生地に合わせて、押え圧を弱くして下さい。

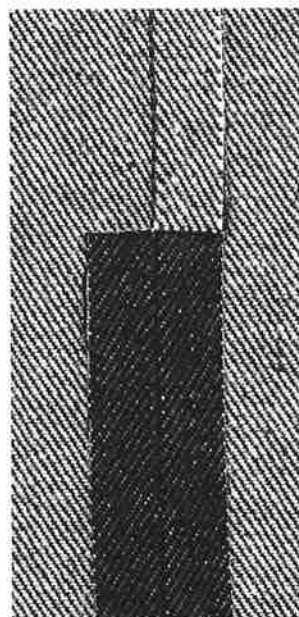
トリプル直線ステッチ



- 模様： トリプルステッチ直線 #6
 針： 80/12 番、90/14 番又はジーンズ針を生地に合わせて選びます
 糸： ポリエステル系
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様縫い押え No.1
 ジーンズ押え No.8

割り縫い

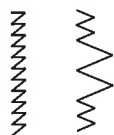
- ・デニム、コーデュロイ等の堅い生地に適した丈夫な縫い目です。
- ・洋服などで強度を必要とする部分に



ヒント

- ・非常に堅い生地には、ジーンズ用針を使用して下さい。
- ・厚地などでは高さ調節板を使って縫い合わせ部分の段差をなくして縫います。

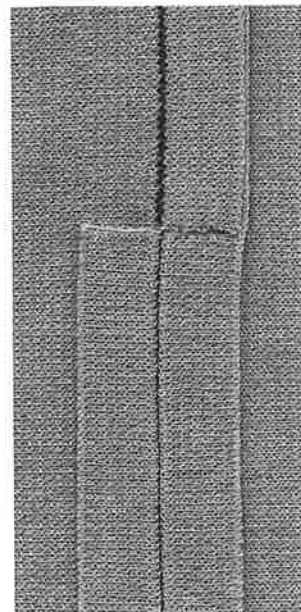
スーパーストレッチ縫い



- 模様： ストレッチ#18／スーパーストレッチ#11
 針： 80番
 糸： ミシン糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え1番

割り縫い

スポーツウェア等の伸縮地に最適な、非常に伸縮性の高い縫い目です。



ヒント

ニットやジャージー地を縫う時

- ・生地に穴を開ける等の事故を避けるため、新しいボールポイント針を使用して下さい。

伸縮地に適した針

- ・必要に応じて、130/705H-S のストレッチ針を使用するようにして下さい。針先が、繊維を傷つけずに縫います。

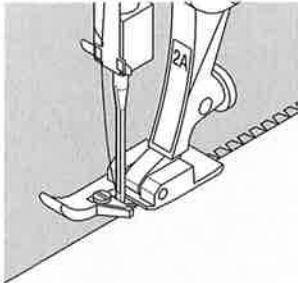
ニット地やジャージー用の縫い目

- ・生地に合わせて、押え圧を弱くして下さい。

バリオーバーロック縫い



- 模様： バリオーバーロック #3
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： オーバーロック押えNo.2

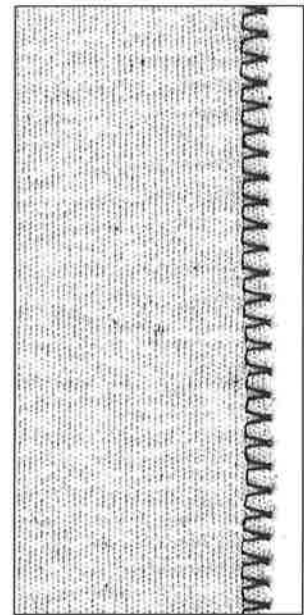


オーバーロック縫い

- ・シルクニットやインターロック等の薄く柔らかい伸縮地に適しています。

縫い方

- ・裁ち目を押え下側のピンに沿わせるようにして進めます。
- ・布端が巻かないように縫うには、ピンを布端の外側に沿わせます。



ヒント

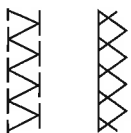
ニット地およびジャージー

- ・生地を傷つけないよう、新しいボールポイント針を使用して下さい。

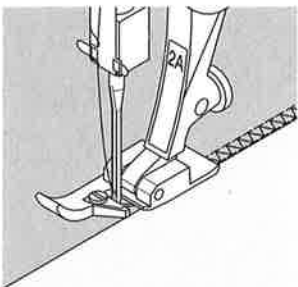
伸縮地を縫う場合

- ・必要に応じて、ボールポイント針（130/705H-S）をご使用下さい。針先で繊維を傷つけることなく縫えます。

ダブルオーバーロック縫い／ニット用オーバーロック縫い



- 模様： ダブルオーバーロック #10／ニットオーバーロック #20
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： オーバーロック押えNo.2

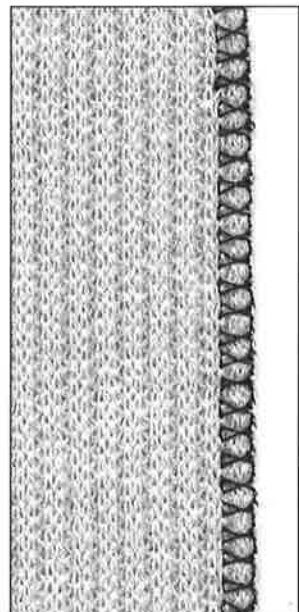


オーバーロック縫い

- ・目の粗いニット地やジャージーにオーバーロック縫い

縫い方

- ・オーバーロック押え下側のピンの部分に裁ち目を合わせるようにして、進めます。
- ・布端が巻かないように縫うには、ピンを布端の外側に沿わせます。



ヒント

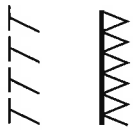
ニット地やジャージー地

- ・生地の損傷を避けるため、新しい針をご使用下さい。

伸縮地を縫う場合

- ・必要に応じて、ボールポイント針（130/705H-S）をご使用下さい。針先で繊維を傷つけることなく縫えます。

伸縮オーバーロック縫い／強化オーバーロック縫い



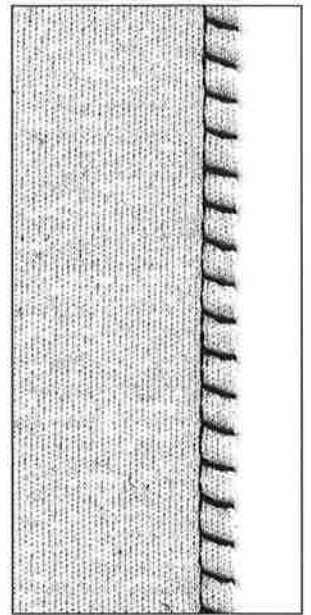
模様： 伸縮オーバーロック縫い#13又は
強化オーバーロック縫い#19
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押えNo.1

オーバーロック

目の粗いニットやソフトなニット地に最適。

縫い方

- ・布端にストレッチオーバーロックを掛ける。
- ・布端では針が布の外側に落ちるように縫います。

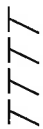


ヒント

生地伸びを防ぐには

- ・ソーイング中に生地が伸びるのを防ぐには、生地に合せて押え圧を緩めます。

重ね縫い



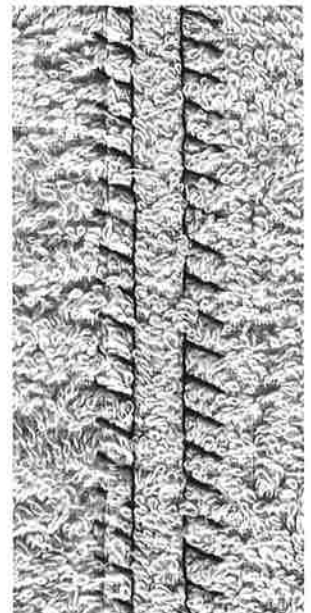
模様： ストレッチオーバーロック#13
針： 標準針、ボールポイント針
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え： スーパー模様押えNo.1

重ね縫い

- ・布端を重ねて、縫い代の上を縫います。
- ・かさのある生地をフラットにしっかりと縫います。
- ・タオル地、フェルト、レザーなどの厚地や、弾力のあるふわふわした生地などに適しています。

縫い方

- ・布端を2センチくらいフラットに重ね、互いの布端に沿って、ステッチの直線部分を平行に、ジグザグが布端を押さえるように縫います。



ヒント

布地と糸

- ・縫い目が目立たないように、共色の糸を使います。

厚手の堅い生地を縫う場合

- ・普通の直線縫いでは縫目が緩みがちな厚手の生地に。

実用縫いを使った縁かがり

準備

必要ならば、縁にアイロンおよびしつけをかけておいて下さい。

縫い方

- ・表側から、適当に縫い代を残して縫い、
- ・最後に、裏側で縫い代を切り取り仕上げます。

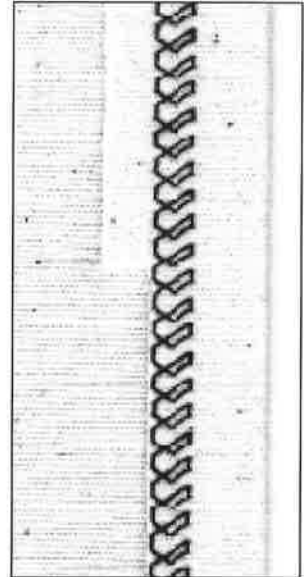
ジャージーステッチによる飾り用縁かがり



- 模様： ジャージーステッチ #14
 針： 標準針、ボールポイント針
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1

伸縮地のへム仕上げ

あらゆる種類のジャージー地（コットン、ウール、化繊および合繊）の縁飾りに適しています。



ヒント

ニット地とジャージー

- ・新しいボールポイント針を使用して、ニット地の繊維を傷つけないようにします。

伸縮地

- ・必要に応じて、ボールポイント針（130・705H-S）を使うと、針先が繊維を傷つけずに縫えます。

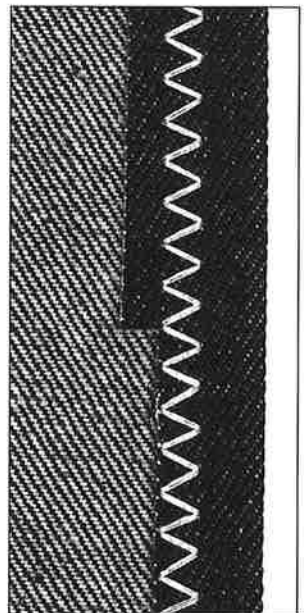
トリプルジグザグによる飾り用縁かがり



- 模様： トリプルジグザグ #7
 振り巾： 生地により、2.5～5くらい
 送り長さ： 標準設定
 針： 標準針、又はジーンズ針
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1

丈夫な飾り用へム縫い

- ・デニムや目のつんだキャンバス地等の厚手の堅い布に適しています。



ヒント

よく洗濯するものの縁かがりでは、まず初めに布端をきちんと揃え、その布端の上にミシンをかけると、ほつれません。

厚手の堅い生地を縫う場合には、ジーンズ用針を使うとスムーズに縫えます。

ニット地の縫い方

ニットを上手に縫うための大切なポイント

新しい針

- ・生地をいためないよう、先につぶれたものは使用しないで、できるだけ新しい針を使いましょう。

ストレッチ針130/705H-S

- ・針先が繊維を避けて滑るように縫うので、生地をいたけません。

糸は、品質のよいものを使いましょう

- ・固い糸はニット地をいため、洗濯時の穴あきの原因になります。
- ・伸縮性の糸は布を引きつりますので使いません。

しつけ用にかがり糸を使う

- ・縫い込んでも後で取り除くのが簡単で便利です。

必要に応じて、試し縫いを

- ・最近の生地の伸縮性は様々ですので、生地に合わせて送りと振りの標準設定を調節して下さい。
- ・縫い目と生地の伸縮度は、同程度の物を選びます。
- ・伸縮のきつい生地には、送り長さを短く、振り巾を大きくすることで対応できますが、いずれかの一つの調整で十分な場合もあります。

押え圧

- ・柔らかい、目の粗いニット地は、しわになる可能性があります。その場合は、しわができない程度まで、押え圧を弱めて下さい。ただし、送り歯がきちんと生地を送らなくなるほど弱くしてはいけません。

飾り縫いによる襟つけ



- 模様： ネットステッチ #8
 針： 標準針、ボールポイント針
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1

あらゆる種類のジャージー地（木綿、ウール、化繊および合繊）に適しています。

準備

- ・襟周りを1cm内側に折ります。
- ・必要に応じてしつけをします。

縫い方

- ・表側から襟の端に沿って縫い、
- ・裏側で縫い目からはみ出た縫い代を切り取ります。

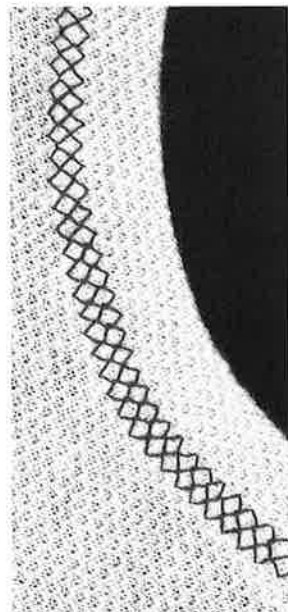


送りバランス微調整を使う

- ・ネットステッチが広がってしまう場合、送り微調整を《↑》“上向き矢印”で、縫い目を細くします。



- ・逆にステッチが詰まり過ぎるという場合には、《↓》“下向き矢印”でプラスに調整して下さい。



ヒント

針下位置停止機能

- ・襟縫いや袖縫いの途中でミシンを停止しても、針が生地に刺さったまま残るので、ずれがおこらず便利です。

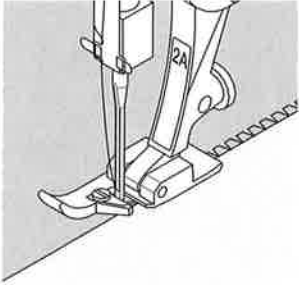
押え圧

- ・ヘムが伸びるようでしたら押え圧を下げます。

オーバーロック縫いによる襟つけ



模様： バリオーバーロック#3
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： オーバーロック押えNo.2



オーバーロック縫いを使った襟つけ

・薄手のジャージー地に適しています。

準備

・襟周り（リブ）を半分に折り、襟周りの表側に待ち針としつけをします。

縫い方

・布端にバリオーバーロックをかけます。
 ・その際、布端を押えのピンに沿うようにガイドします。
 ・布端をフラットに仕上げるにはピンを、布端の外側に沿わせます。



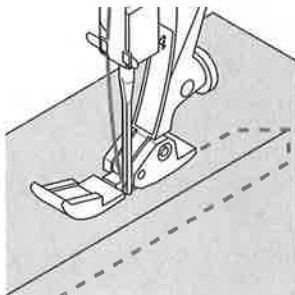
ヒント

針下位置停止機能

・針下位置停止機能を使えば、襟周りを揃えたりするのに途中でミシンを止めてしても針が生地に刺さったまま残るので、ずれが起らず便利です。

ファスナー付け

- 模様： 直線縫い#1
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットン又はポリエステル系
 送り歯： 上
 押え： ファスナー押え No.4
 コンシールファスナー押え No.35（オプション）
 針基線： 左/右

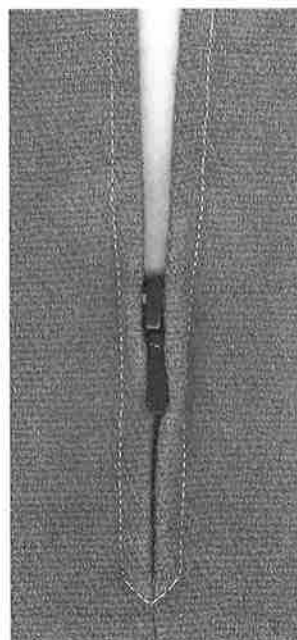


準備

- ・布端が、ファスナーの中心上で合うように、しつけをかけておきます。

縫い方

- ・縫い目が、布の折り目と平行になるように注意しながら、ファスナーの両側を下から上に向かって縫います。
- ・その際、ファスナーの右側を縫う場合は、押えを左に寄せ右基線で、左側の場合は右に寄せて左基線で、押えの端がファスナーの歯に沿って動き、また針はファスナーのすぐそばに落ちるように縫います。



コンシールファスナー押え

- ・別売りオプションのコンシールファスナー押え 35 番も用意されています。
- ・ご使用方法は押えの説明書をご覧ください。



ヒント

ファスナーのむしの部分が押えに引っかからないように、ファスナーを上げた状態で、むしから5cmくらい下の部分まで縫い進めたら、針は下位置に残したまま押えを上げ、ファスナーを開き、再度押えをおろして縫い続けて下さい。

縫い始めは、糸を手できつめに引いておくか、または数針分のみ、生地をわずかに後ろに引き加減にするとよいです。

ファスナーの生地は厚くまた堅いので、均一なステッチのために、90/14 または 100/16 番の針をお勧めします。



ロングステッチ機能

直線縫いと一緒に使って通常よりも長い縫い目を縫うことができます。

ロングステッチ機能をオンにすると2針に一回縫って、各縫い目を2倍の長さに変換します。最大の縫い目長さは、送りを5にセットしたときに10ミリになります。

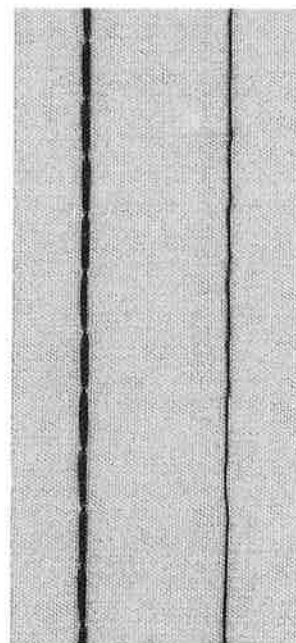
トリプル直線縫いと一緒に使うとトップステッチ用の飾り縫いに最適です。



- 模様： 直線縫い#1、又はトリプル直線ステッチ#6
- 針： 生地に合わせて選びます。
- 糸： コットンまたはポリエステル糸
- 送り長さ： 3.5 - 5mm
- 送り歯： 上
- 押え： スーパー模様押えNo.1
- 機能： ロングステッチ機能

ロングステッチ

- ・飾り縫いに
- ・トップステッチに



ヒント

コルドネットを使ったロングステッチ

- ・コルドネット紐には100/16-110/18の針を使います。

しつけ縫いに

- ・しつけ縫いにも使えます。

しつけ縫い

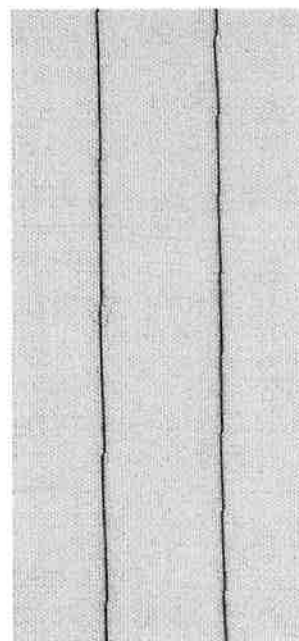
しつけ縫い機能は機能というよりは、むしろステッチと言えます。

しつけ縫い#21を選ぶと直線縫いを4針に一回縫います。
最大の縫い目長さは送りを5にセットしたときに20ミリになります。

模様： しつけ縫い#21
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り長さ： 3.5-5mm
送り歯： 上
押え： スーパー模様押えNo.1

しつけ縫い

- ・ 長いステッチの必要な場所に
- ・ 素早く、簡単にしつけ縫い
- ・ 取り除き簡単



ヒント

縫い始めと終りの止め

- ・ しつけの縫い始めと終りに直線縫いの標準セッティングで2~3針縫っておくと、しつけの途中で糸がぬけたりしません。

しつけ糸

- ・ しつけ糸を縫い込んでも取り除き易いように細手の縞い用糸を使いましょう。

まつり縫い



模様： まつり縫い#9
 針： 生地に合わせて選びます。
 糸： ミシン糸、又はかがり糸
 送り歯： 上
 押え： まつり縫い押えNo.5

まつり縫い

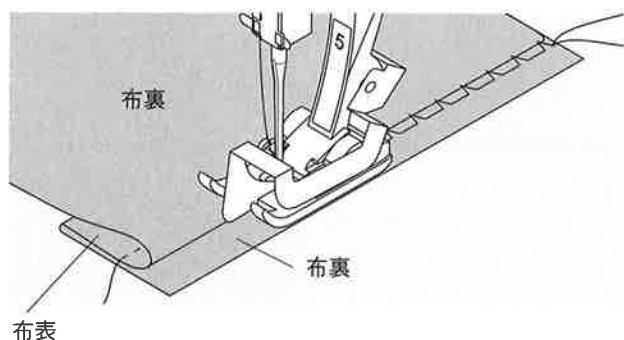
- ・中厚手の木綿、ウールおよび混紡に目立たない縁縫いをするのに最適です。

準備

- ・布端を切り揃え、オーバーロック縫いします。
- ・布端の表を外にして折り、しつけ縫い、又はしつけピンを打ちます。
- ・そのまま、布地を中表に折り曲げ、布端を右側に出します。
- ・その後、図のように押え金の下に折り曲げた部分が押えのガイド板の左側に当たるように、生地を置きます。

縫い方

- ・手縫いの場合同様、針が折り目の端ぎりぎりをとらえるように注意します。
- ・生地に合わせて振り巾を調整します。
- ・10cmくらい縫い進んだら、生地の裏表をチェックして、必要であれば再度振り巾を調整します。



ヒント

縫い目を均一にするために：

- ・縫いながら布をわずかに手元に引っ張り加減にして下さい。

縫い目を均一に、また巾を揃えるには：

- ・折り目の端を、押えのガイド金具に沿って進めると、仕上がりがきれいになります。

ゴムひも（エラスティック）付け／コード付け



- 模様： ユニバーサルステッチ#15
 振り巾： ゴムの太さに合わせる
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットン又はポリエステル系
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え1番
 オープン刺しゅう押え6番

ゴム紐の縫い付け

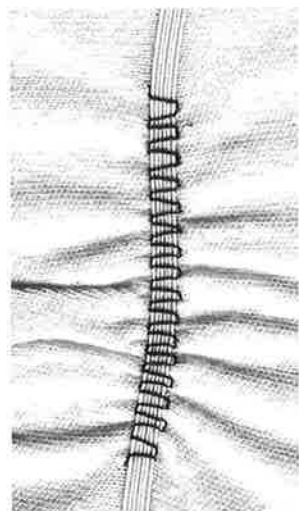
- ・広い範囲にギャザーを寄せたい場合や、薄手の生地フリルをつけたい場合に適しています。

準備

- ・ゴムひもを必要な長さにカットしておいて下さい。

縫い方

- ・ゴムひもを縫い付ける際、針がゴムに刺さらないように注意して下さい。
- ・縫い終わったら、ギャザーを手で調整して、均一に寄せ直します。



ヒント

縫い始めと縫い終わりの始末

- ・ゴムひもの縫い始めと縫い終わりは、直線縫いで数針ずつ止め縫いをして下さい。

クイック・ヘム仕上げ

- ・子供服や人形のドレスに
- ・脇縫いをする前に、縁かがりのときにゴムと一緒に縫い付けてしまうという方法があります。

シャーリング／ギャザリング



- 模様： ギャザリングステッチ #12
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットン又はポリエステル系
 送り歯： 上
 押え： ボタンホール用押え No.3

シャーリング・エラスティック／コード

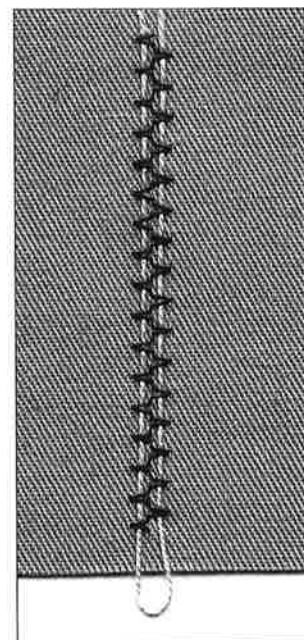
- ・広い範囲にギャザーを寄せたいときに適しています。

準備

- ・ギャザーの倍の長さに、ゴム紐をカットしてから、半分に折りませす。
- ・ボタンホール押えの中央の突起に、ゴムの輪の部分をひっかけ、ゴムの両端は押えの下に入れます。

縫い方

- ・数針縫って、
- ・ゴムを手前に引き、ゴムの両端を押えの後ろ側においたまま縫いつけます。
- ・縫い終わったら、ゴムを引いて、ギャザーを寄せます。
- ・縫っている間、ゴムを伸ばし加減にして下さい。
- ・強く引っ張るほど、ギャザーをたくさんとれます。



ヒント

始めと終わりを止め縫い

- ・送り歯を下げ、数針ずつ縫って下さい。

押え圧

- ・必要に応じて強くします。

幅の広いゴムひも付け



- 模様： ランニングステッチ #4、二点ジグザグ #16、
 ライクラステッチ #17
 送り長さ： ゴムの性質によって調整して下さい。
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え No.1

巾広のゴムひも

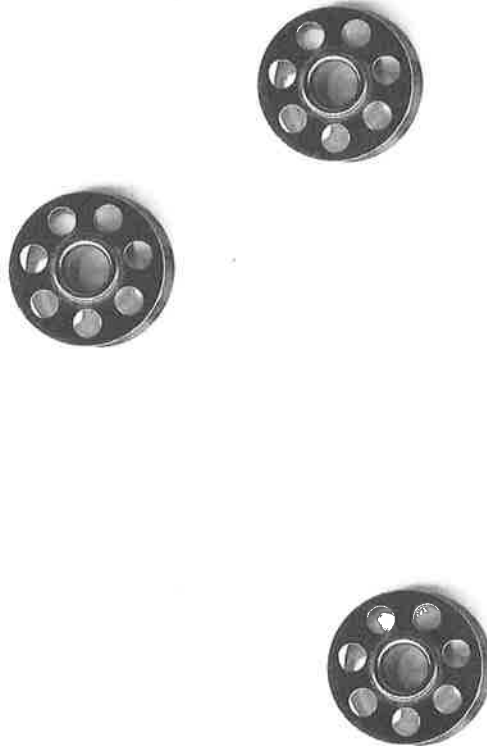
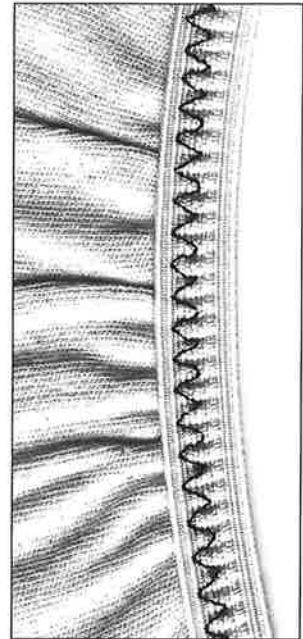
- ・巾広のゴムひもをえるので、スポーツウェアや下着のゴム部分の仕上げに最適です。

準備

- ・ゴムひもを必要な長さに切り、
- ・生地とゴムひもをそれぞれ4分割して印をつけ、
- ・印を合わせて、ゴムひもを生地に待ち針で止めます。

縫い方

- ・ゴムひもを引っ張りながら縫って下さい。
- ・縫い終わったら、はみ出た部分の布を始末します。



ヒント

先に布端にギャザーを寄せておく

- ・ゴムを伸ばしながら縫う必要がなくなるので、楽に作業が進みます。

ゴムひもを伸ばして縫う方法

- ・生地とゴムひもに合わせて押え圧を減らせば、ゴムひもが必要以上に伸びてしまうこともなくなります。

自動環ぬき止め縫い



ステッチ： 環ぬき止め縫い #24
 ボタンホール環ぬき止め #25
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押えNo.1

環ぬき止め縫い

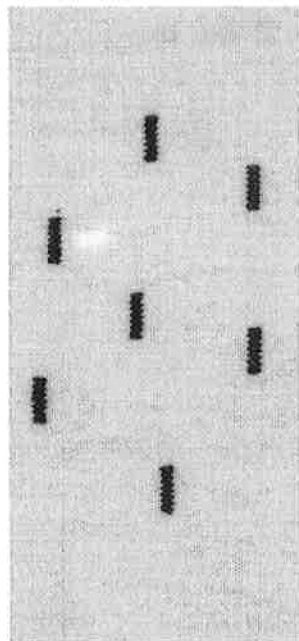
- ・ポケット、ジャケット、ジーンズ、オーバーオールといった厚地の縫い目終りを補強するために
- ・リボンをキルトや飾りとして縫い付けるときに

ボタンホール環ぬき止め

- ・ボタンホールの環ぬき止めを補強するために

ソーイング

- ・環ぬき止め縫いでは左上から縫い始めます。
- ・自動的に止まります。

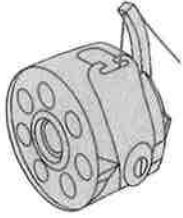


ヒント

飾り縫いの環ぬき止め

- ・ステッチの長さを長くして飾り縫いの糸を使って環ぬき止め縫いを使います = (他のステッチと組み合わせて) 飾り縫いの小さな四角形ができあがります。

ボタンホールで大切なこと

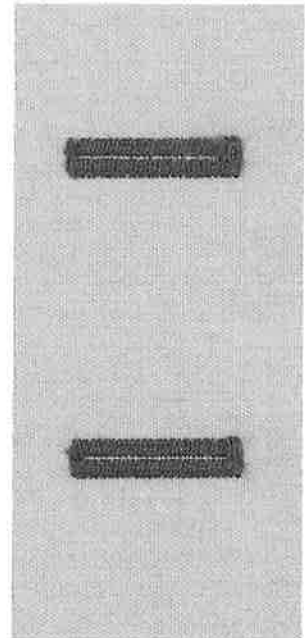


糸調子

- ・ボビンケースのつのに下糸を通します。
- ・下糸の調子が少し強くなります。
- ・布地の表側に丸みをおびた穴かがりを縫い、
- ・ボタンホールの見栄えを更に良くします。

マニュアル（手動）で縫うボタンホールの場合

- ・ボタンホール押え、No.3を使います。
- ・適当な位置にボタンホールの長さの印をつけます。



自動ボタンホールの場合

- ・自動ボタンホール押え、No.3Aを使います。
- ・最初のボタンホールの位置に長さの印をつけます。
- ・最初のボタンホールを縫うと、次々自動的にボタンホールが縫えます。
- ・二番目からは、ボタンホールを縫い始める位置にだけ印をつけます。

試し縫い

- ・常に、同じ布地で試し縫いをして下さい。
- ・同じ芯地を使って試し縫いします。
- ・同じ種類のボタンホールを縫います。
- ・ボタンホールを縫いつける布地の方向も同じにしてください（織り目に順目か、逆目か）。

調節

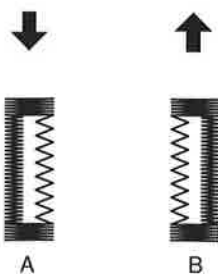
- ピッチ巾の調節：
- ・振り巾を変える。

送り長さを変える

- ・送りの長さの変更は常に左右の穴かがりの縫い目の長さに影響します（密および粗いずれの場合でも）。
- ・送りの長さを変更したら、必ず試し縫いをして、プログラムし直します。

ステッチカウント式ボタンホールのバランス

- ・左右の穴かがりの縫い目を揃えるには画面の下側のステッチバランス機能[]を使います。左側の穴かがりの縫い目の密度を変えます。
- ・(A) のような場合、バランス調整画面で《↓》“下向きの矢印”で左側縫い目を長く調節します。
- ・(B) のような場合、バランス調整画面で《↑》“上向きの矢印”で左側縫い目を短く調節します。
- ・バランス変更したら、必ず最初のボタンホールを縫い直してサイズを記憶させて下さい。



バランスをクリアするには

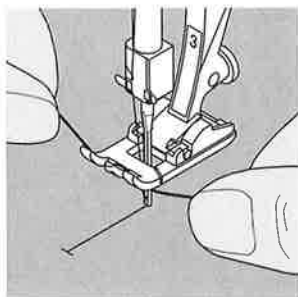
- ・画面右横の《clr》ボタンを押します

芯糸入りのボタンホール

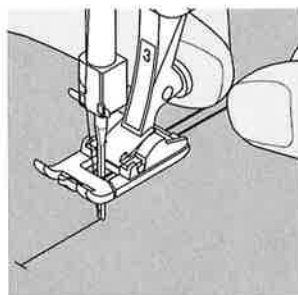
- ・芯糸はボタンホールを補強し、見栄えを良くします。
- ・芯糸の輪の部分がか最も力のかかるボタンホールの端に来るようにします。＝つまりボタンを縫い付ける位置
- ・それに応じて位置を決めます。
- ・芯糸は特に標準ボタンホールと伸縮ボタンホールにお勧めします。

理想的な芯糸のタイプ：

- ・パールヤーンの8番
- ・太い手縫い糸
- ・細い鉤針編みの糸
- ・針がね入りの飾り糸

**ボタンホール押えNo.3の押え金のつのに芯糸を掛ける**

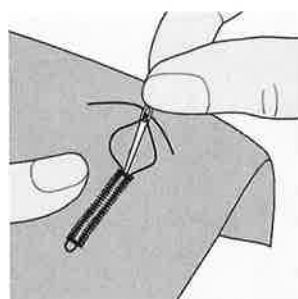
- ・ボタンホールの始点に針を刺します。
- ・押えを上げます。
- ・押えの前方中心にある突起に芯糸を引っかけます。



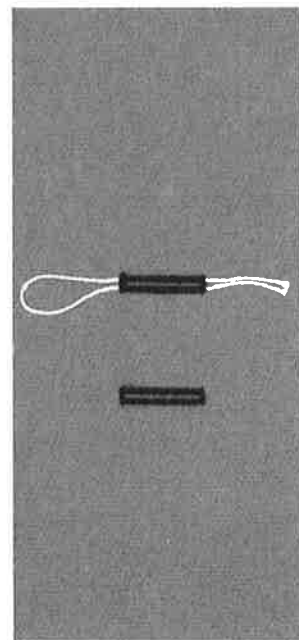
- ・芯糸の端は二本揃えて、押えの下の本の溝を通して後方に引きます。
- ・押え金を下げます。

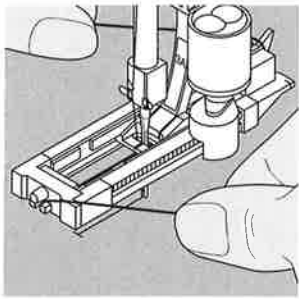
縫い方

- ・ボタンホールを縫い始めます。
- ・その時芯糸を強く引っ張らないで下さい。
- ・ボタンホールが芯糸の上に縫いつけられ、芯糸は完全に隠れてしまいます。

**芯糸の始末**

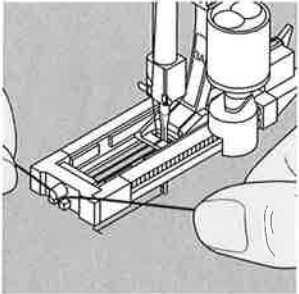
- ・芯糸のループが隠れるまで芯糸の両端を引っ張ります。
- ・手縫いの針を使って、芯糸の両端を裏側へ通します。
- ・芯糸を結びます。





布ガイド付き自動ボタンホール押え-No.3Aを使った芯糸の掛け方

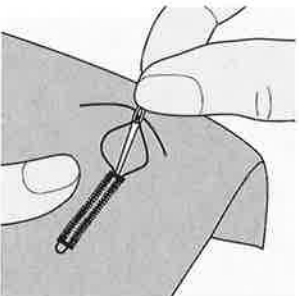
- ・ボタンホールの始点に針を刺します。
- ・押え金を上げます。
- ・芯糸を両手で持って、押えの後ろにある突起に上からかぶせるように芯糸を引っ掛けます。
- ・両方の芯糸を押えの下を通して、手前に持ってきます。



- ・芯糸の両端を両手で持って、自動ボタンホール押えの前に持ってきます。
- ・両方の芯糸を左右の芯糸止めにそれぞれ引き込みます。

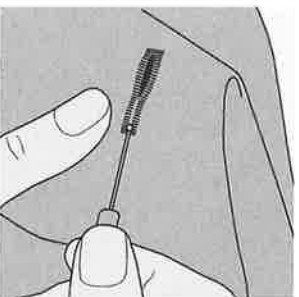
縫い方

- ・ボタンホールを縫い始めます。
- ・ソーイング中は芯糸を持たないように。
- ・芯糸をカバーするようにボタンホールが縫われます。



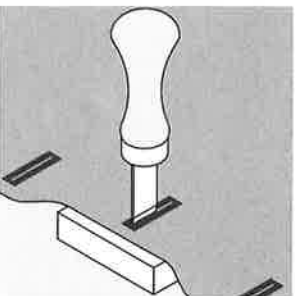
芯糸の始末

- ・芯糸のループが隠れるまで両方の芯糸の端をボタンホールに沿って引きます。
- ・芯糸を手縫い針を使って布地の裏側へ通します。
- ・結んでおきます。



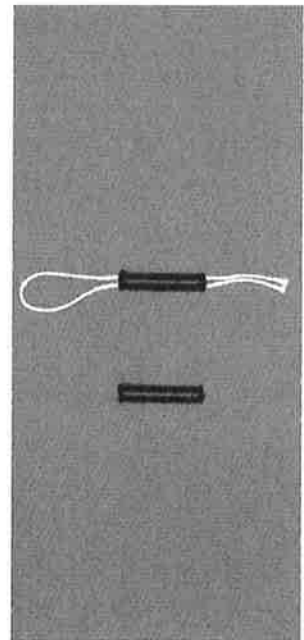
ボタンホールを開ける

- ・リッパーを使って、両端から中心に向かって切り込みます。



ボタンホールカッターとブロック（特殊なアクセサリー）

- ・布をブロックの上に置きます。
- ・ボタンホールの中心にカッターを当てます。
- ・カッターを手で押すか、ハンマーで軽く打って穴を開けます。



直線縫いボタンホール

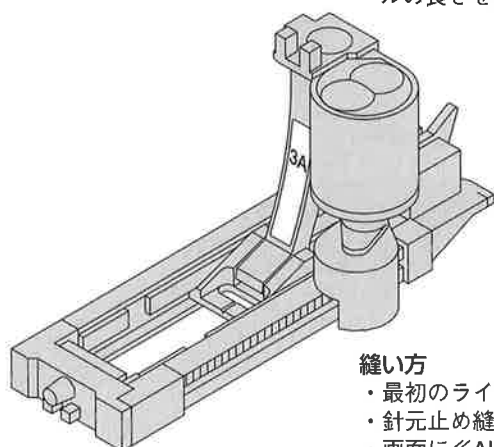
直線縫いのボタンホールは、ソフトな生地や、ほつれやすい生地などの穴かがり部や環ぬき部分の補強に使います。この上からバータックボタンホールを縫うと、この直線は完全に隠れてしまいます。また、玉ぶちボタンホールに、そしてレザー、ビニール、フェルトなどの穴周りの補強にも使えます。



模様： 直線縫いボタンホール#59
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： ボタンホール用押えNo.3、
 又は自動ボタンホール押えNo.3A

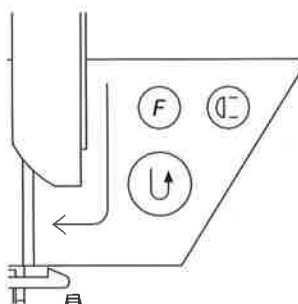
自動ボタンホール押さえで自動プログラム

・No.3Aの押さえ金でついたセンサーが自動的にボタンホールの長さを記録します。



縫い方

- ・最初のラインを直線縫いで、正確な長さまで縫います。
- ・針元止め縫いボタンを押します。
- ・画面に《AUTO》表示がされ、長さが記憶されました。
- ・このあと、自動的にボタンホールを縫います。
- ・次に続くボタンホールは自動的に同じ長さに縫われます。(止め縫いボタンを押す必要はありません)
- ・左右の縫い目の巾は振り巾調節ダイヤルで調節します。

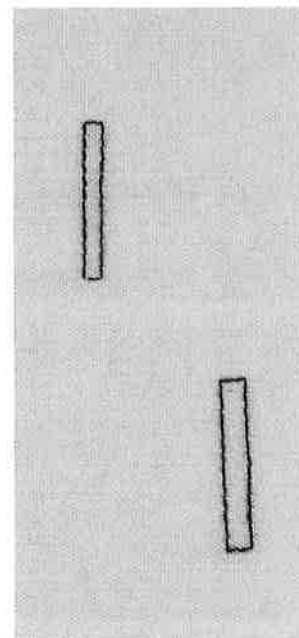


ボタンホール押えNo.3を使ったボタンホール縫い

- ・ステッチカウント式のボタンホールの機能《3》を画面でタッチします。
- ・ボタンホール押えNo.3Cのセンサーがボタンホールのステッチ数を読み取り記録します。

ステッチカウントボタンホールの縫い方

- ・最初左側の穴かがりを縫い、正確な位置で止め、
- ・手元返し縫いボタンを押します。
- ・環ぬき止めを縫い、返し縫いで右側の穴かがりを縫って行きます。
- ・左側の穴かがりの縫い始めの位置で止め、
- ・手元返し縫いボタンを押すと
- ・水平に縫って止め縫いをし、
- ・ミシンは自動的に止まります。
- ・画面に《AUTO》が表示されます。
- ・あとは、同じ長さで記憶されたボタンホールを縫います。



自動ボタンホール（全種類共通）

左右両方の穴かがりを同じ方向に縫いますので、左右の穴かがりがきれいに揃います。

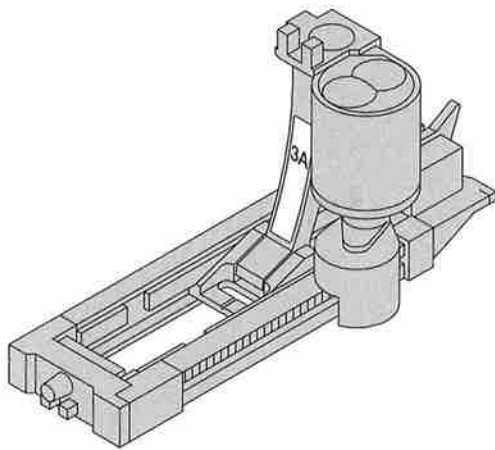
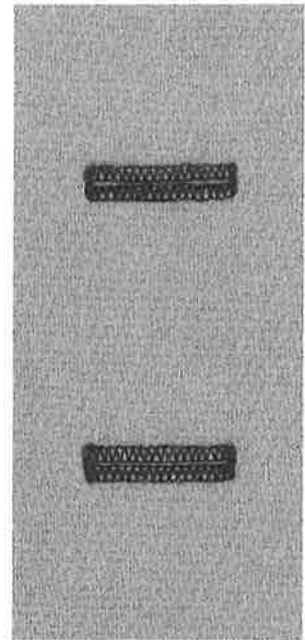
伸縮縫いのボタンホールはとりわけ伸び縮みする布地（ジャージーなど）に効果的です。というのは、穴かがりに使われているダブルオーバーロック縫いは伸び縮みしても縫目が開いてしまうということがないからです。

メモ：布ガイド付自動ボタンホール押えNo.3Aは完全に布地に平らに置かれていなければなりません（もし押さえの一部が布から浮き上がっていたらコンピュータが長さを正確に計れないからです）

- 模様： 自動ボタンホール（全種類に共通）
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： ボタンホール押えNo.3A

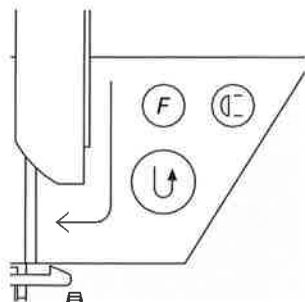
自動ボタンホール

- ・ボタンホール押えNo.3Aについたセンサーでボタンホールの長さを自動的に読み取ります。
- ・4-29ミリのボタンホールを縫うことができます。



最初の穴かがりを縫う

- ・順番が画面に表示されます（押え金の表示の右）
- ・最初の穴かがりを前進で縫い、止めます



ボタンホールをプログラムする

- ・手元返し縫いボタンを押す
- ・《AUTO》が画面に表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。
- ・ミシンが自動的にボタンホールを完成させます。

自動ボタンホール

- ・ミシンは次のボタンホールの最初で止まります。
- ・次のボタンホールからは同じ長さで自動的に縫えます（返し縫いボタンを押す必要はない）。

注意

- ・縫い直しする時は、《模様頭だし》機能をタッチします。
- ・ミシンはボタンホールの始めに戻ります。

ヒント

長さも見た目も同じボタンホール

- ・自動機能は各ボタンホールが正確に長さも見た目も同じに仕上げます。

印をつける

- ・ボタンホールの始点にだけ印をつける、実に簡単。

ソーイングスピード

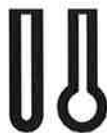
- ・全ボタンホールを穴かがりの目の大きさが変わらないよう同じスピードで縫います。

- ・中くらいのスピードで縫うと仕上がりは一番きれいです。

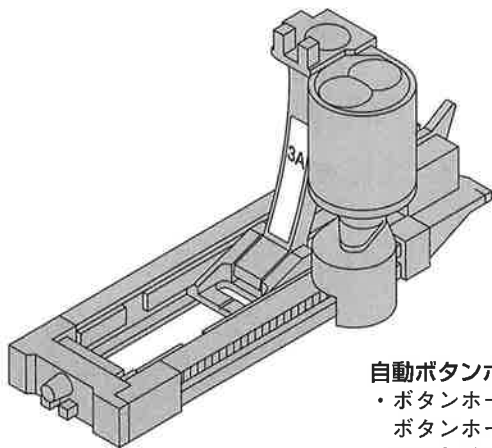
自動ラウンドエンド・ボタンホール、鳩目ボタンホール

左側の穴かがりは前進で縫い、右側の穴かがりは返し縫いで縫います。

穴かがりの長さは、自動的に決定され、丸あるいは鳩目ボタンホールの部分は、適切なサイズで縫われます。



模様： 丸ボタンホール#54-55
鳩目ボタンホール#56-58
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え： ボタンホール押えNo.3A

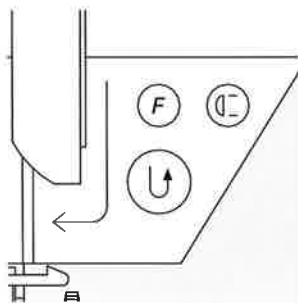


自動ボタンホール

- ・ボタンホール押えNo.3Aに付いているセンサーが自動的にボタンホールの長さを記録します。
- ・4-29ミリのボタンホールが縫えます。

最初の穴かがりを縫う

- ・順序は画面に表示されます（押え金の表示の右側）。
- ・最初の穴かがりを前進で縫います。
- ・ミシンを止めます。



ボタンホールをプログラムする

- ・手元返し縫いボタンを押します。
- ・《AUTO》が画面に表示され、ボタンホールの長さがプログラムされました。
- ・ミシンが自動的にボタンホールを完成し自動的に止まります。

自動ボタンホール

- ・ミシンはボタンホールの始点で止まります。
- ・次のボタンホールからは全て同じ長さで自動的に縫います（手元返し縫いボタンを押すことはありません）。



重要事項

- ・もし間違えたら、《模様頭だし機能》をタッチして下さい。
- ・ボタンホールの始めにセットされます。



ヒント

長さも見た目も同じボタンホール

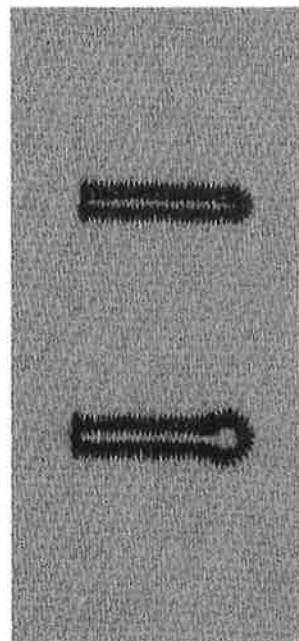
- ・オート機能で各ボタンホールは前のものと同じ長さとしに確実に仕上がります。

印をつける

- ・ボタンホールの始めに印をつけるだけ、実に簡単。

鳩目ボタンホールの二度縫い

- ・厚い布地では鳩目ボタンホールを二度縫いするとしっかりした仕上がりになります。
- ・最初のボタンホールを縫い終わった後、そのまま押え金も生地も動かさしないで下さい。
- ・フットコントローラーをもう一度踏むだけです。



ステッチカウント式ボタンホール（全種類のボタンホールに適用） （メモリーに保存できません）

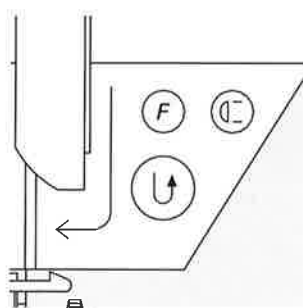
最初の穴かがり（左）は前進で縫います。次の穴かがり（右）は返し縫いで縫います。

- ステッチ： ボタンホール（全種類）
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： ボタンホール押え、No.3



ステッチカウント式ボタンホール

- ・ステッチカウント式ボタンホールを画面下の機能ツールバーの中の《3》（左図）ボタンを押して選びます。



左側の穴かがりの長さ

- ・最初の穴かがりを縫って止めます。
- ・手元返し縫いボタンを押します。

環ぬき止め縫い、右側穴かがり

- ・下側の環ぬき止めと右側の穴かがりは返し縫いで縫います。
- ・最初のステッチでミシンを止めます。
- ・手元返し縫いボタンを押します。

環ぬき止め縫い、止め縫い

- ・上側の環ぬき止めと止め縫いを縫います。
- ・ミシンは自動的に止まります。
- ・《AUTO》が画面に表示されます。
- ・ボタンホールはプログラムされ、記憶されました。
- ・続きの各ボタンホールは同じサイズで縫えます。

プログラムしたボタンホールを削除する

- ・画面右横の《clr》ボタンを押します。
- ・《AUTO》が消えます。
- ・新しいボタンホールがプログラムできます。

変更

- ・ステッチの巾、長さ、バランスなどに変更があればもう一度ボタンホールをプログラムします。

異なる布地にボタンホールを作る

- ・記憶したステッチカウント式ボタンホールを異なる布地で縫うと、まったく異なるサイズに仕上がります。
- ・もし新しい布地を使うならば、ボタンホールのプログラムはもう一度やり直して下さい。



ヒント

押え金No.3Cでよりボタンホールを縫いやすく

- ・布ガイドスライド付の大きい押えでは縫いにくいボタンホールに最適です。

きれいなボタンホール

- ・縫目が揃うようにスピードは一定に保って下さい。
- ・普通のスピードで縫うのが一番仕上がりがきれいです。

印を付ける

- ・ボタンホールの始点に印を付けるだけ！

手動式の4-6手順のボタンホール（全種類）

一つだけのボタンホールを縫ったり、修繕するのであれば
手動でボタンホールを縫う方が便利です。

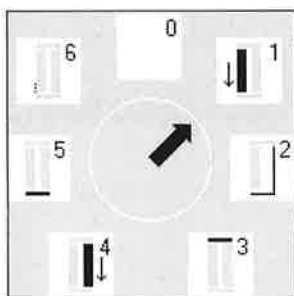
手順の数はボタンホールの種類によります。
手動で縫ったボタンホールは記憶できません。

ステッチ： すべてのボタンホール
針： 生地に合わせて選びます
糸： コットンまたはポリエステル糸
送り歯： 上
押え金： ボタンホール押えNo.3

man

プログラムを開く

- ・ボタンホール #51-59 を選択します。
- ・手動式ボタンホール機能（左図）を選びます。

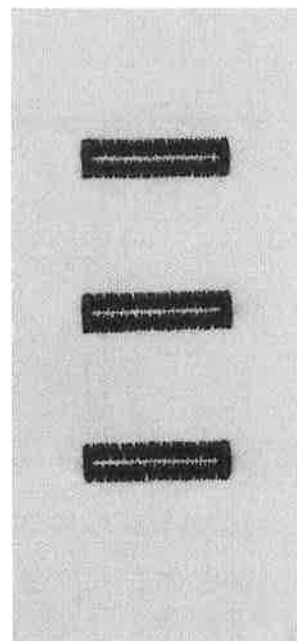
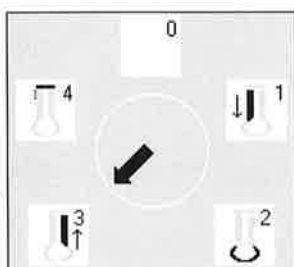


手順の表示

- ・次の手順が画面に示されます。
 - 標準＝6ステップ
 - 丸＝4ステップ
 - 鳩目＝4ステップ
- ・最初に選んだ時は円内の矢印は《0》です。

4ステップあるいは6ステップのボタンホール

- ・画面の《1》にタッチし、最初の穴かがりを縫います。
- ・穴かがりの終わりでミシンを止めます。
- ・《2》にタッチして、縫います。
- ・ボタンホールが完成するまでこの方法で続けます。



ヒント

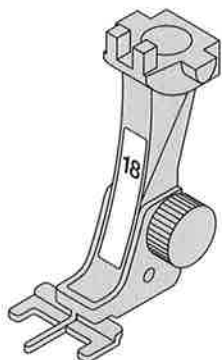
ボタンホールの修繕

- ・手順は省略することが出来ます。
- ・擦り切れた部分を修繕するために必要な手順だけ使います。

ボタン付けプログラム



- 模様： ボタン付けプログラム #60
 振り巾： ボタンの穴の間隔にあわせる
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 下げる
 押え金： ボタン付け押えNo.18（別売りオプション）



ボタン付けプログラム

- ・2穴か4穴のボタンを縫いつけます。
- ・糸足（ボタンと布地の間の長さ）は必要に応じて長くも短くも出来ます。
- ・飾り付け用に縫うボタンは糸足を必要としません。

2穴ボタン

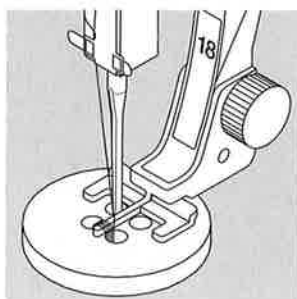
- ・ボタン付け縫いを選択します。
- ・はずみ車をまわして、穴の間隔を測ります。
- ・必要があれば振り巾を調整します。
- ・縫い始めは二本の糸を手にとって下さい。
- ・縫い始めます。
- ・完成すればミシンは自動的に停止します。
- ・そして次のボタンを縫う用意も自動的に出来ています。

糸の始めと終わり

- ・糸は止め縫いされており、切りとるだけで始末できています。

止め縫いの仕上げについて

- ・ボタンの際で上糸を切ります。
- ・下糸を引っ張って、上糸を布裏に引き込みます。
- ・下糸を切ります（必要に応じて玉結びをして下さい）。



4穴ボタン

- ・初めに手前の穴を縫います。
- ・注意してボタンを手前に引きます。
- ・奥の穴を縫います。



ヒント

ミシンでボタンを縫いつける

- ・シャツやブラウスなどのように同じボタンをいくつか縫う時には特に時間を節約できます。

ボタン付けプログラム

- ・長すぎるファスナーなどもこのプログラムを使って、簡単に止め縫いできます。

ジグザグ・アイレット（鳩目）



- 模様： ジグザグ・アイレット（鳩目） #61
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様縫い押えNo.1

ジグザグ・アイレット縫い

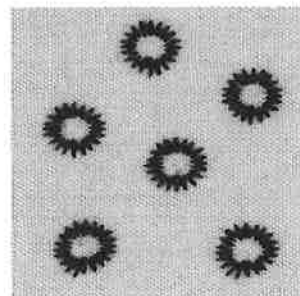
- ・ 装飾的作品、子供服、または手芸品に。
- ・ ひもや細いリボンを通す穴として利用されます。

縫い方

- ・ まずアイレット #61 を選び、
- ・ プログラムに従って縫います。
- ・ ミシンは、自動的に停止します。
- ・ 次のアイレットを縫う用意も自動的に出来ています。

アイレットの穴をあける

- ・ アイレット用パンチ（別売りオプション）をご利用下さい。



直線・アイレット（鳩目）



- 模様： 直線・アイレット（鳩目） #62
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様縫い押えNo.1

直線縫い・アイレット

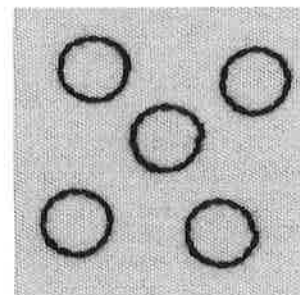
- ・ 装飾的作品、子供服、または手芸品に、
- ・ ひもや細いリボンを通す穴として利用されます。

縫い方

- ・ まず直線・アイレット #62 を選び、
- ・ 生地を押えの下に準備して縫います。
- ・ ミシンは、自動的に停止します。
- ・ 次のアイレットを縫う用意も自動的に出来ています。

アイレットの穴をあける

- ・ アイレット用パンチ（別売りオプション）をご利用下さい。



ヒント

アイレット

- ・ 縫いぐるみや人形等の目に最適です。

装飾的アイレット

- ・ 飾り糸を使って、ほかの飾り縫いや刺しゅうと組み合わせた装飾的作品を作りましょう。

ゴムひもを使ったニット地の縁かがり



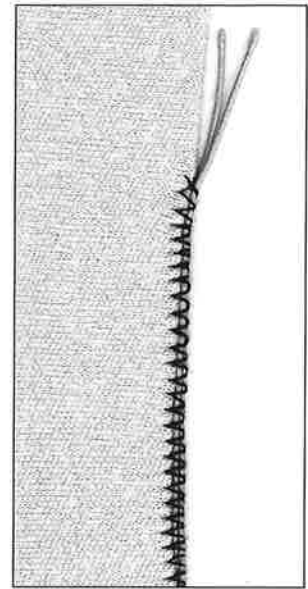
- 模様： ジグザグ 縫い#2
 振り巾： 約5
 送り長さ： 1～1.5
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットンまたはポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押えNo.1

シャーリングゴムひもを使ったニットの縁縫い

- ・布端の伸びや型くずれを防ぎます。

縫い方

- ・生地は2倍の長さのゴムひもを、軽く引っ張り気味に布端に沿わせます。
- ・ジグザグステッチでゴムひもを縫い付けます。
- ・ゴムひもを縫いこまないように。
- ・縫い終わったら、ゴムひもを引っ張って生地を希望の形、サイズに整えます。

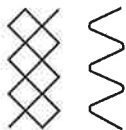


ヒント

縫っている間に生地が伸びるとき

- ・生地に合わせて押え圧を弱くします。

織地の縁を補強する



ステッチ： ネットステッチ#8、ランニングステッチ#4
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： 細手のかがり糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押えNo.1

縁を補強

・作業布、テーブルリネン、タオルなどに。

準備

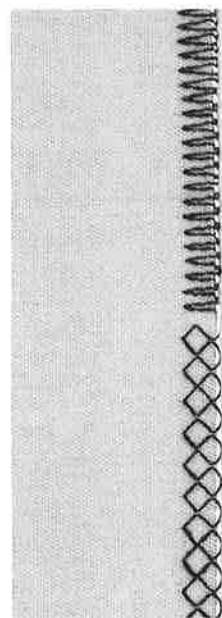
・とも色の紐や糸を使います。

適当な紐

- ・パール紡ぎ糸
- ・細いレース糸
- ・丈夫な手縫い糸
- ・針金の入った飾り紐

ソーイング

- ・ネットステッチかランニングステッチで縁をかがり縫います。
- ・補強するために縁に沿って紐をかがり縫います。
- ・必要があれば、縁から幾らか中側にもう一列縫います。



ニット地やジャージー地のつぎあて



ステッチ： ジャージーステッチ#14
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： 細手のかがり糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押えNo.1

ほころびや摩耗個所のつぎあて

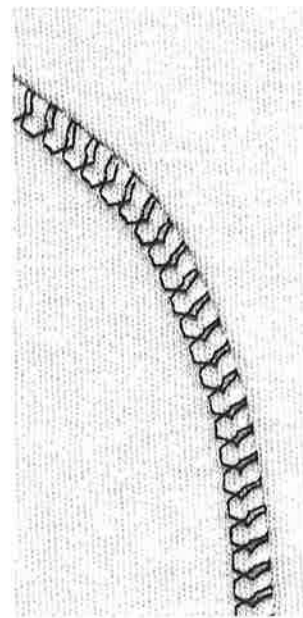
・伸縮する布やランジェリーに特に適しています。

準備

- ・いたんだ部分は、切り取らないで下さい。
- ・あて布は、角ばらないように丸くすると、全方向に伸縮性が残ります。
- ・まち針を打ち、右側をしつけ縫います。

縫い方

- ・パッチをつぎ当て部分に使います。
- ・縁を縫います
- ・必要があれば最初に縫った内側をもう一列縫います。
- ・いたんだ部分を切り取ります。



ヒント

ニット地

- ・ニット地を傷めないように、新しいボールポイント針を使うようにして下さい。

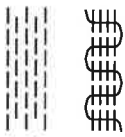
伸縮地を縫う

- ・ストレッチ針(130-705HS)を使うと、針の先端が繊維の間をすべるように縫うので、生地を傷めません。

生地の伸縮とうねり

- ・生地が伸びたり、うねるような場合は、押え圧を弱くして下さい。

自動ほころび縫いのプログラム



- ステッチ： 標準つくろい縫い #22
 補強つくろい縫い #23
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： 細手のかがり糸
 送り歯： 上
 押え金： 自動ボタンホール押えNo.3A又は
 スーパー模様縫い押さえNo.1

手早く穴かがりや繕い縫い

準備

- ・生地が歪まないように、繕い縫い用のリング(別売りオプション)が刺しゅう枠に伸ばしてはさめます。

#22のステッチを使った簡単な繕い縫い

- ・生地の織り目に沿って繕い縫いします。
- ・スーパー模様縫い押えNo.1を使います。
- ・画面下の機能ツールバーから押え金《3C》ボタンにタッチします。
- ・最初の列を縫います。
- ・必要な長さを縫ったら、手元返しボタンを押して、一列目の長さをプログラムします。
- ・二列目を縫います。
- ・必要な長さを縫ったら、手元返しボタンを押します。これで二列目の長さもプログラムされました。
- ・ミシンが自動的に止まるまで続けて縫います。

バランス調整

- ・繕い縫いのスタートと終わりが斜めに歪むようでしたら、《b(バランス)》機能を使って調整します。(50-51ページを参照)

#23を使って補強繕い縫い

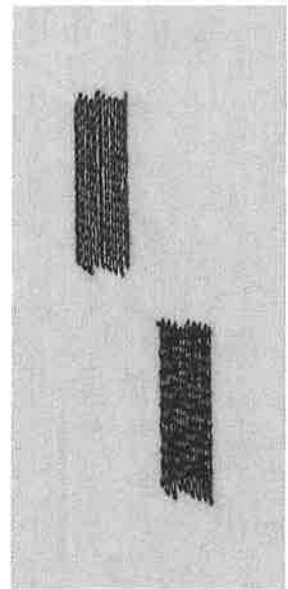
- ・生地の縦と横の織り目に沿って、ひどく傷んだ箇所の繕い縫いをします。
- ・自動ボタンホールを押えNo.3を使います。
- ・針を繕う場所の左上に刺します。
- ・まず、縦目を縫います。
- ・手元を返し縫いボタンを押して長さを記憶します。
- ・続けて縫い、終われば自動的に停止します。

大きなほころびを縫う

- ・押え金の下で生地を移動します。
- ・プログラムを繰り返します。(長さは記憶されています)

バランス調整

- ・もし網目の始まりと終わりの並びが水平でなく、斜めになる時は44ページのバランスの調整方法を参照の上、修正して下さい。



ヒント

かがり縫いを補強する

- ・かがり縫いをする前にいたんだ箇所の下にガーゼを当てます。

大きなほころびを縫う

- ・かがり縫いの縦横の大きさは押えの下で生地を移動させて広げてゆきます。

手動式かがり縫い

- ステッチ： 直線縫い #1
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： 細手かがり糸
 送り歯： 下げる
 押え金： つくろい縫い押えNo.9（別売りオプション）

穴かがり、かがり縫い

- ・どんな生地でも縦糸と横糸を足して繕うものです。

準備

- ・布縮みを防ぐために、刺しゅう枠（別売りオプション）に修繕する生地を張ります。
- ・補強テーブルを使うと、作業がしやすくなります。

ソーイング

- ・刺しゅう枠を滑らかに動かします。
- ・左から右に縫います。
- ・押え圧はゼロにしておきます。

方法

穴を縫うステッチ

- ・穴を覆うように最初の列を縫います（間隔が狭すぎないように）。
- ・生地を90°回します。

かがり縫いを完成させる

- ・同じ方向に緩く二列目を縫います。

筒物を縫います

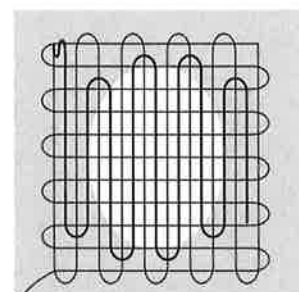
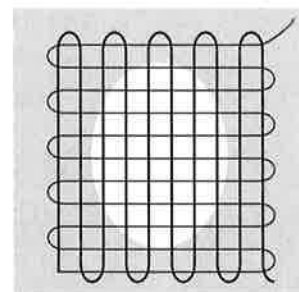
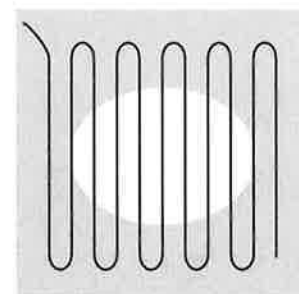
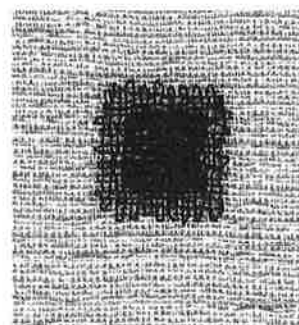
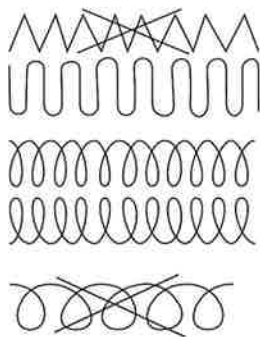
- ・最初は横方向です。
- ・それから第二、第三段階として、縦方向に縫います。

要領がつかめたら

- ・各列の長さをわざと揃えないで縫うと、ステッチの糸が生地にかくれて、目立たなくなります。

メモ

- ・カーブで方向を変える（尖らないように）。
- ・穴あきを防ぎます。
- ・糸切れを防ぎます。
- ・刺しゅう枠を英文筆記体の“Q”（エル）や“m”（エム）の文字を描くように動かします。
- ・円形に縫うのは生地糸目になじまないで、かえって目立ってしまうので、避けましょう。



ヒント

糸切れ

- ・刺しゅう枠を滑らかに動かしてみましょう。

縫い目が乱れる

- ・上糸が生地の表側で緩むのは、針のスピードにたいして、刺しゅう枠の動かし方が速いからです。
- ・生地裏側に糸ループが出来るのは、刺しゅう枠の動かし方が遅すぎるからです。

飾り縫い

- ステッチ： 飾り縫い
 針： 刺しゅう用針、生地に合わせて番手を選びます
 糸： コットン、レーヨン、ポリエステル刺しゅう糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様縫い押え No.1
 刺しゅう押え No.6
 オープン刺しゅう押え No.20（オプション）

飾り縫い

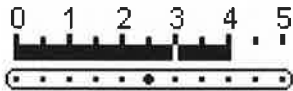
- ・あらゆる生地に
- ・飾り付けに

ステッチの選択

- ・画面右横のボタンを押して飾り縫いを選びます。
- ・メニューからステッチのグループを選びます。
- ・ステッチを選択します。

画面

- ・選択したステッチが画面にグレーで表示されます。
- ・標準の押えが表示されています。No.20 や No.6 の押えは特に密度の濃い、複雑な模様に適しています。
- ・ふり幅と送り長さは必要に応じて変えて縫います。



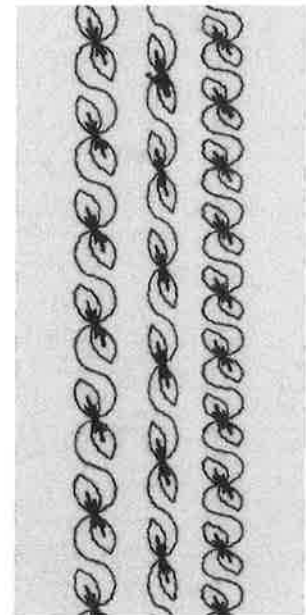
振り幅を変えてみる

- ・縫いながら変更できます。
- ・振振り幅を広くするには振り幅調節ダイヤルを右に、狭くするには左に回します。

送りの長さを変えてみる

- ・縫いながら変更できます。
- ・送りを長くするには振り幅調節ダイヤルを右に、短くするには左に回します。

-5
-
-4
-
-3
-
-2
-
-1
E=0



A B C

- A- 標準の送り、ふり幅で縫った飾り縫い
 B- ふり幅を小さくして縫う
 C- 送りを短くして縫う



ヒント

基本設定の変更

- ・飾り縫いは、好みのままに調整できます。
- ・例 人形の服では振り幅を狭くします。
- ・モチーフのサイズも、小物に合わせて縮小することが可能です。

クロスステッチ

ステッチ： クロスステッチ#301-#310、#314
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： コットン、又はポリエステル糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え No.1
 オープン刺しゅう押さえ No.20 (オプション)

クロスステッチ

・ 普通の飾り縫いと組み合わせて手軽に素敵なデザインを作り出します。

ソーイング

・ 他のすべての飾り縫いと同様にステッチ 303-309 番で縫って、組み合わせます。

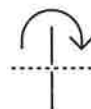
310



大きなクロスステッチ 310 番 (第一ステップ)

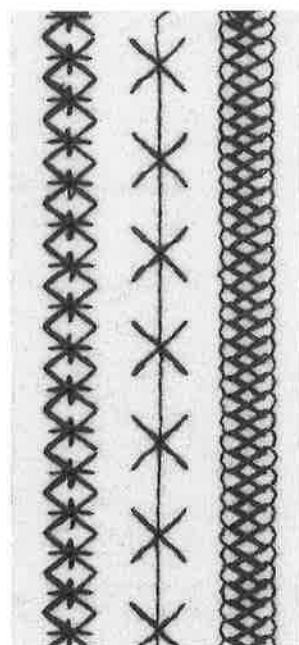
- ・ 最初の列を縫います。
- ・ 列の中央でミシンは自動的に停止します。
- ・ 画面のクロスステッチの表示の上に矢印が現れます。
- ・ 生地を90度回します。

310



大きなクロスステッチ 310 番 (第二ステップ)

- ・ 次の列を縫います。
- ・ 縫い終わりでミシンは自動的に停止し、ステッチの始まりに切り替わります。



ヒント

刺繍糸を使ったクロスステッチ

- ・ ステッチは普通の糸よりふっくらと見えます。

一枚の生地に縫うとき

- ・ 常にスタビライザー (安定紙) を使います。
- ・ 縫った後取り除きます。

ハンド・キルティングステッチ

- 模様： ハンド・キルティングステッチ#328, #346, #350
 針： キルティング針、またはジーンズ針 80/12 番-90/14 番
 上糸： モノフィラメント（ナイロン透明糸）
 下糸： ミシン糸#40, #30 2本縫り
 送り歯： 上
 押え： スーパー模様押え No.1
 ウォーキング押え No.50（オプション）

ハンド・キルティングステッチ

- ・手縫いのような縫い目を可能にし、手縫い風を表現したい作品に最適です。

試し縫い

- ・下糸が表面に交互に出るように縫います。
- ・上糸はモノフィラメントなので、下糸が一目おきに目立つようになり、手縫いの効果を出します。

上糸テンション

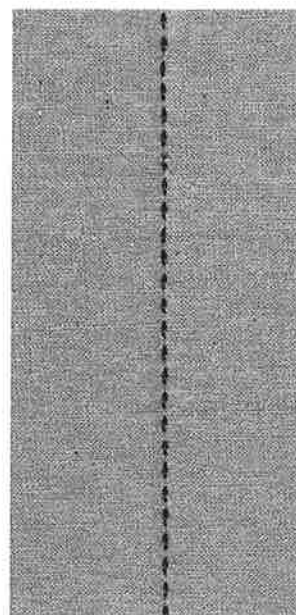
- ・生地により、6～9に強くします。
- ・ソーイングガイドを参照して下さい。

送り微調整

- ・必要に応じて調整して下さい。

縫い方

- ・針位置はどこでも縫えます。
- ・必ず押え金を使って縫います。フリーモーション・キルティングには使えません。



ヒント

コーナーをきれいに仕上げるには

- ・コーナーを縫う直前に一模様縫い機能をオンにし、コーナーでミシンを一旦停止してから生地を回し、続けて縫います。

モノフィラメントが糸切れする場合

- ・縫う速度を落として下さい。
- 上糸テンションを少し緩めて下さい。

飾り模様ののキルトステッチ

ステッチ： キルトステッチ #326-#338、#351
 針： サイズ、タイプは生地に合わせて選びます
 糸： コットン、又はレーヨン／ポリエステル刺しゅう糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1

直線送りの縫い#326

- ・短い直線縫い。
- ・特にパッチワークに適しています。

キルトステッチ

- ・あらゆる生地、キルトに適用できます。
- ・特に、クレージーキルトに最適です。

上糸テンション

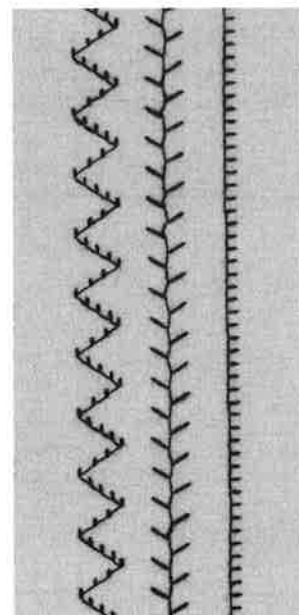
- ・生地と芯に合せて、上糸テンションを強くします。

バランス

- ・必要に応じて調整して下さい。

ソーイング

- ・キルトステッチを選択し、縫います。
- ・どんなキルトステッチでも組み合わせることが出来、メモリーにプログラム出来ます。



ヒント

コーナーをきれいに仕上げるには

- ・コーナーを縫う直前に一模様縫い機能をオンにし、コーナーでミシンを自動停止させてから生地を回し、続けて縫います。
- ・生地を回す時、引っ張ったり歪めたりしないように気をつけて下さい。

フリーハンドキルティング

- ステッチ： 直線縫い#1
 針： 生地に合わせて選びます
 糸： ミシン糸、刺しゅう糸、ナイロンモノフィラメント
 送り歯： 下げる
 押え金： つくろい縫い押え 9番（オプション）
 キルティング押え 29番（オプション）

フリーハンドキルティング

- ・あらゆるフリーハンドのキルトに

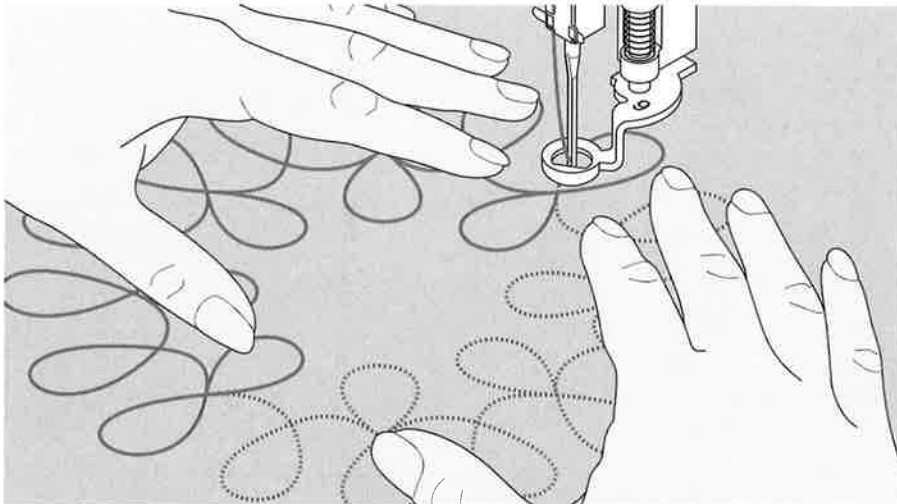
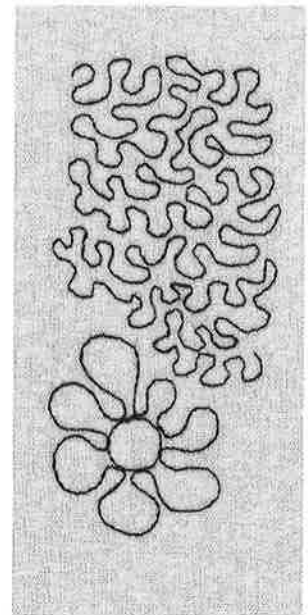
準備

- ・安全ピンで、トップ、中綿、土台布をしつけします。
- ・補助テーブルを使うと作業がしやすくなります。

方法

ずれないように生地を押さえます

- ・生地を中心から外側へ縫っていきます。
- ・両手を刺しゅう枠のように使って、生地をしっかりとおさえます。



キルトラインを縫う

- ・選んだキルトパターンを縫うコツは、滑らかに丸く生地を回して動かして下さい。（フリーハンドの場合も、テンプレートを使う場合も同じです）

スティップリング・キルティング

- ・キルトの全体を埋める手法です。
- ・基本的な縫い方は、縫い目が交差しないよう、また角を作らないように縫います。



ヒント

フリーハンドキルティングとつくろい縫い

- ・共に基本的な縫い方は同じです。

糸切れ

- ・手を早く動しすぎる時に起こります。 生地は滑らかに均一のスピードで動かして下さい。

ステッチの形が悪く糸のループが出来る

- ・縫う速度が速すぎます。

生地の裏で糸絡みを発生させる

- ・縫う速度が遅すぎます。

ナイロンモノフィラメントの糸切れが起こる

- ・縫う速度を遅くして下さい。
- ・上糸テンションを弱くして下さい。

飾り縫いと各種機能の組み合わせ

- ステッチ： 飾り縫いステッチ
 針： サイズ、タイプは生地に合わせて選びます
 糸： コットン、又はレーヨン／ポリエステル刺しゅう糸
 送り歯： 上
 押え金： スーパー模様押え #1、または
 刺しゅう用押え #6、または
 オープン刺しゅう押え #20（別売りオプション）

基本設定と機能を組み合わせる

- ・基本設定と様々な機能を組み合わせると、クリエイティブなスイッチをお楽しみ頂けます。

便利な機能



左右模様
反転機能



垂直模様
反転機能



模様拡大
機能1-9倍



1/2模様
機能



バランス(送り
微調整)機能



ロング
ステッチ機能



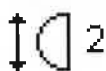
二本針用振り
巾限定機能
2-5ミリ



ウィング針用
振り巾
限定機能



連続返し
縫い機能



模様拡大
機能2-5倍

準備

- ・糸調子は選択したステッチに自動的にセットされます。

バランス

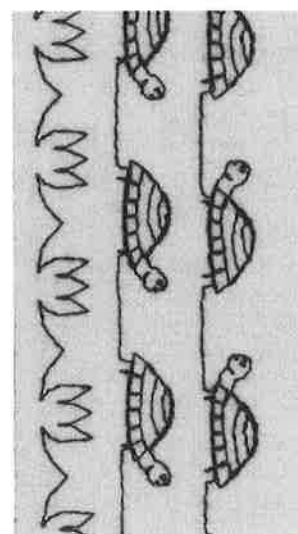
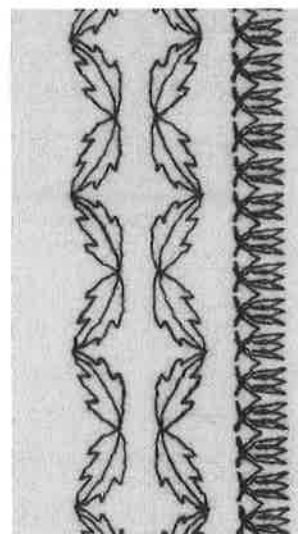
- ・バランス機能を使ってステッチの変化を楽しめます。
- ・バランスの取り方によっては、ステッチは伸びたり、縮んだりします。
- ・送りバランス微調整（44ページ）参照。

方法

- ・ステッチを選択します。
- ・機能を選択します。
- ・一つのステッチに複数の機能を使う事が出来ます。

機能を解除する

- ・画面右横の《クリアclr》ボタンを押します。
- ・削除したい機能表示を、一つずつ個別に、画面でタッチして下さい。



ヒント

基本設定と機能の変化

- ・新しく組み合わせて使いたいときは、先に使った機能を全てクリアして下さい。

一枚布で飾り縫い

- ・必ず接着芯や安定紙を使いましょう。
- ・縫い終わったら、取り除きます。

長い距離を縫う時は針下停止機能を起動させる

- ・一旦停止した時に、止めた針位置がずれません。

一模様縫い機能を使う

- ひとつの模様を縫い終わるたびにミシンは自動的に停止します。

メモリーを使った実用縫いと飾り縫い

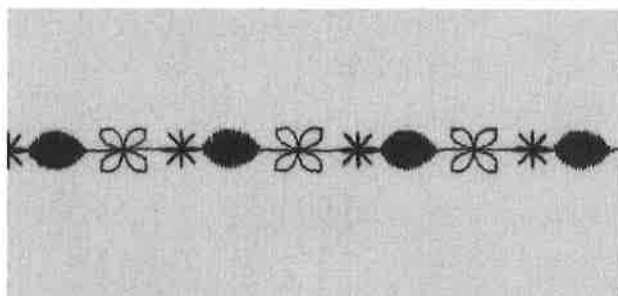
- ・メモリーの容量は1023模様です。
- ・255個のメモリー番地があります。
- ・各番地の中でメモリーを分割出来ます。
- ・実用縫い、飾り縫い、文字および数字を含むどんな組み合わせでも全て、プログラムしメモリーに記憶させ、保存出来ます。(例外：ボタンホール、モノグラム、横送り模様)
- ・保存したデータは、電源を切っても、消えません。
- ・いつでも、メモリーを呼び出して縫う事が出来ます。

メモリーに入力するには

- ・《メモリーmem》ボタンを押してメモリーを開きます。
- ・機能ツールバーの《mem1》ボタンにタッチして、メモリー番地スクリーンを開きます。
- ・空いているメモリー番地（白く表示）を選びます。
- ・《ok》ボタンをタッチして前の画面に戻ります。
- ・模様を選びます。
- ・選んだ模様が画面のメモリー域に表示されます。
- ・次の模様を選びます。
- ・同様に、続けて模様を選びます。
- ・《保存》ボタンをタッチしてメモリーに入力した内容を保存します。

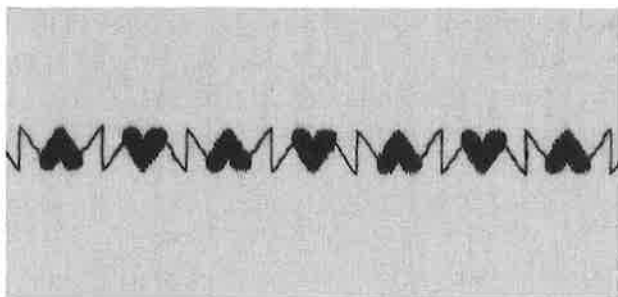
入力例(1)

- ・使うメモリー番地を上記の手順で選びます。
- ・模様407を選びます。
- ・模様102を選びます。
- ・模様711を選びます。
- ・縫ってみましょう。模様が連続して縫えます。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。

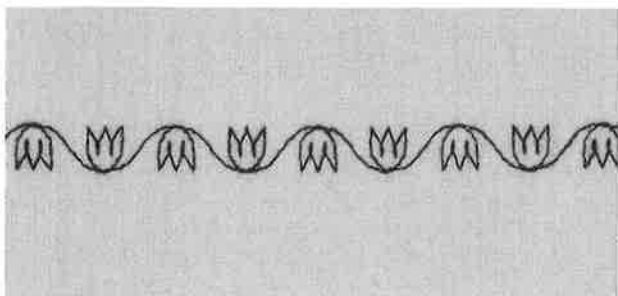


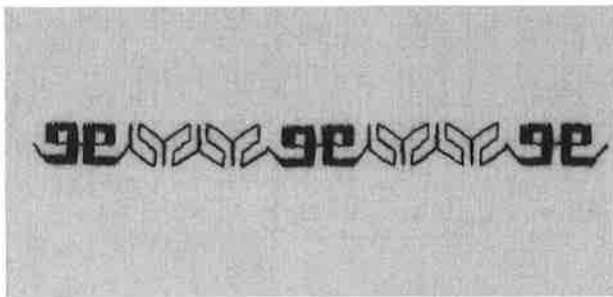
入力例(2)

- ・使うメモリー番地を上記の手順で選びます。
- ・模様413を選びます。
- ・機能ツールバーの垂直模様反転ボタンをタッチします。
- ・模様413を選びます。
- ・縫ってみましょう。模様が交互に逆転して縫えます。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。



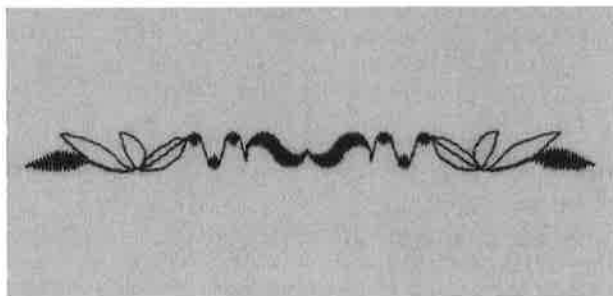
- ・使うメモリー番地を上記の手順で選びます。
- ・模様104を選びます。
- ・機能ツールバーの垂直模様反転ボタンをタッチします。
- ・模様104を選びます。
- ・縫ってみましょう。模様が交互に逆転して縫えます。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。





模様の組み合わせを一模様として縫う

- ・使うメモリー番地を前ページの手順で選びます。
- ・模様409を選びます。
- ・模様616を2回選びます。
- ・機能ツールバーの一模様縫い機能ボタンをタッチして《2》を表示させます。
- ・縫ってみましょう。組み合わせた模様が一回りする毎に、ミシンは自動的に停止します。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。



反転模様を入れた模様の組み合わせを繰り返す

- ・使うメモリー番地を前ページの手順で選びます。
- ・模様109を選びます。
- ・模様414を選びます。
- ・機能ツールバーの左右模様反転ボタンをタッチします。
- ・模様414を選びます。
- ・機能ツールバーの左右模様反転ボタンをタッチします。
- ・模様109を選びます。
- ・機能ツールバーの一模様縫い機能ボタンをタッチして、《1》を表示させます。縫ってみましょう。組み合わせた模様が一回りする毎に、ミシンは自動的に停止します。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。



ヒント

刺しゅう糸を使った飾り縫いの組み合わせ

- ・ステッチがより密に、豪華に出来ます。

一枚布にステッチする場合

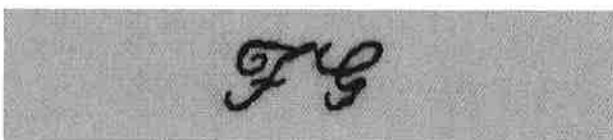
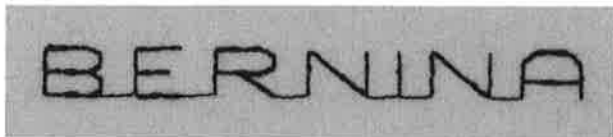
- ・必ず安定紙をお使い下さい。
- ・縫い終わったら、取り除きます。

メモリーを使った文字と数字

- ・メモリーの容量は1023模様で、255個の番地があります。
- ・各番地の中でメモリーを分割出来ます。
- ・実用縫い、飾り縫い、文字および数字を含むどんな組み合わせでも全て、プログラムしメモリーに記憶させ、保存出来ます。(例外：ボタンホール、モノグラム、横送り模様)
- ・保存したデータは、電源を切っても、消えません。
- ・いつでも、メモリーを呼び出して縫うことが出来ます。

文字と数字をプログラムする

- ・《メモリーmem》ボタンを押してメモリーを開きます。
- ・機能ツールバーの《mem1》ボタンにタッチして、メモリー番地スクリーンを開きます。
- ・空いているメモリー番地（白く表示）を選びます。
- ・《ok》ボタンをタッチして前の画面に戻ります。
- ・文字タイプを選び、文字を選びます。選んだ文字が画面のメモリー域に表示されます。次の文字を選びます。
- ・同様に、続けて文字を選びます。
- ・《保存》ボタンをタッチして入力した内容を保存します。



入力例 (1) 文字をプログラムするには

- ・使うメモリーの番地を上記の手順で選びます。
- ・画面横の文字選択ボタンを押します。
- ・文字タイプメニュー画面でアルファベットを選びます。
(ご注意！文字タイプは国により異なります。)
- ・“BERNINA”と入力して下さい。
- ・機能ツールバーの一模様縫い機能ボタンをタッチして《1》を表示させます。縫ってみましょう。組み合わせた模様が一回りする毎に、ミシンは自動的に停止します。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。
- ・文字を送り方向に拡大するには、入力を始める前に、模様拡大ボタンをタッチして起動しておきます。

入力例 (2) 数字をプログラムするには

- ・上と同じ手順で番地を選んで、文字の代わりに数字を選びます。
- ・縫ってみましょう。模様が交互に逆転して縫えます。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。

入力例 (3) 小さなサイズのモノグラムをプログラムするには

- ・上記と同じ手順でメモリー番地を選びます。
- ・筆記体のアルファベット文字を選びます。
- ・縫いたい文字を選びます。
- ・画面下の機能ツールバーで一模様縫い機能を《1》にセット。
- ・縫ってみましょう。縫い終ると自動で止まります。
- ・保存するには《保存》ボタンをタッチします。

止め縫い機能

- ・機能ツールバーの一点止め縫い機能ボタンをタッチします。
- ・最初の文字を縫い出す前と、最後の文字を縫った後で一点止め縫いをして自動的に止まります。

(ご注意！文字の書体は国により異なります。)



ヒント

プログラムしたら、一模様縫い機能を起動します。

- ・一度プログラムしたものを縫い終わるとミシンは停止します。

一枚布に文字を刺しゅうする

- ・必ず接着芯や安定紙を使って下さい。
- ・縫い終わったら接着芯を取除きます。

バランス

すべてのステッチは全て工場から出荷される時にテストされ、調整もすんでいます。

種類の異なる生地、糸、安定紙でステッチに歪みがでることもあり、縫目が伸びたり（間が離れてしまっている）、縮んだ（押しつぶされた）ような形になります。

電氣的なバランスで調整して生地にぴったりの完璧な形のステッチになるように、歪みを修正する事が出来ます。

ステッチ： すべてのステッチ
針： 70/10番 - 110/18番
糸： どんな糸でも良い
送り歯： 上
押え金： 画面の表示通り

試し縫い

- ・いつも、これから使う生地、安定紙、糸を使って試し縫いをするのはとても大切です。

バランスを起動させる

- ・機能のツールバーにある矢印にタッチします。
- ・画面をスクロールさせて、《b》機能を見つけます。
- ・《b》にタッチします。

b

バランスと実用縫い／飾り縫い

- ・ジャージーやトリコットのように柔かな生地は押え金の圧力で伸びる傾向があります。
- ・従って、ネットステッチのような場合、網目がキチンと閉じた形にならないこともあります。
- ・これはバランス調整で正しい形にすることができます。
- ・実際に選んだステッチがバランス画面に出ます。

実用縫いのバランス

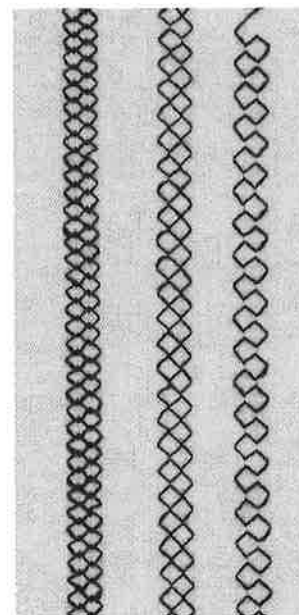
- ・正常なステッチの出来上がりの形が画面の中央に表示されます。（例）ネットステッチ
- ・左右には、歪んだ形の例が示されています。
- ・画面の下にある矢印がステッチの形を調整する方向を示しています。

訂正

- ・ステッチのバランスをとるために適当な矢印にタッチして下さい。
- ・訂正に何段階のステップが必要かは矢印の上に出ています。
- ・実用縫いのバランスには、ふつう2—5段階のステップをふめば充分でしょう。（最高は50ステップ）

飾り縫いのバランス

- ・調整方法は実用縫いの時と同じです。
- ・同じコンパクトステッチは修正の参考に、バランス画面に表示されています。



縮んだ
ステッチ

標準の
ステッチ

広がった
ステッチ

へム縫い		4
ほ		
ほころび縫い		33
ボタンホール	21—	28
ボタンホールの修繕		28
ボタン付けプログラム		29
ま		
まつり縫い		17
丸ボタンホール		26
み		
む		
め		
メモリー容量		41
メモリーを使った実用縫いと飾り縫い	41—	43
メモリーを使った文字と数字		43
も		
や		
ゆ		
ユニバーサルステッチ		18
よ		
ら		
ライクラステッチ		19
ラウンドエンド ボタンホール		26
ランニングステッチ		19,32
り		
る		
れ		
ろ		
ロングステッチ		15
わ		
割り縫い		7,8

BERNINA®

© Copyright 2002 by Fritz Gegauf AG, Steckborn